拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度春学期講義要項

■必修科目	1　組	クラスゼミナール	木　曜日	1　限	目標レベル	A2、初級

■授業の目的及び到達目標	担当：中野二郎

日本社会、文化、また学生生活に適応するためのノウハウを身につけることを目的とします。SAのサポートを受けながら、個別面談等で進路・生活相談、指導を行います。研修旅行や別科の行事やその準備もこの授業の中で行います。協働で学習を行い、日本社会や文化、進路について、自分なりの見方でとらえられるようになることを到達目標とします。

■授業計画

1	ガイダンス、アイスブレーキング、個人面談、SA との交流活動
2	個人面談、SA との交流活動
3	個人面談、SA との交流活動
4	個人面談、SA との交流活動
5	個人面談、SA との交流活動
6	統一試験の心構え、課外研修に向けた準備
7	統一試験
8	春季課外研修
9	春季課外研修のふりかえり、学習についての相談
10	学習についての相談
11	七夕についての事前学習
12	七夕会　（SA と七夕飾りを作り、飾りつけをする）
13	授業中試験、ふりかえり

■授業の方法

スチューデントアシスタント(SA)との協働で授業を進めます。個人面談や学校行事の準備などクラスみんなで話し合いながら、学習を進めていきます。※学習進度、授業の方法は、状況によって変わることがあります。

■予習・復習

予習:面談の前に、話したいことを準備しておきましょう。
復習:行事のあとで、どんなことが勉強できたか書いたり話したりできるようにしましょう。

■成績評価の方法

課題(授業中のクイズ・発表を含む)　40%、定期試験20　%、平常点　40%

■教科書・参考書

特にありません。

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度春学期講義要項

■必修科目	1　組	総合	月火 水金　曜日	1,3　限	目標レベル	A2、初級

■授業の目的及び到達目標	担当：南口、森井、森泉、 田中、中野

基礎的な日本語力を身につけることを目的とします。 よく使われる日常表現と基本的な言い回しを理解し、用いることができることを到達目標としています。

■授業計画

1	ガイダンス（授業の進め方・評価など）　『大地１』L１・L２・L３・L４ ひらがな・カタカナ / 教室用語
2	『大地１』L５・L６・まとめ１
3	『大地１』L７・L８
4	『大地１』L９、L１０、L１１
5	『大地１』L１２、まとめ２、L１３
6	『大地１』L１４、L１５
7	『大地１』L１６，L１７、L１８
8	『大地１』まとめ３、L１９、L２０
9	『大地１』L２１、L２２、まとめ４
10	『大地２』L２３、L２４
11	『大地２』L２５、L２６
12	『大地２』まとめ５
13	授業中試験とまとめ

■授業の方法

週5コマを 5人の先生によるチームティーティングで進めます。『大地１』は1課を 1～2コマ、『大地2』は、1課を1.5 コマ～2 コマで進めます。はじめに会話を聞きます。その後で、語彙・文型の練習、応用練習をします。毎回、授業でディクテーションをしたり、漢字の練習をしたりします。また、宿題も出します。課の終りにまとめクイズをして、復習します。Teams上にチームを作り、質問ができるようにします。 ※学習進度、授業の方法は、変わることがあります。

■予習・復習

予習:新しいことば、新しい漢字は課が始まる前に調べてください。
復習:『基礎問題集』を解いて、学んだ言葉、文法をよく覚えましょう。

■成績評価の方法

課題(授業中のクイズ・発表を含む)20%、定期試験60%、平常点20%

■教科書・参考書

『日本語初級１大地』　(スリーエーネットワーク)、『日本語初級２大地』　(スリーエーネットワーク)

拓殖大学別科日本語教育課程　2024年度春学期講義要項

■必修科目	1　組	「会話」	火　曜日	2　限	目標レベル	A2、初級
■授業の目的及び到達目標					担当：森泉　朋子	

この授業では、日常生活に必要な基本的な口頭表現を身につけることを目標とします。よく使われる日常表現と基本的な言い回しを用いて、簡単なやりとりができることや、自分の意思を伝えられることを到達目標とします。

■授業計画

1	ガイダンス（授業の進め方・評価など）・『大地1』L1・L2会話練習　・自己紹介
2	『大地1』L3・L4 会話練習
3	『大地1』L5・L6・L7 会話練習
4	『大地1』L8・L9 会話練習
5	『大地1』L10・L11 会話練習
6	『大地1』L12・L13・L14 会話練習
7	『大地1』L15・L16 会話練習　・発表①「私の週末」
8	『大地1』L17・L18 会話練習
9	『大地1』L19・L20・L21 会話練習
10	『大地1』L22・『大地2』L23 会話練習
11	『大地2』L24・L25 会話練習
12	『大地2』L26・L27 会話練習　・発表②「私の趣味」
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

前の週に勉強した課のキーセンテンスを使って、ペアワークでパートナーに質問したり、質問に答えたりします。
また、教科書の扉のページの会話を聞いて練習してから、ペアでロールプレイをしたり、発表したりします。
教科書の「使いましょう」の中から選んで、会話の練習をすることもあります。
学期に 2回、それまでに勉強した言葉や文型を使って短い発表をします。

■予習・復習

予習：前の週から授業の日までに勉強した課の言葉と文型を復習しておいてください。
復習：ペアワークで言えなかった文型や言葉を練習してください。

■成績評価の方法

課題（授業中のクイズ・発表を含む）　30%、定期試験　60%、平常点　10%

■教科書・参考書

『日本語初級1大地』『日本語初級2大地』（スリーエーネットワーク）

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度春学期講義要項

■必修科目	1　組	日本事情	木　曜日	1　限	目標レベル	A2、初級
■授業の目的及び到達目標					担当：関根 稚恵	

この授業では、日本の社会や文化について、自分の国や自分の近くの人などと比べながら分かるようになることを目的とします。自分の周りの日常的なことにつて、日本人と簡単なコミュニケーションができることを到達目標とします。

■授業計画

1	ガイダンス（授業の進め方、予習・復習、成績評価の方法について）・初対面の挨拶と自己紹介
2	日本のイメージ
3	日本の生活（1）
4	日本の生活（2）
5	日本の生活（3）
6	日本の国を知る
7	統一試験
8	課外研修
9	日本の社会を知る／日本人とのコミュニケーション・発表準備①
10	日本の人々を知る（1）／日本人とのコミュニケーション・発表準備②
11	日本の人々を知る（2）／日本人とのコミュニケーション・発表準備③
12	日本人とのコミュニケーション・発表
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

授業は、クラスのみんなで話し合いながら進めます。春季研修旅行や別科の行事なども日本事情の授業です。
積極的に参加しましょう。学期の最後に、まとめの発表をします。
Teams にチームを作り、そこで質問ができたり、課題を出したりできるようにします。
※学習進度は、変わることがあります。

■予習・復習

予習：日本の生活や日本人とのコミュニケーションで、どうしてかなと思ったことをまとめて質問できるようにしましょう。
復習：授業で学んだことを実際の生活の中で使ってみましょう。日本人とのコミュニケーションでも使いましょう。

■成績評価の方法

課題（授業中のクイズ・発表を含む）：40%、定期試験：30%、平常点　30%

■教科書・参考書

教科書：プリントを配ります。
参考書：『話そう考えよう初級日本事情』（スリーエーネットワーク）
『知っていますか日本のこと―学ぼう話そう日本事情―』（穂高書店）

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度春学期講義要項

■必修科目	1　組	作文	金　曜日	2　限	目標レベル	A2、初級
■授業の目的及び到達目標					担当：浅井　尚子	

日常的で身近な話題について書くための基礎的な日本語を身につけることを目的とします。
基礎的な日本語の語彙や表現を使って、自分や家族、国（町）などを紹介する簡単な文章を書けることを到達目標とします。

■授業計画

1	ひらがなを書く練習　・知っている日本語や教室にあるものの名前をひらがなで書く　・あいさつを書く
2	カタカナを書く練習　・自分や友達の名前をカタカナで書く　・国の名前をカタカナで書く
3	自己紹介を書く　・『大地』L4　使いましょう（わたしの一日）
4	形容詞を使って書く　・『大地』L7（わたしの国・出身地）
5	「～あります/～います」を使って、「わたしの部屋」について書く・『大地』L8　使いましょう（わたしうち）
6	『大地』12　使いましょう（わたしの週末）
7	『大地』14　使いましょう（わたしの趣味）
8	『大地』16　使いましょう（わたしの家族）　・絵や4コマ漫画を見て文にする
9	『大地』18　使いましょう（わたしの経験）　・書いた作文をペアで読み合う
10	『大地』19　使いましょう（わたしの旅行）　・書いた作文をペアで読み合う
11	『大地』23　使いましょう（わたしの国の紹介）　・道案内を書く　・書いた作文をペアで読み合う
12	夏休みの計画を立てて、発表する
13	授業中試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

メインテキスト『大地』の「使いましょう」から書くタスクを選んで、書く練習をします。簡単なことばで文章を書く練習をして、少しずつ長く、まとまりのある文を書けるように練習をします。書いた文を友だちと読み合って、フィードバックします。学期の終わりに夏休みの計画を立てて、発表します。

■予習・復習

予習：トピックで使う課のことばを調べておくこと
復習：フィードバックして、自分の間違いを見直し、文を書き直すこと

■成績評価の方法

課題（授業中のクイズ・発表を含む）　30%、　定期試験　60%、　平常点　10%

■教科書・参考書

『日本語初級①②大地』（スリーエーネットワーク）
『日本語作文1』（専門教育出版）
『みんなの日本語初級やさしい作文』（スリーエーネットワーク）
『わたしのにほんご』（くろしお出版）

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度春学期講義要項

■必修科目	1 組	多読・読解	水　曜日	1　限	目標レベル	A2、初級
■授業の目的及び到達目標					担当：田中　優季	

この授業では、読むことを楽しみながら日本語を身につけることを目的とします。具体的には、多読学習で多くの読み物に触れ、クラスの中で、読んだものの感想や説明を話したり書いたりすることができるようになることを到達目標とします。

■授業計画

1	ガイダンス（授業の進め方、予習・復習、成績評価の方法について）、読書記録の取り方、多読体験
2	読み聞かせ①、多読①
3	読み聞かせ②、多読②、ブックトーク①
4	読み聞かせ③、多読③、ブックトーク②
5	読み聞かせ④、多読④、読んだ本の紹介発表①
6	読書感想文①、プロジェクトについての説明
7	輪読①、多読⑤、ブックトーク③
8	輪読②、多読⑥、ブックトーク④、
9	輪読③、多読⑦、ブックトーク⑤
10	読書感想文②、プロジェクト準備①
11	プロジェクト準備②
12	プロジェクト準備③
13	授業中試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

授業の前半は、多読のルールを守りながら読書を楽しみます。後半はアウトプットの活動をおこないます。本の中の言葉や表現を使って話したり書いたりします。
期末のプロジェクトは、今学期のまとめとして、クラスメイトの前で発表します。
※授業計画、方法は変わることがあります。

■予習・復習

予習：読書計画を立ててください。学期末にプロジェクトがあるので、準備をしておきましょう。
復習：読書記録を整理してください。学期末に先生に提出します。期末プロジェクトの作品も、期限までに先生に提出するので、準備しておきましょう。

■成績評価の方法

期末プロジェクト　40%、期末発表　20%、課題（読書感想文、読書記録表など）30%、平常点10%

■教科書・参考書

多読教室の本（貸し出しもできます）、インターネット上の多読の読み物など

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度春学期講義要項

■必修科目	1　組	「聴解・聴読解」	月　曜日	2　限	目標レベル	A2、初級
■授業の目的及び到達目標					担当：南口順子	

毎日の生活の中の簡単な会話を聞き取る力や基本的な日本語力（初級の語彙や文法）に即した聴解力を身につけることを目的とします。
日常的なコミュニケーション場面でよく使われる初級文型や基本的な言い回しを聴いて理解できること、また、N4 レベルの聴解力を身につけることを到達目標としています。

■授業計画

1	ガイダンス（授業の進め方の説明）、日本語の挨拶、数字の聞き取り、自己紹介）『大地①』L1～L3
2	『大地①』L4～L5
3	『大地①』L6～L7
4	『大地①』L8～L9
5	『大地①』L10～L11
6	『大地①』L12～L13　N5対策
7	『大地①』L14～L15　N5対策
8	『大地①』L16～L17　N4対策
9	『大地①』L18～L19　N4対策
10	『大地①』L20～L21　N4対策
11	『大地①』L22、『大地②』L23　N4対策模擬試験実施
12	『大地②』L24～L25、定期試験前復習
13	授業中試験

■授業の方法

メインテキストの『日本語初級1大地』で勉強した初級の語彙や文法を、聞いて理解できるように練習します。聴解の前に、テキストに出てくることばや表現を確認してから、タスク練習をして、聞き取れるようにします。ポイントを聞き取ったり、まだ勉強していないことばも聞き取れるようにしていきます。ある場面の中の関係のあることばも一緒におぼえて、聴解をしながら新しいことばも増やしていきます。　※学習進度は変わることがあります。

■予習・復習

予習：学習予定表を見て、その日勉強する『大地』のテキストの課のことばや文型・文法を復習しておきましょう。
復習：勉強したことば、言い方をおぼえましょう。クラスで聞いた音源を Teams の1クラスの聴解クラスに UP しますから、もう一度聞いて、復習しましょう。最後にスクリプトで確認しましょう。

■成績評価の方法

課題等（授業中のクイズ・発表を含む）　30%、定期試験　50%、平常点　20%

■教科書・参考書

プリントを使います。　『文法まとめリスニング初級①』『文法まとめリスニング初級②』（スリーエーネットワーク）
『みんなの日本語聴解タスク 25』（スリーエーネットワーク）、JLPT対策N5、N4問題集

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度春学期講義要項

■必修科目	2　組	会話	火　曜日	2　限	目標レベル	A2⁺、初中級
■授業の目的及び到達目標					担当：浅井　尚子	

日常的な場面において基本的なやりとりをするための口頭表現力を身につけることを目的とします。
身近で日常的な話題について、簡単な言葉で説明できることや、自分の考えや意見を伝えられることを到達目標します。

■授業計画

1	ガイダンス（授業の進め方、予習・復習、成績評価の方法など）、自己紹介
2	『大地②』L23・L24　会話練習　『聞く・考える・話す　留学生のための初級にほんご会話』（L4）
3	『大地②』L25・L26　会話練習　『聞く・考える・話す　留学生のための初級にほんご会話』（L7）
4	『大地②』L27・L28　会話練習　『聞く・考える・話す　留学生のための初級にほんご会話』（L8）
5	『大地②』L29・L30　会話練習　『聞く・考える・話す　留学生のための初級にほんご会話』（L10 ）
6	『大地②』L31・L32　会話練習　『聞く・考える・話す　留学生のための初級にほんご会話』（L11）
7	『大地②』L33・L34　会話練習　『『聞く・考える・話す　留学生のための初級にほんご会話』（L12）
8	『大地②』L35・L36　会話練習　『わたしのにほんご』（L14）
9	『大地②』L37・L38　会話練習　『わたしのにほんご』（L15）
10	『大地②』L39・L40　会話練習　『わたしのにほんご』（L17）
11	『大地②』L41・L42　会話練習　「私のお気に入り」ミニスピーチ①
12	授業のまとめと授業中試験の練習　「私のお気に入り」ミニスピーチ②
13	授業中試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

授業の最初に『大地②』の「扉のページ」の会話を聞きます。どんな内容か、話し合ってから、会話練習をします。ペアで練習したり、「使いましょう」の会話練習をしたりします。他のペアの会話を聞いて、感想を言います。授業の後半は、他のテキストの応用練習をしたりします。
学期の最後にそれまで勉強したことばや文型を使って、発表をします。※学習進度は、変わることがあります。

■予習・復習

予習：教科書の中で、わからないことばや表現を調べておいてください。
復習：教科書の中の会話や自分たちで作った会話を何度も練習してください。

■成績評価の方法

課題（授業中のクイズ・発表を含む）　30%、 定期試験　60%、 平常点　10%

■教科書・参考書

『日本語初級②　大地』（スリーエーネットワーク）『中級へ行こう』（スリーエーネットワーク）
『わたしのにほんご』（くろしお出版）
『聞く・考える・話す　留学生のための初級にほんご会話』（スリーエーネットワーク）
『にほんご発音アクティビティ』（アスク）　・プリントを渡します。

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度春学期講義要項

■必修科目	2　組	作文	金　曜日	2　限	目標レベル	A2⁺、初中級
■授業の目的及び到達目標					担当：関根 稚恵	

日常的で身近な話題について、ある程度まとまりのある文章を書く力を身につけることを目的とします。 N4～N3レベルの語彙や文型・表現を適切に用いて、段落を分けた 400字程度の紹介文や意見文を普通体で書けることを到達目標とします。

■授業計画

1	ガイダンス（授業の進め方、評価の方法、予習・復習、宿題について）／自己紹介の作文
2	『身近なテーマで伝える！にほんご作文トレーニング』1課「食事」／文字や数字、記号の書き方
3	『大地』L23・L28使いましょう「わたしの国／わたしの国の自然災害」／原稿用紙の使い方
4	『身近なテーマで伝える！にほんご作文トレーニング』3課「○年後の自分」
5	『大地』まとめ6「初めての経験」／Challenge！①「SNS に投稿する」
6	『身近なテーマで伝える！にほんご作文トレーニング』5課「もし動物になるなら」
7	『大地』L34使いましょう「僕の／わたしの初恋物語」／Challenge！②「メッセージに返信する」
8	「旅行（課外研修）」の作文
9	『身近なテーマで伝える！にほんご作文トレーニング』7課「仕事」
10	『身近なテーマで伝える！にほんご作文トレーニング』9課「自分の名前」
11	『身近なテーマで伝える！にほんご作文トレーニング』15課「お礼の手紙・メール」／『大地』L42「メール」
12	今まで書いた作文の書き直し／試験の練習
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

毎回の授業では、最初に作文のテーマについて、ペアやグループで質問したり話し合ったりしながら作文のアイディアを考えます。次に、書くために必要なことばや表現、作文のルールを学びます。それから作文を書きます。授業中に書き終わらなかった場合は次の週までの宿題にします。書いた後は、チェックされたところを直したり、クラスメートの作文を読んで一緒に直したりしながら、まとまりのある文章を書く練習をしていきます。
※学習進度は変わることがあります。

■予習・復習

予習：配られたプリントの分からないことばを調べましょう。『大地』のことばのリストも確認してください。
復習：先生にチェックされた作文をよく読んで、もう一度きれいに書き直しましょう。

■成績評価の方法

課題（授業中のクイズ・発表を含む）：30%　定期試験：40%　平常点（出欠状況・作文への取り組み態度）：30%

■教科書・参考書

『身近なテーマで伝える！にほんご作文トレーニング［初中級A2～B1］』（くろしお出版）から必要なところをコピーして配ります。
『日本語初級②大地』（スリーエーネットワーク）も使います。

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度春学期講義要項

■必修科目	2　組	日本語（総合）	月・火・水・金　曜日	1限 (3)	目標レベル	A2+、初中級
■授業の目的及び到達目標			担当：李欣穎・田中優季・浅井尚子・澤田帆奈美・関根稚恵			

ごく日常的な場面においてやりとりするための基礎的な日本語力を確実に身につけることを目的とします。
身近で個人的な話題について、簡単な説明を理解し、短いことばで伝えることができることを到達目標としています。

■授業計画

1	ガイダンス、『大地1』の復習：まとめ2～4、『大地2』L23
2	『大地2』L24（L23,L24言葉の練習）・L25
3	『大地2』L26（L25,,L26言葉の練習）・L27・まとめ5（L27、まとめ5言葉の練習）
4	『大地2』L28・L29（L28,L29言葉の練習）
5	『大地2』L30・L31（L30L31言葉の練習）
6	『大地2』L32・まとめ6（L32、まとめ6言葉の練習）
7	『大地2』L33・L34（L33,L34言葉の練習）
8	『大地2』L35・L36（L35,L36言葉の練習）
9	『大地2』L37・まとめ7（L37、まとめ7言葉の練習）
10	『大地2』L38・L39（L38,L39言葉の練習）
11	『大地2』L40・L41（L40,L41言葉の練習）
12	『大地2』L42・まとめ8（L42、まとめ8言葉の練習）
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

週5コマを5名の教師によるチーム・ティーチングで教えます。『大地2』は 1課を2～2.5 コマで進めます。課に入る前に「語彙予習リスト」を配りますから、言葉を調べて覚えましょう。授業では、最初に課の扉のページの会話を聞きます。それから、新しい言葉の確認をして、文型の練習、応用練習をします。学習した文型例のディクテーションをしたり漢字の読み方を練習したりします。2課ごとに言葉の練習をして、まとめの課で復習をします。毎回宿題を出しますから、必ず提出しましょう。5課ごとに漢字のクイズとまとめクイズをします。 ※学習進度は、変わることがあります。

■予習・復習

予習：学習予定表を見て、予定の学習項目と新しい言葉の意味を調べておきましょう。「語彙予習リスト」もしましょう。
復習：授業で学習した言葉や文型を復習し、宿題に取り組みましょう。

■成績評価の方法

課題（授業中のクイズ・発表を含む） 30%、定期試験 60%、平常点 10%
5人の先生がそれぞれ試験をして、評価を 100点満点で出します。その平均点がこの科目の成績になります。

■教科書・参考書

『日本語初級② 大地』（スリーエーネットワーク）

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度春学期講義要項

■必修科目	2　組	聴解・聴読解	月　曜日	2　限	目標レベル	A２⁺、初中級
■授業の目的及び到達目標					担当：李　欣穎	

ごく日常的な場面での情報のやりとりをするために、様々なトピックの内容を聞いて、理解できることを目的とします。
会話や話の構成に留意し、正確に聴き取れることを到達目標としています。

■授業計画

1	ガイダンス（授業の進め方、成績評価の方法など）/ 「～（する）と、～ます」「〇〇でも」を含む会話を聞き取る練習をします。（大地② L23）
2	「いつ/どこ/だれ/何…か、」を含む会話を聞き取る練習をします。（大地② L25）
3	「…とき、」を含む会話を聞き取る練習をします。（大地② L26）
4	「…んです。」を含む会話を聞き取る練習をします。（大地② L27）
5	「～ています。」を含む会話を聞き取る練習をします。（大地② L28）
6	「～し、～し…」「～（よ）うと思っています。」を含む会話を聞き取る練習をします。（大地② L29・30）
7	「～ておきます。」を含む会話を聞き取る練習をします。（大地② L31）
8	「…ば、」を含む会話を聞き取る練習をします。（大地② L33）
9	「～（さ）れます。」を含む会話を聞き取る練習をします。（大地② L36）
10	「～（し）そうです。」を含む会話を聞き取る練習をします（大地② L37）
11	「～（さ）せます。」を含む会話を聞き取る練習をします。（大地② L40）
12	敬語を含む会話を聞き取る練習をします。（大地② L41・42）
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

内容を確認しながら問題練習をする形で授業を進めます。
小テストを行う場合があります。
※授業の進度は変わることがあります。

■予習・復習

予習：『大地』とその関連文型を確認しておいてください。
復習：授業で行った問題をもう一度聞いて練習してください。

■成績評価の方法

課題（授業中のクイズ・発表を含む）20%、定期試験50%、平常点30%

■教科書・参考書

授業内容により、プリントを配ることがあります。
『文法まとめリスニング 初級２－日本語初級２ 大地準拠－』（スリーエーネットワーク）

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度春学期講義要項

■必修科目	2　組	読解・多読	水　曜日	2　限	目標レベル	A２＋ 初中級
■授業の目的及び到達目標					担当：澤田 帆奈美	

多読学習の目的は、まとまりのある長さの日本語の文章を、辞書を使わずに推測して読むこと、母語に翻訳せずに日本語をそのまま読むことをたくさん行うこと、そして、読む楽しさを知り、楽しく読む習慣をつけることです。 また、読んだ内容について話す練習をすることも目的です。たくさん読むことで、速く正確に読み取る力、わかりやすく読み伝える力をつけます。到達目標は、自分のレベルより高い、初中級レベルの読解力をつけることです。

■授業計画

1	①多読授業（多読のルール、進め方、読書記録シートの書き方、授業評価）についての説明　② それぞれ多読
2	①本の紹介、読み聞かせ、先週の振り返りなど　②それぞれ多読→多読活動(ブックトークなど)
3	①本の紹介、読み聞かせ、先週の振り返りなど　②それぞれ多読→多読活動(ブックトークなど)
4	①本の紹介、読み聞かせ、先週の振り返りなど(または『大地2』読解問題) ②それぞれ多読→多読活動(ブックトークなど)
5	①本の紹介、読み聞かせ、先週の振り返りなど(または『大地2』読解問題) ②それぞれ多読→多読活動(ブックトークなど)
6	①本の紹介、読み聞かせ、先週の振り返りなど(または『大地2』読解問題) ②それぞれ多読→多読活動(ブックトークなど)
7	①本の紹介、読み聞かせ、先週の振り返りなど(または『大地2』読解問題) ②それぞれ多読→多読活動(ブックトークなど)
8	①本の紹介、読み聞かせ、先週の振り返りなど(または『大地2』読解問題) ②それぞれ多読→多読活動(ブックトークなど)
9	①本の紹介、読み聞かせ、先週の振り返りなど(または『大地2』読解問題) ②それぞれ多読→多読活動(ブックトークなど)
10	①期末プロジェクトの準備(1)発表内容、方法、提出期限の説明。創作物の相談　②多読学習(または『大地2』読解)
11	①期末プロジェクトの準備(2)創作物の作成、発表の準備　②多読学習(または『大地2』読解問題)
12	①期末プロジェクトの準備(3)創作物の提出、または作成、発表の準備　②多読学習(または『大地2』読解問題)
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

自分が読みたい本を読みます。楽しみながら、たくさん読んで読解練習をします。授業の最初は、本の紹介や読み聞かせを聞いたり、お話の動画を見たり、前回読んだ本について話したりします。それから、それぞれ多読のルールを守って読みます。読んだあとで、読書記録シートに本の内容や感想を書きます。また、ペアで話したり、簡単に文にまとめたりします。また、『大地2』の読解問題を解くこともあります。学期の最後に、自分で作ったものをクラスで発表します。　※学習進度は、変わることがあります。

■予習・復習

・授業以外でも、たくさん日本語の本を読んでください。多読室の本を借りたり、無料の WEB サイトを見たりしましょう。
・『大地2』の読解問題は、覚えていない単語や表現を、授業のあとに復習して覚えましょう。

■成績評価の方法

課題（授業中の読書記録など） 30%、定期試験（期末プロジェクト発表と提出作品） 40%、平常点（授業参加度、多読の態度、ブックトークへの参加態度） 30%

■教科書・参考書

・多読室の本、NHK for school「おはなしのくに」、日本語多読の WEB サイト https://tadoku.org/japanese/free-books/
・『日本語初級 大地2』（スリーエーネットワーク）

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度春学期講義要項

■必修科目	2　組	日本事情	木　曜日	1　限	目標レベル	A２＋、初中級
■授業の目的及び到達目標					担当：豊田　香	

日本での生活様式を理解し、実際に必要な知識を身につけます。また、自分に近い周りのことや毎日の生活に関係あることについて、日本人と簡単なコミュニケーションが取れることを到達目標とします。

■授業計画

1	ガイダンス（授業の進め方、予習・復習、成績評価の方法について）・初対面の挨拶と自己紹介・教室の使い方
2	「生活に必要な知識　（1）じしん
3	「生活に必要な知識　（2）でんしゃ
4	「生活に必要な知識　（3）てんき
5	「生活に必要な知識　（4）てんき
6	「生活に必要な知識　（5）ねっちゅうしょう
7	とういつしけん
8	春季課外研修旅行
9	夏休みの計画①
10	夏休みの計画②
11	日本の昔話『七夕』について
12	たなばたかい
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

授業は、講義形式で十分に理解してから、学生自身の生活と関連づけて考えるタスクに進みます。最後に、自分の生活について他の人に説明できるように準備し、実際に、クラス内で他者に伝達する活動を行います。
また、春季研修旅行や七夕行事を通して、日本ならではの文化に直接ふれ、それがどのようなものなのかについて、体験を通して深く理解します。Teamsにチームを作り、そこに課題を提出したり、質問ができるようにします。※学習進度は、変わることがあります。

■予習・復習

予習：日本の生活や日本人のコミュニケーションの中で、疑問に思ったことを毎回簡単に発表してもらいます。
復習：授業で学んだことを実際の生活や日本人とのコミュニケーションの中で使ってみてください。

■成績評価の方法

課題（授業中のクイズ・発表を含む）　30%、定期試験　30%、平常点　40%

■教科書・参考書

プリントをわたします。

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度春学期講義要項

■必修科目	3 組	会話	火　曜日	2　限	目標レベル	B1+、中級
■授業の目的及び到達目標					担当：開　めぐみ	

身近で個人的な話題について、適切なやりとりをしたり、口頭で自分の考えや意見を伝えたりする力を身につけることを目的とします。身近な話題や個人的に関心があるテーマについて、理由を挙げて説明できることや、スピーチやディスカッションができることを到達目標とします。

■授業計画

1	ガイダンス　いいスピーチとは　まつり①
2	まつり②（発表）
3	観光①　　スピーチのヒント①：スピーチの中でクイズを出すとおもしろい
4	観光②　おすすめの観光地の紹介
5	観光③　おすすめの観光地の紹介（ポスター発表）
6	習慣の違い①　　スピーチのヒント②：いろいろなスピーチの始め方
7	習慣の違い②（発表）
8	いやな体験①
9	いやな体験②（発表）　　スピーチのヒント③コンセプトマップを使おう
10	プロジェクト：私の国の問題　①（教育、社会、環境など）　スピーチの例を読む、ことば・表現、テーマを決める
11	プロジェクト：私の国の問題　②　アウトラインを作る　スピーチ原稿を書く
12	プロジェクト：私の国の問題　③　ポスター発表　　ふりかえり
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

授業は、ウォーミングアップ、理解（テーマに関する言葉やよく使う文型の練習）、準備（スクリプト作成と練習）、発表の流れで進みます。課によっては、宿題として、言葉の練習と、読み物があります。発表はひとりでするものと小グループでするものがあります。グループワークが多いので、積極的に活動に参加してください。

※学習進度は変わることがあります。

■予習・復習

予習：次の授業のプリントを読んで、わからない言葉や表現の意味を調べておいてください。

復習：発表のためのスクリプトを書き直したり、発表練習をしたりしてください。

■成績評価の方法

課題（発表、プロジェクトを含む）40%　定期試験　30%　平常点　30%

■教科書・参考書

プリントを配布します。

参考書　『初級からの日本語スピーチ』（凡人社）

『Weekly J 日本語で話す6週間』book 1（凡人社）

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度春学期講義要項

■必修科目	3　組	作文	金　曜日	2　限	目標レベル	B1+、中級
■授業の目的及び到達目標					担当：森泉　朋子	

身近で個人的な話題や具体的なことがらについて、まとまりのある文章を書く力を身につけることを目的とします。
N3～N2 レベルの語彙や文型・表現を適切に用いて、段落や構成を考えて 600字程度の説明文や意見文を普通体で書けることを目標とします。

■授業計画

1	ガイダンス（授業の進め方や評価の方法などについて）・クラスメートを紹介する作文を書く
2	自分の国のファストフードについて書く（原稿用紙の使い方について学ぶ） 1課
3	災害について書く（過去の出来事について書く） 2課
4	デジタル機器について書く（物のいい点と悪い点の両方について書く） 3課
5	日本について紹介したいことを書く（構成に気をつけて書く） 4課
6	今住んでいる部屋について書く（客観的に説明する） 5課
7	失敗について書く（感情を表す表現を学ぶ） 6課
8	子ども時代の思い出について書く（段落に気をつけて書く） 7課
9	習慣の違いについて書く（対比の表現を学ぶ） 8課
10	自分の国の気候について書く（普通体について学ぶ） 9課
11	ジェンダーギャップについて書く（論理的に書く） 9課
12	日本語学習について書く（これまでの学習をふりかえって書く） 10課
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

テーマごとによく使われる語彙・表現を学んだあとに、作文を書く練習をします。教科書の中にある「作文」に基づきながらも、テーマをより広げる形でいろいろな文章を書きます。
書く前にグループワークを行って、トピックについて考えを深めます。その後、構成メモを書いて、段落を考えた後で、作文を書き始めます。書いた後でグループやクラスで作文を音読して内容を共有しします。
作文は教員がチェックして返却します。学生は間違いなどを直して、再提出します。

■予習・復習

予習：教科書で習った語彙や文型表現の使い方を復習しておいてください。
復習：返却された作文のフィードバックを読んで間違いを直したり、プリントをもう一度見直したりしてください。

■成績評価の方法

課題（授業中のクイズ・発表を含む） 30%、定期試験　60%、平常点　10%

■教科書・参考書

『中級へ行こう』（スリーエーネットワーク）
プリントも配布します。

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度春学期講義要項

■必修科目	3　組	総合	月・水・金　曜日	1　限	目標レベル	B1+、中級
■授業の目的及び到達目標					担当：関根稚恵・森泉朋子・長谷川由香	

日常的な場面において使われる日本語力を確実に身につけることを目的とします。
様々な身近な話題について、まとまった内容を理解し、明確に意図を伝えることができることを到達目標としています。

■授業計画

1	ガイダンス（授業の進め方、予習・復習、成績評価の方法など）／ 初級後半文型の復習
2	『中級へ行こう』　L1　ファストフード
3	『中級へ行こう』　L2　地震
4	『中級へ行こう』　L3　最近の子ども
5	『中級へ行こう』　L4　日本のイメージ
6	『中級へ行こう』　L5　睡眠
7	『中級へ行こう』　L6　日本人の発明
8	『中級へ行こう』　L7　リサイクルとフリーマーケット
9	『中級へ行こう』　L8　あいづち
10	『中級へ行こう』　L9　男の仕事・女の仕事
11	『中級へ行こう』　L10　ことばの使い方
12	『中級へ行こう』　まとめと復習
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

・1課を3回に分けて勉強します。
2回目：扉のページと学習項目（前半）、2回目：　学習項目（後半）、3回目：本文と内容確認、チェックシート、聴解、漢字など。毎回、宿題があります。
・1つの課が終わったら、まとめクイズがあります。
・習ったことばや文型を使って、書いたり話したりする練習もします。

■予習・復習

予習：　その日に勉強する課のことばや表現を調べておいてください。
復習：　その日の宿題をします。まとめクイズの前には、よく復習をしておきましょう。

■成績評価の方法

課題（授業中のクイズ・発表を含む）　20%、定期試験　60%、平常点　20%

■教科書・参考書

『中級へ行こう　日本語の文型と表現55　第2版』

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度春学期講義要項

■必修科目	3　組	聴解・聴読解１	月　曜日	2　限	目標レベル	B１、中級
■授業の目的及び到達目標					担当：浅井　尚子	

様々なトピックの内容を正確に聴き取り、多様なタスクを通して理解を深めることを目的とします。大学や専門学校で必要とされる聴解能力を身につけるため、資料（グラフや図表、平易な説明文など）をもとにそれぞれの内容を聞き取り、理解できることを到達目標としています。

■授業計画

1	ガイダンス（授業の進め方、予習・復習、成績評価の方法など）、自己紹介
2	『NIJ テーマで学ぶ日本語』L1・『聴解が弱いあなたへ』L1～2
3	『NIJ テーマで学ぶ日本語』L2・『聴解が弱いあなたへ』L3～4
4	『NIJ テーマで学ぶ日本語』L3・『聴解が弱いあなたへ』L5～6
5	『NIJ テーマで学ぶ日本語』L4・『聴解が弱いあなたへ』L7～8
6	『NIJ テーマで学ぶ日本語』L5・『聴解が弱いあなたへ』L9～10
7	『日本語生中継』L1　・テレビニュースを聴く
8	『日本語生中継』L2　・テレビニュースを聴く
9	『日本語生中継』L3　・SNS から好きな日本の動画を探す1
10	『日本語生中継』L4　・SNS から好きな日本の動画を探す2
11	『日本語生中継』L5　・発表1とグループ活動
12	総復習・発表2とグループ活動
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

前半の授業では、音声教材の日本語を聞き、内容を理解します。聴き取りのポイントを解説し、いろいろな日本語を聞き取れるようにしていきます。後半の授業では、実際のテレビニュースや SNS で使われている自然な日本語をすばやく聞き取れるように練習します。音声を聞いた後、ペア活動やグループ活動と通して、口頭練習も行います。
※学習進度は、変わることがあります。

■予習・復習

予習：インターネットなどから、いろいろな日本語を聞くようにしましょう。
復習：授業で共有した音声をもう一度聞き、復習しましょう。

■成績評価の方法

課題（授業中のクイズ・発表を含む）　30%、 定期試験　50%、 平常点　20%

■教科書・参考書

『新版日本語生中継　初中級編1』（くろしお出版）『「聴解が弱いあなたへ」』（凡人社）『NIJ テーマで学ぶ日本語』（くろしお出版）など　・プリントを渡します。

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度春学期講義要項

■必修科目	3 組	聴解・聴読解２	火　曜日	1　限	目標レベル	B1+、中級
■授業の目的及び到達目標					担当：開　めぐみ	

様々なトピックの内容を正確に聴き取り、多様なタスクを通して理解を深めることを目的とします。大学や専門学校で必要とされる聴解能力を身につけるため、資料(グラフや図表、平易な説明文など)をもとにそれぞれの内容を聴き取り、理解できることを到達目標としています。

■授業計画

1	N3課題理解
2	N3 ポイント理解
3	N3概要理解
4	N3発話表現
5	N3即時応答
6	N3模擬試験
7	N2 課題理解
8	N2 ポイント理解
9	N2概要理解
10	N2発話表現
11	N2即時応答
12	N2模擬試験
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

まず音声教材を使って問題を実際にやってみることで、問題の傾向や特徴をつかみます。数回の聞き取り練習後答え合わせ、解説をします。聞いた内容について、自分の言葉でまとめ説明する練習もします。また、内容の正確な理解には、レベルにあった語彙力も欠かせないため、スクリプトに出てきた新しい言葉について意味と使い方を確認し、定着のための練習をします。

※学習進度は、学生の理解度やレベルによって変わることがあります。

■予習・復習

予習：語彙小テストのために前回の授業で学んだ言葉や表現を見直してください。
復習：間違った問題を見直し、新しく学んだ言葉の意味を復習してください。

■成績評価の方法

平常点20%　課題 20%　定期試験60%

■教科書・参考書

毎回プリントを配布します。
参考書 『新完全マスターN3聴解』、『新完全マスターN2聴解』(スリーエーネットワーク) 他N3,N2聴解問題集

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度春学期講義要項

■必修科目	3　組	読解	月　　曜日	3　　限	目標レベル	B1+ 中級
■授業の目的及び到達目標					担当：中野二郎	

多読学習によるトップダウン型読解とJLPTN２レベル問題の解法ストラテジー学習の併用により、実践的な読解力の修得を目的とします。具体的には、個人の嗜好やレベルに合う読み物を多量に楽しみながら、学習者同士の情報交換・発表・創作など受容と産出活動を併せ持つ多読学習に、スキャニング、スキミング、文章構造理解などの速読ストラテジー学習を加え、読解の実践力をスパイラル状に伸ばすことを到達目標とします。

■授業計画

1	ガイダンス、レベルチェック（JLPTN4）
2	1～2回　接続
3	3～4回　指示詞、主語などの省略
4	5～6回　理由、メール・メモ・お知らせ
5	7～8回　意見文、説明文
6	9回　長文と情報検索（1）
7	10回　長文と情報検索（2）
8	11回　長文と情報検索（3）
9	12回　長文と情報検索（4）
10	JLPT　N3模擬試験　1回目
11	JLPT　N3模擬試験　2回目
12	総復習
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

読解問題を解くストラテジーを使って、練習問題を解き進めます。
語彙の定着を図る為、毎回、前回の読解問題に出てきた語彙クイズを実施します。

■予習・復習

予習：語彙シートをしっかり見ておくこと
復習：その日読んだ読解問題を次週の授業までに必ずもう一度読んでおくこと。

■成績評価の方法

課題30%（授業中のクイズを含む）、試験40%、平常点30%

■教科書・参考書

参考書 『JLPT読解N3　ポイント＆プラクティス』（スリーエーネットワーク）など

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度春学期講義要項

■必修科目	3　組	読解・多読	水　曜日	2　限	目標レベル	B1+、中級
■授業の目的及び到達目標					担当：長谷川 由香	

多読学習によるトップダウン型読解と、JLPT N2 レベル問題の解法ストラテジー学習の併用により、実践的な読解力の修得を目的とします。

具体的には、個人の嗜好やレベルに合う読み物を多量に楽しみながら、学習者同士の情報交換・発表・創作など受容と産出活動を併せ持つ多読学習に、スキャニング、スキミング、文章構造理解などの速読ストラテジー学習を加え、読解の実践力をスパイラル状に伸ばすことを到達目標とします。

■授業計画

1	ガイダンス（授業の進め方、成績評価の方法など）　／多読1（導入、多読、ブックトーク、まとめの活動）
2	多読2（導入、多読、ブックトーク、まとめの活動）
3	多読3（導入、多読、ブックトーク、まとめの活動）
4	多読4（導入、多読、ブックトーク、まとめの活動）
5	多読5（導入、多読、ブックトーク、まとめの活動）
6	多読6（導入、多読、ブックトーク、まとめの活動）
7	多読7（導入、多読、ブックトーク、まとめの活動）
8	多読8（導入、多読、ブックトーク、まとめの活動）
9	多読9（導入、多読、ブックトーク、まとめの活動）
10	多読10（導入、多読、ブックトーク、まとめの活動）
11	多読11（導入、多読、ブックトーク、まとめの活動）、期末発表の準備1
12	期末発表の準備2
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

・授業の前半：多読のルールを守りながら、自分のペースで好きな本を読みます。
・授業の後半：自分が読んだ本について、あらすじを説明したり、感想や意見を発表したりします。クラスメイトの発表に質問やコメントもします。
・期末発表：今学期に行ってきた多読の成果として、発表を行います。

■予習・復習

・授業時間だけでなく、家などでも積極的に読書を行ってください。多読室の本を借りることもできます。
・読んだ本についてまとめて、読書記録を書いておいてください。

■成績評価の方法

課題（読書記録、提出物、ブックトークなど）　50%、定期試験（期末発表）　30%、平常点　20%

■教科書・参考書

多読室の本、多読のウェブサイト、自分の関心のある本など

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度春学期講義要項

■必修科目	3　組	日本事情	木　曜日	1　限	目標レベル	B1+、中級

■授業の目的及び到達目標	担当：長谷川 由香

日本の社会や文化について、行事や活動を通して、具体的に理解することを目的とします。
一般的で日常的な話題や自分の関心のあるさまざまな話題について日本人とある程度円滑にコミュニケーションができることを到達目標とします。

■授業計画

1	アイスブレイク ／ ガイダンス(授業の進め方、成績評価の方法など)
2	街を歩く① 日本の地域的な特色について学ぼう
3	街を歩く② 調べたことを発表しよう
4	食を楽しむ① 日本の食文化の歴史や特色について学ぼう
5	食を楽しむ② 食レポに挑戦しよう
6	災害に備える① 災害や防災について学ぼう
7	※統一試験（授業なし）
8	※課外研修（授業なし）
9	災害に備える② 体験したことを発表しよう
10	伝統文化に触れる① さまざまな日本の伝統文化について学ぼう
11	伝統文化に触れる② 調べたことを発表しよう
12	季節のイベントを体験する「七夕」
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

・授業の前に語彙リストを確認しておきましょう。
・クラスではまず、トピックについて基本的な知識を学びます。それから、ペアやグループで話し合ったり、発表をしたり
します。トピックが終わると、クイズがあります。クラスで習ったことや語彙を復習してきてください。

■予習・復習

予習：語彙リストを確認しておいてください。
復習：トピックについて学んだことをまとめて、発表の準備をしてください。クイズの前に復習をしてください。

■成績評価の方法

課題（授業中のクイズ・発表を含む） 50%、定期試験　30%、平常点　20%

■教科書・参考書

『にほんごで文化体験』

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度春学期講義要項

■必修科目	4 組	会話	火　曜日	2　限	目標レベル	B2、中上級
■授業の目的及び到達目標					担当：田中　優季	

身近で個人的な話題について、適切なやりとりをしたり、口頭で自分の考えや意見を伝えたりする力を身につけることを目的とします。

身近な話題や個人的に関心があるテーマについて、理由を挙げて説明できることや、スピーチやディスカッションができることを到達目標とします。

■授業計画

1	ガイダンス（授業の目的や進め方、成績評価の方法について）、クラスメイトにインタビュー、自己・他己紹介
2	ショートスピーチ、リアル日本語会話（1）、手順の説明（ロールプレイ、発表）
3	ショートスピーチ、リアル日本語会話（2）、誘う・断る（ロールプレイ、発表）
4	ショートスピーチ、リアル日本語会話（3）、慰める・励ます（ロールプレイ、発表）
5	ショートスピーチ、リアル日本語会話（4）、初対面の人と話す、会話中間試験について説明
6	会話中間試験、フィードバック
7	ショートスピーチ、リアル日本語会話（5）、病状の説明、なくした物の説明（ロールプレイ、発表）
8	ショートスピーチ、リアル日本語会話（6）、アルバイトの応募する（ロールプレイ、発表）
9	ショートスピーチ、リアル日本語会話（7）、変更の許可を求める、訂正を求める（ロールプレイ、発表）
10	ショートスピーチ、リアル日本語会話（8）、手伝いを申し出る、間違いを伝える（ロールプレイ、発表）
11	ショートスピーチ、リアル日本語会話（9）、相談する、自分の意見を言う（ロールプレイ、発表）
12	ショートスピーチ、リアル日本語会話（10）、面接の練習、学期末の試験について説明
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

・授業のはじめに、1～2名の学生にショートスピーチをしてもらいます。

・リアル日本語会話（日本人がよく使う会話表現）を紹介します。CD を聞いて表現の意味・機能を確認した後で、自分たちでなりきって会話をしてください。

・ロールプレイは、与えられたタスクを達成することを意識して、ペアやグループで練習・発表します。また、クラスメイトの発表を聞いて、お互いにフィードバックをします。

・会話試験は、中間と期末の 2回おこなう予定です。試験の形式については事前に告知します。

■予習・復習

予習：シラバスを確認し、授業に備えてください。ショートスピーチの準備をしておいてください。

復習：授業で学んだ会話表現を、日常生活でも積極的に使ってください。

■成績評価の方法

課題（ショートスピーチを含む）　30%、定期試験　60%、平常点　10%

■教科書・参考書

授業ではプリントを配布します。参考書：『キャラクターと学ぶリアル日本語会話』（アルク）、『会話に挑戦！中級前期からの日本語ロールプレイ』（スリーエーネットワーク）

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度春学期講義要項

■必修科目	4 組	作文	金　曜日	2　限	目標レベル	B2、中上級
■授業の目的及び到達目標					担当：田中　優季	

身近で個人的な話題や具体的なことがらについて、まとまりのある文章を書く力を身につけることを目的とします。N3～N2レベルの語彙や文型・表現を適切に用いて、段落や構成を考えて600字程度の説明文や意見文を普通体で書けることを到達目標とします。

■授業計画

1	ガイダンス（授業の進め方や評価の方法について）、レベルチェック（力だめし作文）
2	原稿用紙の使い方、マッピング法について学ぶ：作文テーマ「わたし」
3	意見文を書く：「最近の気になるニュース」
4	意見文を書く：「制服は必要か不必要か」
5	読み手を意識した文を書く：「投書に答える」
6	説明文を書く：「子供のときによくした遊び」
7	構成を考えて書く：プレゼンテーションの準備
8	プレゼンテーション発表会
9	意見文を書く：「血液型による性格診断」
10	感想文を書く：「読書歴」
11	2つものを比較した文を書く：「○○語を学習するうえで気をつけること」
12	授業中試験について、今学期のまとめ
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

この授業では、総合の授業で使用している「中級を学ぼう中級中期」の作文テーマを基に、さまざまなテーマで自分の考えや意見を書く練習をします。他の教材を使用することもあります。

作文を書く前に、テーマについてクラスメイトとの話し合いや、マッピング作業などをおこないます。作文を書いた後は、クラス内で作文の内容を発表したり、クラスメイトの作文を読んで感想を書いたりします。

授業内で作文を書き終わらなかった場合、宿題になります。忘れずに提出してください。

■予習・復習

予習：教科書で学習した文型・表現をよく復習しておいてください。

復習：作文で直された部分をよく確認し、最後の試験に備えてください。

■成績評価の方法

課題（発表も含む）　40%、定期試験　50%、平常点　10%

■教科書・参考書

『中級を学ぼう中級中期』（スリーエーネットワーク）

『大学・大学院留学生のためのやさしい論理的思考トレーニング』（アルク）

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度春学期講義要項

■必修科目	4　組	総合	月・水・金　　曜日	1　限	目標レベル	B2、中上級
■授業の目的及び到達目標				担当：李維涛・浅井尚子・関口律子		

この授業は、大学や専門学校に進学する人にとって必要な日本語力を身につけることを目的とします。
具体的には、幅広い場面で使われる日本語をある程度理解し、自分の考えや意見を伝えることができることを到達目標としています。

■授業計画

1	ガイダンス（授業の進め方、予習・復習、成績評価の方法について） L1「色」
2	L2「ユーモア・ジョーク」
3	L3「制服」
4	L4「算数」
5	L5「遊びと運動」 前半
6	L5「遊びと運動」 後半
7	L7「水」 前半
8	L7「水」 後半
9	L9「漫画・アニメ・本」 前半
10	L9「漫画・アニメ・本」 後半
11	L10「ヒトと動物」 前半
12	L10「ヒトと動物」 後半
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

週3コマを3人の先生で進めます。1課4コマのペースで、進めます。「扉のページ」「本文キーワード」「ことばを確かめよう」「学習項目と練習」「本文」精読「内容を確かめよう」の順に学習します。その日に学習した文型・語彙の宿題を出し、課の終わりにまとめクイズをして、文型や語彙をしっかり学習します。「作文」は、作文の時間に扱います。
「関連読み物」は、読解の時間に扱います。※学習進度は、変わることがあります。

■予習・復習

予習：学習予定表を見て、その日勉強する課の語彙の意味や漢字の読み、文法項目を調べておいてください。
復習：学習した文型や語彙をしっかり復習し、宿題をやってください。

■成績評価の方法

課題（授業中のクイズ・発表を含む） 20%、定期試験　60%、平常点　20%

■教科書・参考書

『中級を学ぼう 日本語の文型と表現82 中級中期』（スリーエーネットワーク）

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度春学期講義要項

■必修科目	4　組	聴解・聴読解 1	月　曜日	2　限	目標レベル	B2 中上級
■授業の目的及び到達目標					担当：李　維涛	

日本留学試験(EJU)で要求される、大学院や大学に進学する人にとって必要な聴解能力を確実に身につけることを目的とします。実生活に日々出会う様々な生の教材を利用し、幅広い場面で使われる会話やトピックについて資料(グラフや図表、解説文など)をもとに聞き取り、理解できることを到達目標としています。

■授業計画

1	オリエンテーション。授業の目的・目標を確認し、授業の行い方の提示・実演をする。対象資料・リソースの紹介。
2	聴解のセルフトレーニング方法を紹介し、名作映画の断片を教材にして、シミュレーションを行う。
3	アナウンスを聴く(1):空港で/飛行機の中/駅で
4	アナウンスを聴く(2):駅で/電車やバスの中/デパートやスーパーで/など
5	音楽を聴く(歌謡曲/ポップソング/名曲の日本語カバー/など)
6	テレビニュースを聴く(1):時事/芸能/スポーツ/など
7	テレビニュースを聴く(2):天気予報/鉄道運行情報/占い/など
8	映画を聴く(1):『となりのトトロ』
9	映画を聴く(2):『おくりびと』
10	映画を聴く(3):『時をかける少女』
11	ドラマ・アニメを聴く:『のだめカンタービレ』『ブラッシュアップライフ』
12	落語を聴く:ダイアン吉日と三遊亭竜楽
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

授業では、聴解のトレーニングの方法を解説・実演して体感してもらってから、アナウンス、音楽、テレビニュース、映画、ドラマ、落語など、実生活の中で日々に触れる生教材を、実際に聞いてみます。また聞き取った情報のアウトプットも重要視し、ペアやグループで口頭練習活動も行います。

＊授業で使用する予定の教材は、学生のニーズやリクエストによって変更することがあります。

■予習・復習

配布された語彙・表現リストを使い、授業日までに調べておいて予習してください。

授業で行われた生教材のプリントなどを利用し、完全に理解できるまで繰り返して聞く練習を行ってください。

■成績評価の方法

課題(授業中のクイズ・発表を含む)　50%、定期試験　40%、平常点　10%

■教科書・参考書

授業時に配布します。

アナウンス、音楽、テレビニュース、映画、ドラマ、落語などの生教材を元に、教員が作成した聴解トレーニングシートを使います。

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度春学期講義要項

■選択科目	4組	聴解・聴読解2	火　曜日	1　限	目標レベル	B2、中上級
■授業の目的及び到達目標				担当：藤田　守		

本授業の目的は、様々なトピックの内容を正確に聴き取り、多様なタスクを通じて理解を深めることと、大学や専門学校に進学する人にとって必要な聴解能力を身に着けることです。到達目標は、グラフや図表、解説文などの資料を基に、それぞれの内容を聴き取り、理解できるようにすることと、日本語能力試験（JLPT）や日本留学試験（EJU）の受験対策として、問題の特徴や傾向、解答の手順などを理解することです。

■授業計画

1	ガイダンス（授業の進め方、予習復習、成績評価など）・JLPT と EJU について
2	JLPT①課題理解
3	EJU ①試験問題に try・（聴読解）基礎トレーニング
4	JLPT②ポイント理解
5	EJU ②（聴読解）情報を捨てる聴き方と情報を拾う聴き方の練習
6	JLPT③概要理解
7	EJU ③（聴解）必要な情報を探して聴く練習・聞き取った情報を別の言葉に置き換えて聴く練習
8	JLPT④発話表現
9	EJU ④（聴解）最後のポイントを聴き逃さない練習
10	JLPT⑤即時応答
11	EJU ⑤本番直前聴解・聴読解総合練習
12	定期試験の説明とその対策
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

この授業では、EJU聴解・聴読解とJLPT聴解の練習問題や過去問題に取り組み、それぞれの傾向や特徴を理解します。そして、聞き取りのポイントやメモの取り方、選択肢の選び方などについて学習します。また、語彙力をつけるため、語彙集を配付するので、宿題として学習します。授業では、その語彙を含んだ例文を聞いて、書きとる練習をします。※授業計画は実際の学習進度により変わることがあります。

■予習・復習

予習：わからない単語の意味を調べて例文を書く。音声を聞き取ってディクテーションをする。
復習：授業で配付されたプリントを見直して、聞き取りが難しかったり、意味が分からなかったりした箇所を確認して、聞き取れるようにする。

■成績評価の方法

課題（授業中のディクテーションを含む） 30%、定期試験 40%、平常点（授業態度） 30%

■教科書・参考書

授業では、『JLPT聴解ポイント＆プラクティス』（スリーエーネットワーク）・『新完全マスター聴解 日本語能力試験』（スリーエーネットワーク）・『日本留学試験 試験問題』（凡人社）を基に、資料を配付します。

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度春学期講義要項

■必修科目	4組	読解	月　曜日	3　限	目標レベル	B2、中上級
■授業の目的及び到達目標					担当：伊藤　江美	

JLPTN2レベル問題の解法ストラテジー学習によってJLPTN2レベル問題を正確に早く解く力を身につけ、実践的な読解力の修得を目的とします。 スキャニング、スキミング、文章構造理解などの速読ストラテジー学習を通し、読解の実践力を伸ばすことを到達目標とします。

■授業計画

1	ガイダンス(授業の進め方・予習復習・評価など)，読解問題の読解力自己診断，JLPT について
2	文章のしくみを理解する，問いを解く技術を身につける，N2レベル(内容理解短文)問題，語彙クイズ①
3	文章のしくみを理解する，問いを解く技術を身につける，N2レベル(内容理解中文)問題，語彙クイズ②
4	文章のしくみを理解する，問いを解く技術を身につける，N2レベル(総合理解)問題，語彙クイズ③
5	文章のしくみを理解する，問いを解く技術を身につける，N2レベル(主張理解長文)問題，語彙クイズ④
6	広告・お知らせ・説明書きなど，N2レベル(情報検索)問題，語彙クイズ⑤
7	広告・お知らせ・説明書きなど，N2レベル(内容理解短文)問題，語彙クイズ⑥
8	N2レベル実戦問題(内容理解短文・中文)，語彙クイズ⑦
9	N2レベル実戦問題(総合理解・主張理解長文)，語彙クイズ⑧
10	N2レベル実戦問題(情報検索・主張理解長文)，語彙クイズ⑨
11	N2レベル模擬試験問題，語彙クイズ⑩
12	N2レベル模擬試験問題
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

・第2～11回に N2レベルの語彙クイズをします。
・JLPT の読解問題を解くストラテジーを学んだ後、自分で N2レベルの問題を解きます。
・文章の内容，文章構造，問題の解き方などを学び、ペアワークで解き方を考えることもします。
・4組「総合」教科書の「関連読み物」を扱うこともあります。
※内容や進度は、状況により変わることがあります。 授業中に ChatGPT などの AI は使わないでください。

■予習・復習

予習：語彙クイズのために、事前に配布したプリントのことばの意味・読み・使い方を勉強してください。
復習：授業中に解いた問題の文章をもう一度読んで、一つの文章の要約文を書いて、TEAMS にアップしてください。

■成績評価の方法

課題(授業中のクイズ・復習の要約文を含む)　30 %、定期試験　40%、平常点　30 %

■教科書・参考書

・『新完全マスター日本語能力試験N2 読解』(スリーエーネットワーク)
・必要なものをプリントして配ります。

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度春学期講義要項

■必修科目	4　組	読解・多読	水　曜日	2　限	目標レベル	B2、中上級
■授業の目的及び到達目標					担当：浅井尚子	

多読学習によるトップダウン型読解と JLPTN2 レベル問題の解法ストラテジー学習の併用により、実践的な読解力の修得を目的とします。
具体的には、個人の嗜好やレベルに合う読み物を多量に楽しみながら、学習者同士の情報交換・発表・創作など受容と産出活動を併せ持つ多読学習に、スキャミング、スキミング、文章構造理解などの速読ストラテジー学習を加え、読解の実践力をスパイラル状に伸ばすことを到達目標とします。

■授業計画

1	多読授業ガイダンス（授業の進め方、成績評価、予習・復習）、多読とは？（多読のルール・読書記録・読書計画）
2	読み聞かせ1、多読1、ブックトーク1
3	読み聞かせ2、多読2、ブックトーク2
4	多読3、多書1、ブックトーク3
5	多読4、ブックトーク4、読書相談（読書計画見直し）
6	期末プロジェクトについて（発表内容・計画・提出期限など）、多読5、読書相談（読書計画見直し）
7	多読6、ブックトーク5、
8	多読7、多書2
9	期末プロジェクト発表準備1、多読8
10	期末プロジェクト準備2、多読9
11	期末プロジェクト準備3（作品提出）、多読10
12	期末プロジェクト発表1
13	期末プロジェクト発表2と学期の学習のまとめ

■授業の方法

自分の好きな本を選んで読みます。集中して授業内読書をすることで、日本語で読むことの楽しさを知り、授業外でも自分から読書をする習慣を身につけます。ブックトーク・多書などを行うことで、インプットからアウトプットの活動へとつなげ、クラスメートと読書の楽しさを味わうことで、日本語の運用力を向上させます。学期の最後に多読学習で身につけた日本語力の成果として、期末プロジェクトで発表を行います。※学習進度は変わることがあります。

■予習・復習

・予習：多読室の本を借りたり、多読の WEB サイトを見たりして、たくさん本を読んでください。
・復習：読書記録を記入し、学習計画を見直してください。
　　期末プロジェクトの準備も自分でします。

■成績評価の方法

課題（提出物・ブックトーク参加度など）　30%、　定期試験（期末プロジェクト）　40%、　平常点　30%

■教科書・参考書

・多読室の本、多読の WEB サイトなど
・自分の本や雑誌などの持ち込みもいいです。（試験対策問題集などは、不可）

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度春学期講義要項

■必修科目	4　組	日本事情	木　曜日	1　限	目標レベル	B2、中上級
■授業の目的及び到達目標					担当：浅井　尚子	

日本の社会や文化について、行事や活動を通して、具体的に理解することを目的とします。一般的で日常的な話題や自分の関心のあるさまざまな話題について日本人とある程度円滑にコミュニケーションができることを到達目標とします。

■授業計画

1	ガイダンス（授業の進め方、成績評価について、予習・復習）
2	日本の地理　グループワーク1（日本旅行プランを考える）
3	日本の観光地　グループワーク2（日本旅行プランを発表する）
4	日本の食文化1　グループワーク3（食レポの内容を考える）
5	日本の食文化2　グループワーク4（食レポをする）
6	日本の災害　　グループワーク5（自分の国・地域の災害と比較する）
7	統一試験
8	春期課外研修
9	日本人のつき合い方とコミュニケーション1　グループワーク6（日本人のつき合い方の特徴について話し合う）
10	日本人のつき合い方とコミュニケーション2　グループワーク7（日本人のつき合い方の特徴について話し合う）
11	日本のマンガ・アニメとかわいい文化1　グループワーク8（日本のマンガ・アニメについて話し合う）
12	七夕について
13	授業中試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

　この授業は、トピックについて読み物や動画などで理解した後で、グループで話し合ったり、発表したりします。グループで話し合うことで、日本についてさまざまな点から理解し、また、自分の国・地域と比較しながら、異文化理解を深めます。話し合いの後で、発表します。最後に自分たちの発表や他のグループの発表について感想を述べたり、コメントを書いたりします。※授業進度は、変わることがあります。

■予習・復習

予習：トピックについて、簡単に調べておいてください。
復習：トピックについて学んだことをまとめておいてください。

■成績評価の方法

課題（授業中の活動・発表を含む）30%、定期試験　50%、平常点　20%

■教科書・参考書

『にほんごで文化体験』（アルク）、『留学生のためのケースで学ぶ日本語』（ココ出版）
『ニッポンのしきたり』（IBC パブリッシング）、『留学生のための動画で学ぶはじめての日本の生活』（ウィネット）
『マンガで学ぶ日本語表現と日本文化』（アルク）など　・プリントを配付します。

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度春学期講義要項

■必修科目	5　組	会話	火　曜日	2　限	目標レベル	B2+ 中上級
■授業の目的及び到達目標					担当：李　維涛	

抽象的な内容を含む話題について、適切なやりとりをしたり、口頭で自分の考えや意見を伝えたりする力を身につけることを目的とします。身近な話題だけでなく、社会的、文化的なテーマについて、適切な語彙と表現、構文を用いて、根拠を挙げて意見を述べられることや、プレゼンテーションやディスカッションができることを到達目標とします。

■授業計画

1	オリエンテーション(授業の目的・目標を確認し、授業の行い方の提示・実演をする)。 3ポイント自己紹介。自分史草案作成。
2	説明と描写[物、ストーリー、そして、思い](1)
3	説明と描写[物、ストーリー、そして、思い](2)
4	説明と描写[場所、ストーリー、そして、思い](1)
5	説明と描写[場所、ストーリー、そして、思い](2)
6	説明と描写[人、出会い、そして、事件]
7	会話[経験の再現−カルチャーショックと社会問題](1)
8	会話[経験の再現−カルチャーショックと社会問題](2)
9	プレゼンテーションの準備(ブレインストーミングやテーマ決め)
10	プレゼンテーションの準備(原稿や PPT の作成など)
11	プレゼンテーションのパフォーマンスについて(TEDtalks から学ぶもの)
12	期末プレゼンテーション(前半)
13	期末プレゼンテーション(後半)と学期の学習のまとめ

■授業の方法

様々なシチュエーションや場面での独話や会話のモデルを提示して、リピート・朗読・シャドーイングなどのトレーニングを経て、シナリオプレイ→ロールプレイへと、シチュエーションに即した会話力を上げていく。学期中や学期末にプレゼンテーションを行う機会を設け、良いプレゼンテーションとは何かを考え、準備から発表まで自力でプレゼンテーションを作り上げていく力を鍛える。

■予習・復習

予習:授業時に配布した次の授業で使用する予定のプリントを使って言葉を覚えて来ること。学期中の課題発表と学期末のプレゼンテーションに向けて各自で準備すること。
復習:授業で学習した言葉やパターンを整理し、日常生活の中で意識的に・積極的に使ってみること。

■成績評価の方法

課題（授業中のクイズ・発表を含む） 50%、定期試験　40%、平常点　10%

■教科書・参考書

授業時に配布。
その都度の授業の内容やトピックに合わせて教員が作成したプリント教材を使用する。

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度春学期講義要項

■選択必修科目	5組	作文	金　曜日	2　限	目標レベル	B2+、中上級
■授業の目的及び到達目標				担当：藤田　守		

抽象的なことがらを含む内容について、まとまりのある文章を書く力を身につけることを目的とします。社会的、文化的なテーマについて、JLPT（N2～N1）レベルの語彙や表現、構文を用いて、根拠を挙げて自分の考えや意見を書けることや、聞いたり読んだりした内容を要約できることを到達目標とします。

■授業計画

1	ガイダンス(授業の進め方、予習・復習や課題の取り組み方、成績評価について)
2	作文①「私の好きなこと・趣味」(原稿用紙の使い方)
3	作文②「今の勉強方法を考え直して」(丁寧体と普通体)
4	作文③「わたしの国と日本の違い」(二つの物事を比較する)
5	作文④「進学先や就職先を決めるにあたって」(意見文を書く)
6	作文①～④の発表・作文コンクールについて
7	作文コンクールの準備①テーマのアイディアを出す・意見交換する
8	作文コンクールの準備②概要を考える・構成を検討する
9	作文コンクールの準備③要旨を作成する
10	作文コンクールの準備④文章を書く
11	作文コンクールの準備⑤文章を再検討する
12	作文コンクールの準備⑥文章の完成
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

授業の前半は、授業計画に基づくテーマでクラスメイトと話し合いをしたり意見交換をしたりしながら、作文の内容と構成を考えます。後半は、その内容と構成に基づき作文を書きます。（完成しない場合は宿題です。）次の週に、完成した作文をクラスで発表します。そして、感想や意見、気づいたことについて、クラスメイト同士で話し合います。学期の前半は、200字、400字、600字の短い作文をそれぞれ授業時間内に書きます。学期の後半は、作文コンクール原稿の完成を目指します。※授業計画は実際の学習進度により変わることがあります。

■予習・復習

予習:作文のテーマについて、事前によく考えます。そして、考えた内容をメモします。それらは授業の話し合いの時に使います。
復習:返却された作文のフィードバックを参考にして、書き直します。

■成績評価の方法

課題（作文コンクールを含む） 30%、定期試験　40%、平常点（話し合い・授業態度） 30%

■教科書・参考書

授業では、『学まなぼう!にほんご作文練習帳中級』(専門教育出版)を基に、資料を配付します。

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度春学期講義要項

■必修科目	5　組	総合	月・水・金　　曜日	1　限	目標レベル	B2⁺、中上級
■授業の目的及び到達目標				担当：田中優季・山本そのこ・藤田守		

大学や専門学校に進学する人にとって必要な日本語力を身につけることを目的とします。幅広い場面で使われる日本語をある程度理解し、自分の考えや意見を伝えることができることを到達目標としています。

■授業計画

1	ガイダンス（授業の進め方、予習・復習、成績評価の方法について） 『できる日本語中級』 L1　前半
2	『できる日本語中級』 L1　後半
3	『できる日本語中級』 L2
4	『できる日本語中級』 L3
5	『できる日本語中級』 L4
6	『できる日本語中級』 L5
7	『できる日本語中級』 L6
8	『できる日本語中級』 L7
9	『できる日本語中級』 L8
10	『できる日本語中級』 L9
11	『できる日本語中級』 L10
12	『できる日本語中級』 総まとめ
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

・週3コマを3人の先生で進めます。1課4コマのペースで進めます。語彙や文型はその課が始まる前に自分で調べておいてください。クラスではタスク活動を中心におこないます。新しく学んだ語彙や文型を積極的に使いましょう。
・毎回、その日に学んだ文型や語彙の宿題があります。次のクラスの始めに提出してください。
・1つの課が終わった後、課のクイズがあります。定期試験は定期試験期間におこないます。
※学習進度は、変わることがあります。

■予習・復習

予習：学習予定表を見て、その日に勉強する課の語彙の意味、漢字の読み、文法項目を調べておいてください。
復習：学習した文型や語彙をしっかりと復習し、宿題をやってきてください。課のクイズ、定期試験のための復習をしておいてください。

■成績評価の方法

課題（授業中のクイズ・発表を含む）　30%、定期試験　60%、平常点　10%

■教科書・参考書

『できる日本語 中級 本冊』（アルク）

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度春学期講義要項

■必修科目	5　組	聴解・聴読解1	月　曜日	2　限	目標レベル	B2+中上級
■授業の目的及び到達目標					担当：　森井あずさ	

日本留学試験（EJU）で要求される、大学や専門学校に進学する人にとって必要な聴解能力を身につけることを目的とします。幅広い場面で使われる会話やトピックについて資料（グラフや図表、解説文など）をもとに聞き取り、理解できることを到達目標としています。

■授業計画

1	ガイダンス（授業の進め方、予習・復習、成績評価の方法について）・自己紹介・　聴解・聴読解についての説明
2	「聴解・聴読解のやり方に慣れる」　聴解・聴読解のやり方、ポイントをつかむ練習をします。
3	物語、ニュース、動画などを通して、日本語の聞き取りに慣れていきます。
4	物語、ニュース、動画などを通して、日本語の聞き取りに慣れていきます。
5	物語、ニュース、動画などを通して、日本語の聞き取りに慣れていきます。
6	物語、ニュース、動画などを通して、日本語の聞き取りに慣れていきます。
7	物語、ニュース、動画などを通して、日本語の聞き取りに慣れていきます。
8	物語、ニュース、動画などを通して、日本語の聞き取りに慣れていきます。
9	物語、ニュース、動画などを通して、日本語の聞き取りに慣れていきます。
10	ドラマや動画を見て、グループで話し合い、感想を発表し、友だちの発表を聞きます。
11	ドラマや動画を見て、グループで話し合い、感想を発表し、友だちの発表を聞きます。
12	ドラマや動画を見て、グループで話し合い、感想を発表し、友だちの発表を聞きます。
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

授業は、音声教材の聞き取りを中心にします。また、聞き取り後にグループで話し合う活動などもします。音声を聞いた後に聞き取りのポイントについて解説したり、ニュースやドラマ・動画などの生教材を使って実践的な聞き取りの練習をする予定です。

★学習進度は、学生の理解度やレベルによって、変わることがあります。

■予習・復習

予習：普段からインターネットなどのメディアを使って、日本語をよく聞くこと。

復習は、授業内容を振り返り、自分の聞き取りの弱いところをまとめ、定期試験や資格試験のために、準備すること。

■成績評価の方法

課題（授業中のクイズ・発表を含む）30%、定期試験60%、平常点10%

■教科書・参考書

プリントを配布します。

★参考書『聞いて慣れよう日本語の敬語』（スリーエーネットワーク）など

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度春学期講義要項

■必修科目	5　組	聴解・聴読解	火　曜日	1　限	目標レベル	B2+ 中上級
■授業の目的及び到達目標					担当：李　維涛	

日本留学試験(EJU)で要求される、大学院や大学に進学する人にとって必要な聴解能力を確実に身につけることを目的とします。EJU や JLPT の受験対策をベースに、幅広い場面で使われる会話やトピックについて資料(グラフや図表、解説文など)をもとに聞き取り、理解できることを到達目標としています。

■授業計画

1	オリエンテーション。授業の目的・目標を確認し、授業の行い方の提示・実演をする。対象資料・リソースの紹介。
2	EJU過去問によるシミュレーション(1回目)。語彙リストの確認と音読練習。試験問題の解析とフィードバック。
3	JLPT過去問によるシミュレーション(1回目)。語彙リストの確認と音読練習。試験問題の解析とフィードバック。
4	語彙リストの確認クイズと音読練習。パート別試験問題解析とトレーニング①課題理解。
5	語彙リストの確認クイズと音読練習。 パート別試験問題解析とトレーニング②ポイント理解
6	語彙リストの確認クイズと音読練習。 パート別試験問題解析とトレーニング③概要理解
7	語彙リストの確認クイズと音読練習。 パート別試験問題解析とトレーニング④即時応答part1
8	語彙リストの確認クイズと音読練習。 パート別試験問題解析とトレーニング④即時応答part2
9	語彙リストの確認クイズと音読練習。 パート別試験問題解析とトレーニング⑤統合理解
10	JLPT過去問によるシミュレーション(2回目)。問題点の発見・解析・対策。
11	JLPT過去問によるシミュレーション(3回目)。問題点の発見・解析・対策。
12	EJU過去問によるシミュレーション(2回目)。問題点の発見・解析・対策。
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

過去問の音声資料を利用して、聞いて理解することに止まらず、リピート、シャドーイングを行い、またスクリプトを利用しての音読も合わせて行い、高速音読できるように、またシャドーイングができるようになるまで反復し、よって聴解力を目標レベルまで引き上げていきます。また、配布資料を利用し、授業時間外でもトレーニングを各自で行うように督促します。

■予習・復習

配布された語彙・表現リストを使い、授業日までに調べておいて予習してください。
授業で行われた過去問の試験問題の関連資料を利用し、完全に理解できるまで繰り返して聞く練習を行ってください。

■成績評価の方法

課題(授業中のクイズ・発表を含む)　50%、定期試験　40%、平常点　10%

■教科書・参考書

授業で使用する資料はその都度コピーを配布します。以下を使用する予定。
『日本留学試験 試験問題』(凡人社)、『日本留学試験対策問題集』『日本語能力試験対策 これ一冊』(アスク出版)、『日本語能力試験公式問題集』(国際交流基金)、『新完全マスター 日本語能力試験』(スリーエーネットワーク)など。

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度春学期講義要項

■必修科目	5　組	読解	水　曜日	2　限	目標レベル	B 2+、中上級
■授業の目的及び到達目標					担当：山本　そのこ	

多読学習によるトップダウン型読解と JLPTN2～N1レベル問題の解法ストラテジー学習の併用により、実践的な読解力の修得を目的とします。 具体的には、個人の嗜好やレベルに合う読み物を多量に楽しみながら、学習者同士の情報交換・発表・創作など受容と産出活動を併せ持つ多読学習に、より抽象度の高い、複雑な構成の読解問題の解放ストラテジー学習を加え、読解のより高度な実践力をスパイラル状に伸ばすことを到達目標とします。

■授業計画

1	ガイダンス（授業の進め方・ 評価など）、読解 レベルチェック（模擬試験 実施）
2	読解ストラテジー練習１、JLPT対策（内容理解－短文）
3	読解ストラテジー練習２、JLPT対策（内容理解－短文）
4	読解ストラテジー練習３、JLPT対策（内容理解－短文）
5	読解ストラテジー練習４、JLPT対策（内容理解－中文）
6	読解ストラテジー練習５、JLPT対策（内容理解－中文）
7	読解ストラテジー練習６、JLPT対策（内容理解－中文）
8	読解ストラテジー練習７、JLPT対策（情報検索）
9	読解ストラテジー練習８、JLPT対策（主張理解－長文）
10	読解ストラテジー練習９、JLPT対策（主張理解－長文）
11	読解ストラテジー練習１０、JLPT N2模擬試験実施
12	読解ストラテジー練習１１、JLPT N2模擬試験FB、 定期試験前の復習
13	定期試験と定期試験のフィードバック、学期の学習のまとめ

■授業の方法

受験時及び、進学後に必要となる読解力と読解 ストラテジーを 扱い、文章を通じたコミュニケーションのための読解という観点から、進学者にとって必要性の高いアカデミックな説明文、論説文、実用文なども題材に 扱いつつ、JLPT対策、EJU のための練習を実践的に 行っていきます。また、総合教科書『できる日本語』の「知って楽しむ」も 扱います。（学習進度はクラスの成員や初回のレベルチェックの結果によって多少変わることがあります。）

■予習・復習

予習： 学習予定表を見て、その日に学習する項目を確認しておきましょう。次回授業の予定にある時には、『できる日本語』の読解部分「知って楽しむ」に目を通し、語彙をチェックしましょう。毎回 練習問題を課題に出す予定です。
復習： この授業では復習を中心に学習してください。 読解問題に出てきた新しい語彙を覚え、できなかった問題をもう一度やっておくことが大切です。

■成績評価の方法

課題等（授業内及び授業後の課題） 30 %、定期試験 50 %、 平常点 20 %

■教科書・参考書

プリント使用：『必ずできる！JLPT「読解」N2（アルク）』、『日本語能力試験N2読解必修パターン』（Jリサーチ出版）など

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度春学期講義要項

■必修科目	5　組	読解・多読	月　曜日	3　限	目標レベル	B2⁺、中上級
■授業の目的及び到達目標					担当：関根稚恵	

多読学習によるトップダウン型読解とJLPTN1レベル問題の解法ストラテジー学習の併用により、実践的な読解力の修得を目的とします。 具体的には、個人の嗜好やレベルに合う読み物を多量に楽しみながら、学習者同士の情報交換・発表・創作など受容と産出活動を併せ持つ多読学習を行います。これに水曜日の読解問題の解放ストラテジー学習を加え、読解のより高度な実践力をスパイラル状に伸ばすことを到達目標とします。

■授業計画

1	ガイダンス①（多読授業の進め方、読書計画、読書記録、評価法などについて）／読み聞かせ①／多読①
2	読み聞かせ②／多読②⇒読書記録（1行感想）／ブックトーク①
3	読み聞かせ③／多読③⇒読書記録（1行感想）／ブックトーク②
4	輪読①／多読④⇒読書記録（1行感想）／ブックトーク③
5	輪読②／多読⑤⇒読書記録（1行感想）／ブックトーク④
6	輪読③／多読⑥⇒読書記録（1行感想）／ブックトーク⑤
7	ガイダンス②（期末プロジェクトについて、作品例の紹介など）／多読⑦⇒読書記録（1行感想）
8	作品紹介①／多読⑧⇒読書記録（1行感想）／ブックトーク⑥／読書計画の見直し
9	作品紹介②／多読⑨⇒読書記録（1行感想）／ブックトーク⑦／期末プロジェクトの準備①
10	作品紹介③／多読⑩⇒読書記録（1行感想）／ブックトーク⑧／期末プロジェクトの準備②
11	期末プロジェクトの準備③（作品の作成）／読書記録の整理⇒提出
12	プロジェクト作品の提出／発表の準備　　＊状況によって発表は2週に分ける場合があります。
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

この授業では、多読のルールを守りながら、一人一人の好みや興味に合った読み物を自分で選び、自由に楽しくたくさん読んでいきます。読み聞かせや輪読、本の紹介などの活動を行い、多読室から本を選んで読んだ後は、読書記録をつけ、クラスメートに読んだ本の内容や感想を話すブックトークを行います。本から得た言葉や表現を使って、話したり書いたりクラスメートと話し合ったりと、様々な多読の活動を通して日本語の運用能力をバランスよく伸ばしていきます。また、学期の最後には、多読学習による日本語力の成果を発表します。※学習進度は変わることがあります。

■予習・復習

予習：多読室の本を借りたり、無料WEB サイトを見たりするなど、授業以外の時間もより多くの日本語の文章を読むようにしましょう。毎回の授業の最初にどんなものを読んでいるか質問します。
復習：読書記録への記入や見直しをしてください。また、学期の途中で読書計画の見直しもしましょう。

■成績評価の方法

課題（授業中の読書記録）：30%、期末プロジェクト（提出と発表）：40%、授業参加度（多読への熱意、ブックトークへの参加態度）：30%　＊提出物の期限は厳守してください。課題（授業中のクイズ・発表を含む）

■教科書・参考書

多読室の蔵書、WEB サイト「にほんごたどく 無料の読みもの」https://tadoku.org/japanese/free-books/ など

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度春学期講義要項

■必修科目	5 組	日本事情	木　曜日	1　限	目標レベル	B2⁺、中上級
■授業の目的及び到達目標					担当：田中　優季	

この授業は、日本の習慣や文化を学び、理解を深めることを目的とします。具体的には、日本に関する様々なテーマについて学んだり、調べたりしながら、日本について理解すること、そして、日本での生活を楽しみ、日本人と円滑にコミュニケーションができるようになることを到達目標とします。

■授業計画

1	ガイダンス（授業の進め方、予習・復習、成績評価の方法について）、自分の興味関心があるテーマについて
2	プロローグ（人口、気候など）
3	日本のマナー・習慣・ルール、ミニ発表①、
4	日本人の名前
5	マンガ・アニメ（1）
6	マンガ・アニメ（2）、ミニ発表②
7	※　統一試験のため、授業なし
8	※　課外研修のため、授業なし
9	日本人の一生（1）
10	日本人の一生（2）、ミニ発表③
11	食を楽しむ　※　期末発表予備日
12	期末発表（日本に関するテーマ）
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

授業では、まず、テーマについてのイメージや、知っていることを一人ずつ話します。次に、資料をもとに新しい知識を身につけます。そして、自分の国の文化と比較しながら、クラスメイトと意見交換をおこないます。最後に、ミニ発表として、学んだことにについて自分の感想や意見を話します。

12回目の授業では、自分の興味のあるテーマについて発表します。

※授業内容は、一部入れ替えたり、変更したりすることがあります。

■予習・復習

予習：授業に積極的に参加できるように、事前に授業計画を見て、テーマについて話したいことを考えておいてください。

復習：学期末の試験のために、授業で学んだことをよく復習しておいてください。

■成績評価の方法

発表（ミニ発表含む）　30%、定期試験　40%、平常点　30%

■教科書・参考書

授業でプリントを配布します。

参考書：『知っていますか　日本のこと　学ぼう　話そう　日本事情』（JASSO日本語教育センター）、『にほんごで文化体験』（アルク）、『日本総論Ⅰ』（クリエイツ）など

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度春学期講義要項

■必修科目	5　組	会話	火　曜日	2　限	目標レベル	B2+ 中上級
■授業の目的及び到達目標					担当：李　維涛	

抽象的な内容を含む話題について、適切なやりとりをしたり、口頭で自分の考えや意見を伝えたりする力を身につけることを目的とします。身近な話題だけでなく、社会的、文化的なテーマについて、適切な語彙と表現、構文を用いて、根拠を挙げて意見を述べられることや、プレゼンテーションやディスカッションができることを到達目標とします。

■授業計画

1	オリエンテーション(授業の目的・目標を確認し、授業の行い方の提示・実演をする)。 3ポイント自己紹介。自分史草案作成。
2	説明と描写[物、ストーリー、そして、思い](1)
3	説明と描写[物、ストーリー、そして、思い](2)
4	説明と描写[場所、ストーリー、そして、思い](1)
5	説明と描写[場所、ストーリー、そして、思い](2)
6	説明と描写[人、出会い、そして、事件]
7	会話[経験の再現−カルチャーショックと社会問題](1)
8	会話[経験の再現−カルチャーショックと社会問題](2)
9	プレゼンテーションの準備(ブレインストーミングやテーマ決め)
10	プレゼンテーションの準備(原稿や PPT の作成など)
11	プレゼンテーションのパフォーマンスについて(TEDtalks から学ぶもの)
12	期末プレゼンテーション(前半)
13	期末プレゼンテーション(後半)と学期の学習のまとめ

■授業の方法

様々なシチュエーションや場面での独話や会話のモデルを提示して、リピート・朗読・シャドーイングなどのトレーニングを経て、シナリオプレイ→ロールプレイへと、シチュエーションに即した会話力を上げていく。学期中や学期末にプレゼンテーションを行う機会を設け、良いプレゼンテーションとは何かを考え、準備から発表まで自力でプレゼンテーションを作り上げていく力を鍛える。

■予習・復習

予習:授業時に配布した次の授業で使用する予定のプリントを使って言葉を覚えて来ること。学期中の課題発表と学期末のプレゼンテーションに向けて各自で準備すること。
復習:授業で学習した言葉やパターンを整理し、日常生活の中で意識的に・積極的に使ってみること。

■成績評価の方法

課題（授業中のクイズ・発表を含む） 50%、定期試験　40%、平常点　10%

■教科書・参考書

授業時に配布。
その都度の授業の内容やトピックに合わせて教員が作成したプリント教材を使用する。

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度春学期講義要項

■選択必修科目	5組	作文	金　曜日	2　限	目標レベル	B2+、中上級
■授業の目的及び到達目標				担当：藤田　守		

抽象的なことがらを含む内容について、まとまりのある文章を書く力を身につけることを目的とします。社会的、文化的なテーマについて、JLPT（N2～N1）レベルの語彙や表現、構文を用いて、根拠を挙げて自分の考えや意見を書けることや、聞いたり読んだりした内容を要約できることを到達目標とします。

■授業計画

1	ガイダンス(授業の進め方、予習・復習や課題の取り組み方、成績評価について)
2	作文①「私の好きなこと・趣味」(原稿用紙の使い方)
3	作文②「今の勉強方法を考え直して」(丁寧体と普通体)
4	作文③「わたしの国と日本の違い」(二つの物事を比較する)
5	作文④「進学先や就職先を決めるにあたって」(意見文を書く)
6	作文①～④の発表・作文コンクールについて
7	作文コンクールの準備①テーマのアイディアを出す・意見交換する
8	作文コンクールの準備②概要を考える・構成を検討する
9	作文コンクールの準備③要旨を作成する
10	作文コンクールの準備④文章を書く
11	作文コンクールの準備⑤文章を再検討する
12	作文コンクールの準備⑥文章の完成
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

授業の前半は、授業計画に基づくテーマでクラスメイトと話し合いをしたり意見交換をしたりしながら、作文の内容と構成を考えます。後半は、その内容と構成に基づき作文を書きます。（完成しない場合は宿題です。）次の週に、完成した作文をクラスで発表します。そして、感想や意見、気づいたことについて、クラスメイト同士で話し合います。学期の前半は、200字、400字、600字の短い作文をそれぞれ授業時間内に書きます。学期の後半は、作文コンクール原稿の完成を目指します。※授業計画は実際の学習進度により変わることがあります。

■予習・復習

予習:作文のテーマについて、事前によく考えます。そして、考えた内容をメモします。それらは授業の話し合いの時に使います。
復習:返却された作文のフィードバックを参考にして、書き直します。

■成績評価の方法

課題（作文コンクールを含む） 30%、定期試験　40%、平常点（話し合い・授業態度） 30%

■教科書・参考書

授業では、『学まなぼう!にほんご作文練習帳中級』(専門教育出版)を基に、資料を配付します。

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度春学期講義要項

■必修科目	5　組	総合	月・水・金　　曜日	1　限	目標レベル	B2⁺、中上級
■授業の目的及び到達目標				担当：田中優季・山本そのこ・藤田守		

大学や専門学校に進学する人にとって必要な日本語力を身につけることを目的とします。幅広い場面で使われる日本語をある程度理解し、自分の考えや意見を伝えることができることを到達目標としています。

■授業計画

1	ガイダンス（授業の進め方、予習・復習、成績評価の方法について） 『できる日本語中級』 L1　前半
2	『できる日本語中級』 L1　後半
3	『できる日本語中級』 L2
4	『できる日本語中級』 L3
5	『できる日本語中級』 L4
6	『できる日本語中級』 L5
7	『できる日本語中級』 L6
8	『できる日本語中級』 L7
9	『できる日本語中級』 L8
10	『できる日本語中級』 L9
11	『できる日本語中級』 L10
12	『できる日本語中級』 総まとめ
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

・週3コマを3人の先生で進めます。1課4コマのペースで進めます。語彙や文型はその課が始まる前に自分で調べておいてください。クラスではタスク活動を中心におこないます。新しく学んだ語彙や文型を積極的に使いましょう。
・毎回、その日に学んだ文型や語彙の宿題があります。次のクラスの始めに提出してください。
・1つの課が終わった後、課のクイズがあります。定期試験は定期試験期間におこないます。
※学習進度は、変わることがあります。

■予習・復習

予習：学習予定表を見て、その日に勉強する課の語彙の意味、漢字の読み、文法項目を調べておいてください。
復習：学習した文型や語彙をしっかりと復習し、宿題をやってきてください。課のクイズ、定期試験のための復習をしておいてください。

■成績評価の方法

課題（授業中のクイズ・発表を含む）　30%、定期試験　60%、平常点　10%

■教科書・参考書

『できる日本語 中級 本冊』（アルク）

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度春学期講義要項

■必修科目	5　組	聴解・聴読解1	月　曜日	2　限	目標レベル	B2+中上級
■授業の目的及び到達目標					担当：　森井あずさ	

日本留学試験（EJU）で要求される、大学や専門学校に進学する人にとって必要な聴解能力を身につけることを目的とします。幅広い場面で使われる会話やトピックについて資料（グラフや図表、解説文など）をもとに聞き取り、理解できることを到達目標としています。

■授業計画

1	ガイダンス（授業の進め方、予習・復習、成績評価の方法について）・自己紹介・　聴解・聴読解についての説明
2	「聴解・聴読解のやり方に慣れる」　聴解・聴読解のやり方、ポイントをつかむ練習をします。
3	物語、ニュース、動画などを通して、日本語の聞き取りに慣れていきます。
4	物語、ニュース、動画などを通して、日本語の聞き取りに慣れていきます。
5	物語、ニュース、動画などを通して、日本語の聞き取りに慣れていきます。
6	物語、ニュース、動画などを通して、日本語の聞き取りに慣れていきます。
7	物語、ニュース、動画などを通して、日本語の聞き取りに慣れていきます。
8	物語、ニュース、動画などを通して、日本語の聞き取りに慣れていきます。
9	物語、ニュース、動画などを通して、日本語の聞き取りに慣れていきます。
10	ドラマや動画を見て、グループで話し合い、感想を発表し、友だちの発表を聞きます。
11	ドラマや動画を見て、グループで話し合い、感想を発表し、友だちの発表を聞きます。
12	ドラマや動画を見て、グループで話し合い、感想を発表し、友だちの発表を聞きます。
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

授業は、音声教材の聞き取りを中心にします。また、聞き取り後にグループで話し合う活動などもします。音声を聞いた後に聞き取りのポイントについて解説したり、ニュースやドラマ・動画などの生教材を使って実践的な聞き取りの練習をする予定です。

★学習進度は、学生の理解度やレベルによって、変わることがあります。

■予習・復習

予習：普段からインターネットなどのメディアを使って、日本語をよく聞くこと。

復習は、授業内容を振り返り、自分の聞き取りの弱いところをまとめ、定期試験や資格試験のために、準備すること。

■成績評価の方法

課題（授業中のクイズ・発表を含む）30%、定期試験60%、平常点10%

■教科書・参考書

プリントを配布します。

★参考書『聞いて慣れよう日本語の敬語』（スリーエーネットワーク）など

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度春学期講義要項

■必修科目	5　組	聴解・聴読解	火　曜日	1　限	目標レベル	B2+ 中上級
■授業の目的及び到達目標					担当：李　維涛	

日本留学試験(EJU)で要求される、大学院や大学に進学する人にとって必要な聴解能力を確実に身につけることを目的とします。EJU や JLPT の受験対策をベースに、幅広い場面で使われる会話やトピックについて資料(グラフや図表、解説文など)をもとに聞き取り、理解できることを到達目標としています。

■授業計画

1	オリエンテーション。授業の目的・目標を確認し、授業の行い方の提示・実演をする。対象資料・リソースの紹介。
2	EJU過去問によるシミュレーション(1回目)。語彙リストの確認と音読練習。試験問題の解析とフィードバック。
3	JLPT過去問によるシミュレーション(1回目)。語彙リストの確認と音読練習。試験問題の解析とフィードバック。
4	語彙リストの確認クイズと音読練習。パート別試験問題解析とトレーニング①課題理解。
5	語彙リストの確認クイズと音読練習。 パート別試験問題解析とトレーニング②ポイント理解
6	語彙リストの確認クイズと音読練習。 パート別試験問題解析とトレーニング③概要理解
7	語彙リストの確認クイズと音読練習。 パート別試験問題解析とトレーニング④即時応答part1
8	語彙リストの確認クイズと音読練習。 パート別試験問題解析とトレーニング④即時応答part2
9	語彙リストの確認クイズと音読練習。 パート別試験問題解析とトレーニング⑤統合理解
10	JLPT過去問によるシミュレーション(2回目)。問題点の発見・解析・対策。
11	JLPT過去問によるシミュレーション(3回目)。問題点の発見・解析・対策。
12	EJU過去問によるシミュレーション(2回目)。問題点の発見・解析・対策。
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

過去問の音声資料を利用して、聞いて理解することに止まらず、リピート、シャドーイングを行い、またスクリプトを利用しての音読も合わせて行い、高速音読できるように、またシャドーイングができるようになるまで反復し、よって聴解力を目標レベルまで引き上げていきます。また、配布資料を利用し、授業時間外でもトレーニングを各自で行うように督促します。

■予習・復習

配布された語彙・表現リストを使い、授業日までに調べておいて予習してください。
授業で行われた過去問の試験問題の関連資料を利用し、完全に理解できるまで繰り返して聞く練習を行ってください。

■成績評価の方法

課題(授業中のクイズ・発表を含む)　50%、定期試験　40%、平常点　10%

■教科書・参考書

授業で使用する資料はその都度コピーを配布します。以下を使用する予定。
『日本留学試験 試験問題』(凡人社)、『日本留学試験対策問題集』『日本語能力試験対策 これ一冊』(アスク出版)、『日本語能力試験公式問題集』(国際交流基金)、『新完全マスター 日本語能力試験』(スリーエーネットワーク)など。

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度春学期講義要項

■必修科目	5　組	読解	水　曜日	2　限	目標レベル	B 2+、中上級
■授業の目的及び到達目標					担当：山本　そのこ	

多読学習によるトップダウン型読解と JLPTN2～N1レベル問題の解法ストラテジー学習の併用により、実践的な読解力の修得を目的とします。 具体的には、個人の嗜好やレベルに合う読み物を多量に楽しみながら、学習者同士の情報交換・発表・創作など受容と産出活動を併せ持つ多読学習に、より抽象度の高い、複雑な構成の読解問題の解放ストラテジー学習を加え、読解のより高度な実践力をスパイラル状に伸ばすことを到達目標とします。

■授業計画

1	ガイダンス（授業の進め方・ 評価など）、読解 レベルチェック（模擬試験 実施）
2	読解ストラテジー練習１、JLPT対策（内容理解－短文）
3	読解ストラテジー練習２、JLPT対策（内容理解－短文）
4	読解ストラテジー練習３、JLPT対策（内容理解－短文）
5	読解ストラテジー練習４、JLPT対策（内容理解－中文）
6	読解ストラテジー練習５、JLPT対策（内容理解－中文）
7	読解ストラテジー練習６、JLPT対策（内容理解－中文）
8	読解ストラテジー練習７、JLPT対策（情報検索）
9	読解ストラテジー練習８、JLPT対策（主張理解－長文）
10	読解ストラテジー練習９、JLPT対策（主張理解－長文）
11	読解ストラテジー練習１０、JLPT N2模擬試験実施
12	読解ストラテジー練習１１、JLPT N2模擬試験FB、 定期試験前の復習
13	定期試験と定期試験のフィードバック、学期の学習のまとめ

■授業の方法

受験時及び、進学後に必要となる読解力と読解 ストラテジーを 扱い、文章を通じたコミュニケーションのための読解という観点から、進学者にとって必要性の高いアカデミックな説明文、論説文、実用文なども題材に 扱いつつ、JLPT対策、EJU のための練習を実践的に 行っていきます。また、総合教科書『できる日本語』の「知って楽しむ」も 扱います。（学習進度はクラスの成員や初回のレベルチェックの結果によって多少変わることがあります。）

■予習・復習

予習： 学習予定表を見て、その日に学習する項目を確認しておきましょう。次回授業の予定にある時には、『できる日本語』の読解部分「知って楽しむ」に目を通し、語彙をチェックしましょう。毎回 練習問題を課題に出す予定です。
復習： この授業では復習を中心に学習してください。 読解問題に出てきた新しい語彙を覚え、できなかった問題をもう一度やっておくことが大切です。

■成績評価の方法

課題等（授業内及び授業後の課題） 30 %、定期試験 50 %、 平常点 20 %

■教科書・参考書

プリント使用：『必ずできる！JLPT「読解」N2（アルク）』、『日本語能力試験N2読解必修パターン』（Jリサーチ出版）など

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度春学期講義要項

■必修科目	5　組	読解・多読	月　曜日	3　限	目標レベル	B2⁺、中上級
■授業の目的及び到達目標					担当：関根稚恵	

多読学習によるトップダウン型読解とJLPTN1レベル問題の解法ストラテジー学習の併用により、実践的な読解力の修得を目的とします。 具体的には、個人の嗜好やレベルに合う読み物を多量に楽しみながら、学習者同士の情報交換・発表・創作など受容と産出活動を併せ持つ多読学習を行います。これに水曜日の読解問題の解放ストラテジー学習を加え、読解のより高度な実践力をスパイラル状に伸ばすことを到達目標とします。

■授業計画

1	ガイダンス①（多読授業の進め方、読書計画、読書記録、評価法などについて）／読み聞かせ①／多読①
2	読み聞かせ②／多読②⇒読書記録（1行感想）／ブックトーク①
3	読み聞かせ③／多読③⇒読書記録（1行感想）／ブックトーク②
4	輪読①／多読④⇒読書記録（1行感想）／ブックトーク③
5	輪読②／多読⑤⇒読書記録（1行感想）／ブックトーク④
6	輪読③／多読⑥⇒読書記録（1行感想）／ブックトーク⑤
7	ガイダンス②（期末プロジェクトについて、作品例の紹介など）／多読⑦⇒読書記録（1行感想）
8	作品紹介①／多読⑧⇒読書記録（1行感想）／ブックトーク⑥／読書計画の見直し
9	作品紹介②／多読⑨⇒読書記録（1行感想）／ブックトーク⑦／期末プロジェクトの準備①
10	作品紹介③／多読⑩⇒読書記録（1行感想）／ブックトーク⑧／期末プロジェクトの準備②
11	期末プロジェクトの準備③（作品の作成）／読書記録の整理⇒提出
12	プロジェクト作品の提出／発表の準備　　＊状況によって発表は2週に分ける場合があります。
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

この授業では、多読のルールを守りながら、一人一人の好みや興味に合った読み物を自分で選び、自由に楽しくたくさん読んでいきます。読み聞かせや輪読、本の紹介などの活動を行い、多読室から本を選んで読んだ後は、読書記録をつけ、クラスメートに読んだ本の内容や感想を話すブックトークを行います。本から得た言葉や表現を使って、話したり書いたりクラスメートと話し合ったりと、様々な多読の活動を通して日本語の運用能力をバランスよく伸ばしていきます。また、学期の最後には、多読学習による日本語力の成果を発表します。※学習進度は変わることがあります。

■予習・復習

予習：多読室の本を借りたり、無料WEB サイトを見たりするなど、授業以外の時間もより多くの日本語の文章を読むようにしましょう。毎回の授業の最初にどんなものを読んでいるか質問します。
復習：読書記録への記入や見直しをしてください。また、学期の途中で読書計画の見直しもしましょう。

■成績評価の方法

課題（授業中の読書記録）：30%、期末プロジェクト（提出と発表）：40%、授業参加度（多読への熱意、ブックトークへの参加態度）：30%　＊提出物の期限は厳守してください。課題（授業中のクイズ・発表を含む）

■教科書・参考書

多読室の蔵書、WEB サイト「にほんごたどく 無料の読みもの」https://tadoku.org/japanese/free-books/ など

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度春学期講義要項

■必修科目	5 組	日本事情	木　曜日	1　限	目標レベル	B2⁺、中上級
■授業の目的及び到達目標					担当：田中　優季	

この授業は、日本の習慣や文化を学び、理解を深めることを目的とします。具体的には、日本に関する様々なテーマについて学んだり、調べたりしながら、日本について理解すること、そして、日本での生活を楽しみ、日本人と円滑にコミュニケーションができるようになることを到達目標とします。

■授業計画

1	ガイダンス（授業の進め方、予習・復習、成績評価の方法について）、自分の興味関心があるテーマについて
2	プロローグ（人口、気候など）
3	日本のマナー・習慣・ルール、ミニ発表①、
4	日本人の名前
5	マンガ・アニメ（1）
6	マンガ・アニメ（2）、ミニ発表②
7	※　統一試験のため、授業なし
8	※　課外研修のため、授業なし
9	日本人の一生（1）
10	日本人の一生（2）、ミニ発表③
11	食を楽しむ　※　期末発表予備日
12	期末発表（日本に関するテーマ）
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

授業では、まず、テーマについてのイメージや、知っていることを一人ずつ話します。次に、資料をもとに新しい知識を身につけます。そして、自分の国の文化と比較しながら、クラスメイトと意見交換をおこないます。最後に、ミニ発表として、学んだことにについて自分の感想や意見を話します。

12回目の授業では、自分の興味のあるテーマについて発表します。

※授業内容は、一部入れ替えたり、変更したりすることがあります。

■予習・復習

予習：授業に積極的に参加できるように、事前に授業計画を見て、テーマについて話したいことを考えておいてください。

復習：学期末の試験のために、授業で学んだことをよく復習しておいてください。

■成績評価の方法

発表（ミニ発表含む）　30%、定期試験　40%、平常点　30%

■教科書・参考書

授業でプリントを配布します。

参考書：『知っていますか　日本のこと　学ぼう　話そう　日本事情』（JASSO日本語教育センター）、『にほんごで文化体験』（アルク）、『日本総論Ⅰ』（クリエイツ）など

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度春学期講義要項

■必修科目	6組	会話	火曜日	2限	目標レベル	B2⁺～C1、上級
■授業の目的及び到達目標					担当：中野二郎	

抽象的な内容を含む話題について、適切なやりとりをしたり、口頭で自分の考えや意見を伝えたりする力を身につけることを目的とします。身近な話題だけでなく、社会的、文化的なテーマについて、適切な語彙と表現、構文を用いて、根拠を挙げて意見を述べられることや、プレゼンテーションやディスカッションができることを到達目標とします。

■授業計画

1	ガイダンス、自己紹介、アイスブレーキング
2	スピーチ「理想の○○」
3	スピーチ「日本びっくり体験」
4	スピーチ「桃太郎アメリカ人伝説」
5	スピーチ「おめでたいニュースです」
6	スピーチ発表会
7	ロールプレイ　「お宅を訪問」
8	ロールプレイ　「先生を誘う」
9	ロールプレイ　「先生にお願いする」
10	ロールプレイ　「先生のお願いを断る」
11	ロールプレイ　「目上の人に申し出る」
12	ロールプレイ総復習
13	授業中試験（ロールプレイの発表を予定）

■授業の方法

授業の前半(6週目まで)はモノローグ(スピーチ)の練習を行います。限られた時間でメモを作成し、メモに基づいて人前で話す練習をします。細かい誤りは気にせず、「伝わる」話し方ができるようにします。後半(7週目以降)は敬語を用いたロールプレイを行います。言語の形式だけではなく、どうすれば相手への敬意が示せるのか考えながら取り組みます。

■予習・復習

予習：初級から中級で学んだ敬語を整理して、ロールプレイに臨むこと。
復習：授業中に話したスピーチやロールプレイを文字にしてファイルしておくこと。

■成績評価の方法

課題(授業中の発表を含む)30%、期末試験40%、平常点30%

■教科書・参考書

『にほんご敬語トレーニング』(アスク出版)、『にほんご話し方トレーニング』(アスク出版)、『わらべうた』(谷川俊太郎)他

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度春学期講義要項

■必修科目	6　組	聴解・聴読解１	月　曜日	2　限	目標レベル	B2⁺～C1、上級
■授業の目的及び到達目標					担当：関根稚恵	

大学院や大学、専門学校に進学する人にとって必要な聴解能力を確実に身につけることを目的とします。幅広い場面で使われる会話やトピックについて、資料（講義のレジュメや解説文など）をもとに、聴き取り、理解できることを到達目標としています。

■授業計画

1	ガイダンス（授業の進め方、予習・復習、成績評価について）／自己紹介（出会いの会話）
2	テキスト①『日本語なりきりリスニング』
3	テキスト②『日本語なりきりリスニング』
4	テキスト③『留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ聴解』
5	テキスト④『留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ聴解』
6	テキスト⑤『ニュースの日本語 聴解』／生教材①「NHK ラジオ　やさしいことばニュース」
7	テキスト⑥『ニュースの日本語 聴解』／生教材②「NHK ラジオ　やさしいことばニュース」
8	テキスト⑦『ニュースの日本語 聴解』／生教材③「NHK ラジオ　やさしいことばニュース」
9	生教材④「ドラマや映画、動画」
10	生教材⑤「ドラマや映画、動画」
11	生教材⑥「ドラマや映画、動画」
12	生教材⑦「ドラマや映画、動画」／総復習
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

学期の前半は、音声教材の聴き取りを中心に、内容を大まかにつかむ練習や要点をまとめて答える練習、要約文を書く練習をします。後半は、ニュースやドラマ、動画などの生教材を使ってより実践的な聴き取りの練習を行います。
毎回、音声を聴いた後は、ペアやグループで話し合うなどの活動も行います。
※学習進度は状況により変わることがあります。

■予習・復習

予習：日頃からインターネットなどのメディアを使って、生きた日本語をたくさん聞きましょう。
復習：授業内容を振り返り、自分の聴き取りの弱いところをまとめ、定期試験やEJU,JLPTのために準備しましょう。

■成績評価の方法

課題（授業中のクイズ・発表を含む）　30%、定期試験　50%、平常点　20%

■教科書・参考書

『生きた会話を学ぶ中級から上級への日本語なりきりリスニング』（The Japan Times）／『留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ聴解（中級・中上級）』／『改訂版 ニュースの日本語 聴解40・50』（スリーエーネットワーク）から使用ページをコピーして配布します。
参考：NHKラジオ／テレビ「やさしいことばニュース」（https://www3.nhk.or.jp/news/easy/）、
ドラマ「スアン日本へ行く」（https://www.hikidasu.jpf.go.jp/jp/corner/drama/）

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度春学期講義要項

■必修科目	6　組	作文	金　曜日	2　限	目標レベル	B2⁺～C1、上級
■授業の目的及び到達目標					担当：開　めぐみ	

抽象的な事柄を含む内容についてまとまりのある文章を書く力を身につけることを目的とします。
社会的、文化的なテーマについて N2～N1 レベルの語彙や表現、構文を用いて、根拠をあげて自分の考えや意見を書けることや、聞いたり読んだりした内容を要約できることを到達目標とします。

■授業計画

1	ガイダンス（授業内容、課題、成績評価について）　第1課　表記のし方　レベルチェック作文を書く
2	第2課　文体と書きことば
3	第3課　段落にわける
4	第5課　テーマを述べる
5	第6課　理由・経過を述べる
6	第7課　定義する
7	第8課　判明していることを述べる 作文コンクールの作文を書く（テーマを理解し内容を考える・構成を考えてアウトライン作成）
8	第9課　問題点を述べる　　作文コンクールの作文を書く
9	第10課　引用する　　作文コンクールの作文を書く
10	第11課　解決策を述べる　　作文コンクールの作文を書く
11	第12課　手順を述べる　　作文コンクールの作文を書く（完成）
12	第13課　指示詞を使う　総復習
13	授業中試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

コース前半には、文法、言語表現、構成について学んだ後、アイディア出しのための話し合い、アウトランイン作成、作文の下書きと進め、課題として作文を完成し次回の授業で提出します。教師のフィードバックをもとに書き直して発表したり、他の人の文章を読んだりして、自分の文章を客観的に見直します。コース後半には、学んだことを生かして作文コンクールの作文に段階的に取り組み、完成させます。
※学習内容と進度は変わることがあります。

■予習・復習

予習：授業で使うプリントを読んで、語彙や表現、文型を確認しておきましょう。
復習：フィードバックをもとに作文を書きなおしましょう。

■成績評価の方法

課題（作文コンクールを含む）30%　定期試験40%　平常点（作文への取り組み、話し合い参加、授業態度）30%

■教科書・参考書

『大学・大学院　留学生の日本語②作文編』（アルク）から抜粋してコピー配布

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度春学期講義要項

■必修科目	6　組	総合	月・水・金　曜日	1　限	目 標レベル	B2⁺～C1、　上　級
■授業の目的及び到達目標				担当：藤田　守・南口　順子・田中　優季		

大学院や大学に進学する人にとって必要な日本語力を確実に身につけることを目的とします。専門的な分野や抽象的な話題について理解し、自分の考えや意見を明確に伝えることができることを到達目標としています。

■授業計画

1	ガイダンス（授業の進め方、予習・復習、成績評価について）、ユニット1「自己紹介と本当の自分」前半
2	ユニット1「自己紹介と本当の自分」後半、ユニット2「若者の自己評価」前半
3	ユニット2「若者の自己評価」後半
4	ユニット3「ジェンダーを考える」前半
5	ユニット3「ジェンダーを考える」後半、ユニット4「ことばと文化」前半
6	ユニット4「ことばと文化」後半
7	語彙・文法の復習（ユニット1～ユニット4）
8	ユニット5「心と体のバランス」
9	ユニット8「環境のためにできること」
10	ユニット9「食の共同性」前半
11	ユニット9「食の共同性」後半、ユニット10「笑いのちから」前半
12	ユニット10「笑いのちから」後半
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

この授業は 1週間に 3 コマあり、それぞれ 3 人の先生が担当します。4 コマから 5 コマで 1課を学習します。具体的には、各課とも「読む前に」「重要表現」「読んでみよう」「文法・語彙練習」の順に学習します。（「読んだ後で」は読解科目で学習します。）そして、学習した語彙や文型を使って、自分の考えや意見が述べられるようにします。各課の学習後に、語彙と文法のまとめクイズをやります。※授業計画は実際の学習進度により変わることがあります。

■予習・復習

予習：教科書の別冊を使って、各課の単語リストの意味を調べます。そして、重要表現の解説を読んで理解します。
復習：到達目標を意識しながら、ワークブックの語彙練習問題などに取り組みます。そして、学習内容を暗記して、まとめクイズや定期試験の準備をします。

■成績評価の方法

課題（授業中のクイズ・発表を含む）　20%、定期試験　60%、平常点（授業態度）　20%

■教科書・参考書

教科書『新 中級から上級への日本語』(The Japan Times)・
『新 中級から上級への日本語 ワークブック』(The Japan Times)

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度春学期講義要項

■必修科目	6　組	聴解・聴読解２	火　曜日	1　限	目標レベル	B2⁺～C1、上級
■授業の目的及び到達目標					担当：中野二郎	

日本留学試験（ＥＪＵ）で要求される、大学や専門学校に進学する人にとって必要な聴解能力を身につけることを目的とします。幅広い場面で使われる会話やトピックについて資料（グラフや図表、解説文など）をもとに聞き取り、理解できることを到達目標としています。

■授業計画

1	ガイダンス、レベルチェック（JLPTN2)、ニーズ調査
2	EJU模擬試験、解説
3	EJU　問題のタイプ、対策を確認
4	JLPT　模擬試験1回目　解説
5	JLPT　問題のパターンに慣れよう(1)
6	JLPT　問題のパターンに慣れよう(2)
7	JLPT　いろいろなタイプの話を聞こう(1)
8	JLPT　いろいろなタイプの話を聞こう(2)
9	JLPT　模擬試験2回目　解説
10	JLPT　いろいろな語彙や表現を覚えよう(1)
11	JLPT　いろいろな語彙や表現を覚えよう(2)
12	総復習
13	授業中試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

EJU、JLPT とも模擬試験、解説を通して、試験に立ち向かうストラテジーを身につけていきます。問題集では、そのストラテジーの確認、補強を行います。。聞き取れる語彙を増やすため、前回の授業で扱った語彙のクイズを行って、聞き取れる語彙の定着を図ります。

■予習・復習

予習:語彙シートを見て、語彙クイズに備えること。
復習:授業中にきいた内容をスクリプトで確認すること。

■成績評価の方法

課題(授業中のクイズ含む)30%、期末試験40%、平常点30%

■教科書・参考書

『日本語総まとめ N1　聴解』(アスク出版)、『2023年度日本留学試験試験問題』(凡人社)、『日本留学試験　聴解・聴読解』(アスク出版)他

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度春学期講義要項

■必修科目	6　組	読解	水　曜日	2　限	目標レベル	B2⁺～C1、上級
■授業の目的及び到達目標					担当：南口順子	

進学者にとって必要な読解力である①推測して読む力、②情報を整理して読む力、③批判的に読む力　を学生のレベルに応じて体系的に習得させることを目標として授業を進めます。JLPT で測られる N1 合格レベルの能力及び EJU で測られるアカデミック・ジャパニーズ能力の養成を目指しています。

■授業計画

1	ガイダンス（授業の進め方・評価など）　、読解レベルチェック（N2模擬試験実施）
2	読解ストラテジー練習1、JLPT対策（内容理解–短文）
3	読解ストラテジー練習2、JLPT対策（内容理解–短文）、メインテキスト：読んだ後に U 1
4	読解ストラテジー練習3、JLPT対策（内容理解–中文）、メインテキスト：　読んだ後に U 2
5	読解ストラテジー練習4、JLPT対策（内容理解–中文）、メインテキスト::読んだ後に U 3
6	読解ストラテジー練習5、JLPT対策（内容理解–中文）、メインテキスト::読んだ後に U 4
7	読解ストラテジー練習6、JLPT対策（統合理解）　　、メインテキスト：読んだ後に U 5
8	読解ストラテジー練習7、JLPT対策（情報検索）　　、メインテキスト::読んだ後に U 8
9	読解ストラテジー練習8、JLPT対策（主張理解–長文）、メインテキスト::読んだ後に U 9
10	読解ストラテジー練習9　JLPT対策（主張理解–長文）、メインテキスト::読んだ後に U 10
11	読解ストラテジー練習10　JLPTN1模擬試験実施
12	読解ストラテジー練習11　JLPTN1模擬試験FB、定期試験前の復習
13	授業中試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

受験時及び、進学後に必要となる読解力及び読解ストラテジーを扱い、文章を通じたコミュニケーションのための読解という観点から、進学者にとって必要性の高いアカデミックな説明文、論説文、実用文なども題材に扱いつつ、JLPT 対策、EJU対策のための練習を実践的に行っていきます。　※学習進度は変わることがあります。

■予習・復習

予習：学習予定表を見て、その日に学習する項目を確認しておきましょう。
復習：この授業では復習を中心に学習してください。読解問題に出てきた新しい語彙を覚えたり、　出来なかった問題をもう一度やっておくことが大切です。毎回、JLPT対策の練習問題を課題に出す予定です。

■成績評価の方法

課題等（授業内及び授業後の課題）　30%、定期試験　　50　%、平常点　（授業態度、出席）　20　%

■教科書・参考書

『新・中級から上級への日本語』、
プリント使用：『N2読解スピードマスター』『N1読解スピードマスター』（J リサーチ出版）

『日本語能力試験N1,N2試験に出る読解』（桐原書店）他

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度春学期講義要項

■必修科目	6　組	読解・多読	月 曜日	3　限	目標レベル	B2⁺～C1、中上級
■授業の目的及び到達目標					担当：浅井　尚子	

多読学習によるトップダウン型読解と JLPTN2～1レベル問題の解法ストラテジー学習の併用により、実践的な読解力の修得を目的とします。
具体的には、個人の嗜好やレベルに合う読み物を多量に楽しみながら、学習者同士の情報交換・発表・創作など受容と産出活動を併せ持つ多読学習に、より抽象度の高い、複雑な構成の読解問題の解法ストラテジー学習を加え、読解のより高度な実践力をスパイラル状に伸ばすことを到達目標とします。

■授業計画

1	多読授業ガイダンス（授業の進め方、成績評価、予習・復習）、多読とは？（多読のルール・読書記録・読書計画）
2	読み聞かせ1、多読1、ブックトーク1
3	読み聞かせ2、多読2、ブックトーク2
4	輪読1、多読3、多書1
5	輪読2、多読4、ブックトーク4、読書相談（読書計画見直し）
6	期末プロジェクトについて（発表内容・計画・提出期限など）、多読5、読書相談（読書計画見直し）
7	多読6、ブックトーク5、
8	多読7、多書2
9	期末プロジェクト発表準備1、多読8
10	期末プロジェクト準備2、多読9
11	期末プロジェクト準備3（作品提出）、多読10
12	期末プロジェクト発表1
13	期末プロジェクト発表2と学期の学習のまとめ

■授業の方法

自分の好きな本を選んで読みます。集中して授業内読書をすることで、日本語で読むことの楽しさを知り、授業外でも自分から読書をする習慣を身につけます。ブックトーク・輪読・多書などを行うことで、インプットからアウトプットの活動へとつなげ、クラスメートと読書の楽しさを味わうことで、日本語の運用力を向上させます。学期の最後に多読学習で身につけた日本語力の成果として、期末プロジェクトで発表を行います。※学習進度は変わることがあります。

■予習・復習

・予習：多読室の本を借りたり、多読の WEB サイトを見たりして、たくさん本を読んでください。
・復習：読書記録を記入し、学習計画を見直してください。
　　期末プロジェクトの準備も自分でします。

■成績評価の方法

課題（提出物・ブックトーク参加度など） 30%、 定期試験（期末プロジェクト） 40%、 平常点 30%

■教科書・参考書

・多読室の本、多読の WEB サイトなど
・自分の本や雑誌などの持ち込みもいいです。（試験対策問題集などは、不可）

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度春学期講義要項

■必修科目	6　組	日本事情	木　曜日	1　限	目標レベル	B2⁺～C１、上級
■授業の目的及び到達目標				担当：藤田　守		

日本の社会問題・文化的事象や日本人の価値観・行動様式などについて、客観的な資料をもとに理解することを目的とします。一般的で広範囲にわたる話題や自分の専門分野・興味のある話題について日本人と無理なく自然にコミュニケーションができることを到達目標とします。

■授業計画

1	ガイダンス（授業の進め方、予習・復習、成績評価について）
2	プロローグ
3	日本人の名前
4	野球と日本人
5	マンガ・アニメ
6	いろいろな言葉づかい
7	統一試験
8	課外研修
9	日本人の一生
10	すもう
11	日本の観光地
12	七夕について
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

授業では、取り扱う日本の文化や習慣について、予習として収集した情報をクラスメイトと交換し合い、共通点と相違点をそれぞれまとめていきます。そして、クラス全体で、新たに気づいたことや知らなかったこと、新たに関心をもったことなどを明確にしていきます。こうした知識の定着を小テストで確認します。※授業計画は実際の学習進度により変わることがあります。

■予習・復習

予習：授業で取り扱う日本の文化や習慣について、それぞれ自分で情報収集を行って理解を深める。その情報をメモし、次の授業の時にそのメモを持参する。
復習：授業で取り上げた話題に関して、自分の出身地域におけるイメージ、似ているところや違うところなどについて、日本語で話したり書いたりしてみる。

■成績評価の方法

課題（授業中のクイズ・発表を含む）　30%、定期試験　50%、平常点（授業態度・話し合い）　20%

■教科書・参考書

授業では、『知っていますか　にほんのこと: 学ぼう話そう日本事情』（JASSO日本語教育センター）を基に、資料を配付します。

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度春学期講義要項

■必修科目	7　組	作文	金　曜日	2　限	目標レベル	C1以上　上級
■授業の目的及び到達目標					担当：福島　佐知	

1）アカデミックライティングの基礎を身につけます。以下のことの習得を目指します。
話し言葉と書き言葉の区別ができる。（普通体（である体）、連用中止、書き言葉的な表現）
句読点やその他の記号を適切に使い、読みやすい文が書ける。
中心文を意識し、内容的にまとまりのある段落が書ける。
各段落の構成を考え、話を論理的に展開させていくことができる。（段落構成と接続表現）
原稿用紙を正しく使える。
2）作文コンクールの応募作文（2000字程度）を完成させます。
3）日本語入力を練習し、適切な形式で Word の文書を作成できるようにします。

■授業計画

1	文体（普通体（である体）、連用中止）
2	句読点、その他の記号の使い方、「紹介文」を書く
3	文の基本　文の名詞化
4	文の基本　守備一貫した文
5	中心文と支持文
6	段落のつながり、「インターネット」についての作文を書く
7	作文コンクールの作文を書く（テーマを理解し、内容を考える）
8	作文コンクールの作文を書く（構成を考える）
9	接続の言葉1、作文コンクールの作文を書く
10	接続の言葉2、作文コンクールの作文を書く
11	意見を述べる表現、作文コンクールの作文を書く
12	作文コンクールの作文を書く
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

配布する教材に沿って解説を読み、練習問題を解きます。まとめとして 400字程度の文章を書きます。入力して仕上げます。7週目以降は、作文コンクールの準備をします。

■予習・復習

予習：指定された部分の解説を読んでおきます。
復習：重要な表現や構成を覚えます。返却された文章を読み直して、修正された部分を確認し、書き直します。

■成績評価の方法

課題　50%（作文コンクール　30%、その他　20%）、定期試験　30%、平常点　20%

■教科書・参考書

『新訂版　留学生のための論理的な文章の書き方』（スリーエーネットワーク）、『小論文への 12 のステップ』（スリーエーネットワーク）からコピー配布

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度春学期講義要項

■必修科目	7　組	総合	月水金　曜日	1　限	目標レベル	C1以上、上級
■授業の目的及び到達目標					担当：中野二郎	

この授業は、大学や大学院に進学する人にとって必要な総合的な日本語力を確実に身につけることを目的とします。具体的には、専門的な分野や抽象的な話題について理解し、自分の考えや意見を伝えることができることを到達目標としています。

■授業計画

1	UNIT1　認知バイアス
2	UNIT1　認知バイアス、UNIT2　化粧の社会学
3	UNIT2　化粧の社会学
4	UNIT3　自然災害
5	UNIT3　自然災害、UNIT4　笑いとユーモア
6	UNIT4　笑いとユーモア
7	UNIT5　睡眠の謎
8	UNIT5　睡眠の謎、UNIT6　AI時代における人の死
9	UNIT6　AI時代における人の死
10	UNIT7　文学の意義
11	UNIT7　文学の意義、UNIT8　環境か経済か
12	UNIT8　環境か経済か
13	授業中試験

■授業の方法

1週間に3コマ、3人の教師によるチーム・ティーチングで進めます。基本的に1課を 4コマ程度で終わらせます。語彙や文法の学習もしますが、主に扱っているトピックについて読んだり聞いたりして理解を深めた上で、自身の考えや自国の事情などをアウトプットできるようにします。「すばやく読む」は「読解」の時間に、「聞く」は「聴解・聴読解」の時間に扱います。※学習進度、授業の方法は、状況によって変わることがあります。

■予習・復習

予習：課が始める前に、新しい言葉や文法をよく調べておくこと。
復習：学んだ課の言葉、文法が定着するように、アウトプット（書く、話す）すること。

■成績評価の方法

課題（授業中のクイズ・発表を含む）20　%、定期試験　50%、平常点　30%

■教科書・参考書

『J=PEAK　上級』（the Japan Times）

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度春学期講義要項

■必修 科目	7　組	聴解・聴読解２	火　曜日	1　限	目標レベル	C1 上級

■授業の目的及び到達目標	担当：森井 あずさ

大学院や大学に進学する人にとって必要な聴解能力を確実に身につけることを目的とします。専門的な分野や抽象的な話題について資料（講義のレジュメや解説文など）をもとに、聴き取った内容をノートにまとめたり、聴いて理解できたことを要約したりできることを到達目標としています。

■授業計画

1	ガイダンス（授業の進め方、予習・復習、成績評価の方法について）・自己紹介・　聴解・聴読解についての説明
2	「聴解・聴読解のやり方に慣れる」 聴解・聴読解のやり方、ポイントをつかむ練習をします。
3	問題集などを通して、試験における解答のしかた、日本語の聞き取りに慣れていきます。
4	問題集などを通して、試験における解答のしかた、日本語の聞き取りに慣れていきます。
5	問題集などを通して、試験における解答のしかた、日本語の聞き取りに慣れていきます。
6	問題集などを通して、試験における解答のしかた、日本語の聞き取りに慣れていきます。
7	問題集などを通して、試験における解答のしかた、日本語の聞き取りに慣れていきます。
8	問題集などを通して、試験における解答のしかた、日本語の聞き取りに慣れていきます。
9	問題集などを通して、試験における解答のしかた、日本語の聞き取りに慣れていきます。
10	問題集などを通して、試験における解答のしかた、日本語の聞き取りに慣れていきます。
11	問題集などを通して、試験における解答のしかた、日本語の聞き取りに慣れていきます。
12	問題集などを通して、試験における解答のしかた、日本語の聞き取りに慣れていきます。
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

授業は、音声教材の聞き取りを中心にします。音声を聞いた後に聞き取りのポイントについて解説したり、過去問を使って実践的な聞き取りの練習をする予定です。
※学習進度は、学生の理解度やレベルによって、変わることがあります。

■予習・復習

予習：普段からインターネットなどのメディアを使って、日本語をよく聞くこと。
復習は、授業内容を振り返り、自分の聞き取りの弱いところをまとめ、定期試験や資格試験のために、準備すること。

■成績評価の方法

課題（授業中のクイズ・発表を含む）30%、定期試験60%、平常点10%

■教科書・参考書

『JLPT リアル模試N1』（AJ オンラインテスト株式会社）
『日本語総まとめ N1聴解』（アスク出版）など

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度春学期講義要項

■必修科目	7　組	聴解・聴読解①	月　曜日	2　限	目標レベル	C1以上、上級
■授業の目的及び到達目標					担当：伊藤江美	

大学院や大学に進学する人にとって必要な教養と聴解能力を確実に身につけることを目的とします。専門分野につながるテーマや時事問題について、教科書や資料をもとに、聴き取った内容の概要をつかみ、話の構成を考えるために、ノートをとったり要約したりできることを到達目標としています。

■授業計画

1	ガイダンス（授業の進め方・テキスト・予習復習・評価など），Can-do確認，『NHK ニュースウェブ』動画視聴
2	『留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ聴解上級』第1課，日本の時代区分，『J-PEAK　上級』1課（聞く）
3	『留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ聴解上級』第 2 課，日本の信仰，『J-PEAK　上級』2課（聞く）
4	『留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ聴解上級』第 4 課，北海道・沖縄の歴史，『NHK ニュースウェブ』
5	『留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ聴解上級』第 6 課，専門用語，『J-PEAK　上級』3課（聞く）
6	『留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ聴解上級』第 8 課，日本の道路，『J-PEAK　上級』4課（聞く）
7	『留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ聴解上級』第 9 課，日本の住居，『NHK ニュースウェブ』
8	『留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ聴解上級』第 10 課，『J-PEAK　上級』5課（聞く）
9	『留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ聴解上級』第 11 課，茶道・華道，『J-PEAK　上級』6課（聞く）
10	『留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ聴解上級』第 12 課，日本の会社・雇用，『NHK ニュースウェブ』
11	『留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ聴解上級』第 13 課，身体の語彙，『J-PEAK　上級』7課（聞く）
12	『留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ聴解上級』第 14 課，日本の自然災害，『J-PEAK　上級』8課（聞く）
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

クラス：音声を聴いたり動画を視聴したりした後、関連テーマについての知識を深め、聞き取りのコツを共有します。

グループ：要約やテーマなどについて話し合い、要約を書いたりテーマについて話し合ったりします。

個人：テキストの問題を解いたり発表したりします。

※内容や進度は、状況により変わることがあります。 授業中に ChatGPT などの AI は使わないでください。

■予習・復習

予習：テーマに関する知識をまとめ、問題B のページの下にある「難しいことば」の意味を調べてきてください。

復習：授業中に指示した課題を TEAMS にアップしてください。

■成績評価の方法

課題（授業中のクイズ・発表を含む） 30%、定期試験　40%、平常点　30%

■教科書・参考書

『留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ　聴解　上級』スリーエーネットワーク

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度春学期講義要項

■必修科目	7　組	読解	水　曜日	2　限	目標レベル	C1 以上、上級
■授業の目的及び到達目標					担当：開　めぐみ	

個人の嗜好に沿った多読学習に加え、様々な分野の読み物に触れる機会を提供し、学習目的に適う更なるアカデミッククレベルの読解力の修得を目的とします。具体的には論文、ビジネス文書・社説・随筆・文学など、様々な分野の代表的な文章に親しむ機会を持ち、ビブリオバトルや創作・小論文などの自主性を重んじた産出活動を行って、読解力超級を目指すことを到達目標とします。

■授業計画

1	1 章 「消費者行動にみられる認知バイアス」
2	2章 「消えた化粧文化「お歯黒」
3	3章 「自助・共助・公助」
4	4章 「漫才によってみえてくる世界共通の笑い」
5	5章 「体内時計の仕組み」
6	6章 「死後の個人データの扱い方」
7	7章 『本心』 書評—文学が問うもの—
8	8章 「人々の行動をかえるには」
9	言語と向き合う 「私の名は」
10	子供と自尊感情 「幸福度の低い日本の子ども」
11	自分でつくるキャリア①「人生の先輩が教えるキャリアのつくり方」
12	自分でつくるキャリア②「変化するキャリア観—自分らしいキャリアとは」
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

毎回授業冒頭で、前回学習した語彙・表現のクイズをします。コース前半にはテキストの Speed Reading の記事を読み、語彙・文法を確認し、内容理解の Q&A、話し合いをします。必要に応じ練習問題をすることもあります。コース後半には、クリティカル・リーディングの読み物を読み、タスクとディスカッションをします。協働作業が多いため、履修者には積極的な授業態度が求められます。　※学習内容と進度は変わることがあります。

■予習・復習

予習：語彙リストを見て言葉の意味と使い方を確認しておいてください。
復習：学習した内容を見直し、タスクの目標が達成できたか確認してください。新出語彙を復習してください。

■成績評価の方法

参加度（ディスカッション・ペア・グループワーク）20%　クイズ20%　課題　20%　定期試験40%

■教科書・参考書

テキスト：『J-PEAK 上級』（ジャパンタイムズ）
『考える人の上級日本語読解』（凡人社）からコピーして配布

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度春学期講義要項

■必修科目	7　組	読解・多読	月　曜日	3　限	目標レベル	C1 以上 上級
■授業の目的及び到達目標					担当：李　維涛	

多読学習によるトップダウン型読解で、実践的な読解力の修得を目的とします。この授業では、個人の嗜好やレベルに合う読み物を多量に楽しみながら、学習者同士の情報交換・発表・創作など受容と産出活動を併せ持つ多読学習によって、読解の実践力をスパイラル状に伸ばすことを到達目標とします。

■授業計画

1	オリエンテーション。授業の目的・目標を確認し、授業の行い方の提示・実演をする。対象資料・リソースの紹介。
2	作品紹介(『おばあのものがたり』)。多読(読む→ブックトーク→プレゼン→キーワード&1行感想)。1行感想の書き方。
3	Activity–「最近の私」。多読(読む→ブックトーク→プレゼン→キーワード&1行感想)。
4	作品紹介(『はらぺこあおむし』)とディスカッション。多読(読む→ブックトーク→プレゼン→キーワード&1行感想)。
5	Activity–「みんなで物語リレー」。多読(読む→ブックトーク→プレゼン→キーワード&1行感想)。
6	作品紹介(『いきる』)と多聴活動。多読(読む→ブックトーク→プレゼン→キーワード&1行感想)。
7	Activity–「クラスメートと経験を共有しよう」。多読(読む→ブックトーク→プレゼン→キーワード&1行感想)。
8	作品紹介(『死』)と多聴活動。多読(読む→ブックトーク→プレゼン→キーワード&1行感想)。
9	Activity–「ボディランゲージゲーム」。多読(読む→ブックトーク→プレゼン→キーワード&1行感想)。
10	期末プレゼンテーションのモデル作品を提示し、テーマ決めのブレインストーミングを行う。
11	期末プレゼンテーションの確認・準備・Q&A。多読(読む→ブックトーク→キーワード&1行感想)。
12	期末プレゼンテーション(前半)。前半の発表者の良いところ・直すべきところを考え、共有し、後半へと生かす。
13	期末プレゼンテーション(後半)。プレゼンテーションを総括し、コメントを共有する。学期の学習のまとめ

■授業の方法

この授業は、とにかく学生に興味がある読み物をやさしいレベルから大量に読み、日頃から読む習慣をつけさせるために、ありとあらゆる使用可能な素材やリソースを学生に紹介・提供し、それらをひたすら読ませます。そして、読むことで受容した内容を、ブックトークを通して、学生同士間で能動的に共有し、さらにそれをよりまとまったことばにしてクラス全体でプレゼンテーションを行います。ブックトークをより濃密なものにすべく、話し方、要約の仕方、コメントを行い、共有する表現方法などの指導も行います。

■予習・復習

紙媒体のものか、オンラインリソースの読み物を、授業日までに１つ以上読んでおき、授業日に簡単に紹介できるようにしておいてください。授業で読んだ読み物の内容を各自で整理し、過不足なく口頭でストーリーを紹介し、簡単にコメントもできるようにまとめて復習を行ってください。

■成績評価の方法

課題（授業中のクイズ・発表を含む）40%、 期末発表30%、 平常点30%

＊この授業では、定期試験が行いません。代わりに期末発表(プレゼンテーション)を行います。

■教科書・参考書

多読室蔵書、教員や学生が個人で所有する図書、オンラインリソースなど。

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度春学期講義要項

■必修科目	7　組	日本事情	木　　曜日	1　　限	目標レベル	C1以上、上級
■授業の目的及び到達目標					担当：中野二郎	

日本の社会問題・文化的事象や日本人の価値観・行動様式などについて、資料をもとに学習者個人の日本語レベル、文化理解レベルに応じた理解をすることを目的とします。一般的で広範囲にわたる話題や興味のある専門分野・話題について日本人と無理なく自然にコミュニケーションができることを到達目標とします。更には、自身が属する文化にも目を向けて、日本語で客観的にアウトプットできることも到達目標とします。

■授業計画

1	ガイダンス、アイスブレーキング
2	L1　プロローグ
3	L2　日本人の名前　、コラム　季節と対策
4	L3　野球と日本人
5	L4　マンガ・アニメ
6	L5　いろいろな言葉使い
7	統一試験
8	課外研修
9	敬語の使い方、プレゼンテーション
10	敬語の使い方、プレゼンテーション
11	敬語の使い方、プレゼンテーション
12	七夕会の準備
13	授業中試験とふりかえり

■授業の方法

学期前半は、教科書に基づいて、日本文化や習慣についての知識を深め、毎回小テストで知識の定着を図ります。
学期後半は、L5 いろいろな言葉使いを基に、敬語の実践練習をしたり、各自日本文化において関心を持っていることについて、プレゼンテーションを行う。
※学習進度、授業の方法は、状況によって変わることがあります。

■予習・復習

予習：TEAMS にアップした教材を読んで、理解を深めておく。
復習：扱った話題について、自国の事情を日本語で話したり書いたりしてみる。

■成績評価の方法

課題（授業中のクイズ・発表を含む）30　%、定期試験50%、平常点20%

■教科書・参考書

『知っていますか　日本のこと』（JASSO日本語教育センター）

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度春学期講義要項

■必修科目	7　組	会話	火　曜日	2　限	目標レベル	C1以上 上級

■授業の目的及び到達目標	担当：森井 あずさ

専門的な分野や抽象的な話題について、適切なやりとりをしたり、口頭で自分の考えや意見を明確に伝えたりする力を身につけることを目的とします。 専門的、時事的なテーマについてプレゼンテーションやディスカッションができることや、場面に応じて適切な語彙と表現、構文を用いて、流暢にやり取りしたり、論理的で説得力のある話し方をしたりできることを到達目標とします。

■授業計画

1	ガイダンス（授業の目的や進め方、成績評価の方法）・ 自己紹介
2	習った文法を使った会話、ショートスピーチ、あるテーマについて友だちと話す
3	習った文法を使った会話、ショートスピーチ、あるテーマについて友だちと話す
4	習った文法を使った会話、ショートスピーチ、あるテーマについて友だちと話す
5	習った文法を使った会話、ショートスピーチ、あるテーマについて友だちと話す　スピーチの練習
6	習った文法を使った会話、ショートスピーチ、あるテーマについて友だちと話す、スピーチの練習
7	習った文法を使った会話、ショートスピーチ、あるテーマについて友だちと話す、スピーチの練習
8	習った文法を使った会話、ショートスピーチ、あるテーマについて友だちと話す、スピーチの練習
9	習った文法を使った会話、ショートスピーチ、あるテーマについて友だちと話す、スピーチの練習
10	習った文法を使った会話、ショートスピーチ、あるテーマについて友だちと話す、面接の練習
11	習った文法を使った会話、ショートスピーチ、あるテーマについて友だちと話す、面接の練習
12	習った文法を使った会話、ショートスピーチ、あるテーマについて友だちと話す、面接の練習
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

1回につき 1 つのテーマについて話し合い、ペア練習、発表、フィードバックの順で進めます。授業の後半で発表を取り入れ、評価シートを使って学生同士で評価します。面接、スピーチに向けての練習をします。
★学習進度は、学生の理解度やレベルによって、変わることがあります。

■予習・復習

予習：自分の国の言葉や日本語で会話をする時にどのように話しているかについて意識しておくこと。
復習：学習内容をふりかえり、授業で学習・練習した会話のスキルを実践すること。

■成績評価の方法

課題（授業中の発表を含む）60%、定期試験30%、平常点10%

■教科書・参考書

プリントを配布します。
★参考書『聞いて慣れよう日本語の敬語』（スリーエーネットワーク）など

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度春学期講義要項

■選択必修科目	日本語演習Ⅰ（漢字語彙力養成①）	木　曜日	3　限	履修可能クラス	1－3組
■授業の目的及び到達目標				担当：伊藤　江美	

漢字入門期に漢字学習のストラテジーを身に付け、基礎的な漢字語彙と漢字の書き方を習得することを目的とします。 具体的には、初級メインテキストで学ぶ 日本語能力試験 JLPT N4・N5レベルの漢字語彙の意味と読みを修得し、さらに拓殖大学独自のK-code学習法を用いてN4・N5レベルの漢字を正しく書けるようにすることを到達目標とします。

■授業計画

1	ガイダンス（授業・評価・予習復習について），K-code資料・動画，ストラテジー① 『やさしい漢字ワーク』第1課読み，自分の漢字力の分析・学習計画表
2	『やさしい漢字ワーク』第1課K-code，読みクイズ，第 2 課読み，ストラテジー②
3	『やさしい漢字ワーク』第2課K-code，読みクイズ，第1課書きクイズ，ストラテジー③
4	『やさしい漢字ワーク』第3･4課K-code，読み・ 書きクイズマラソン，ストラテジー④，筆ペン
5	『やさしい漢字ワーク』第5･6課K-code，読み・ 書きクイズマラソン，ストラテジー⑤
6	『やさしい漢字ワーク』第7･8課K-code，読み・書きクイズマラソン，ストラテジー⑥
7	『やさしい漢字ワーク』第9･10･11課K-code，読み・書きクイズマラソン，アニメの漢字
8	『やさしい漢字ワーク』第12･13課K-code，読み・書きクイズマラソン，ストラテジー⑦
9	『やさしい漢字ワーク』第14･15課K-code e，読み・書きクイズマラソン，ストラテジー⑧
10	『やさしい漢字ワーク』第16･17課K-code e，読み・書きクイズ，筆ペン
11	『やさしい漢字ワーク』第18･19･20課K-code e，読み・書きクイズマラソン
12	『やさしい漢字ワーク』第21･22課K-code e，読み・書きクイズマラソン
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

・クラス全体で漢字のことばの読み練習、K-code で漢字の線や形の説明をします。
・毎回、各課クイズをします。自分で勉強した課のクイズを受けて、どんどん進めるクイズ・マラソンができます。
　※内容や進度は、状況により変わることがあります。

■予習・復習

予習：各課クイズのための勉強をしてください。QUIZLET のことばの意味を調べて、読み練習をしてください。
復習：「やさしい漢字ワーク」の「書き練習」をしてください。QUIZLET の読み練習をしてください。
※QUIZLET には 2 組 3 組の教科書の漢字語彙の練習もあります。

■成績評価の方法

課題（授業中のクイズ・発表を含む）　30 %、定期試験　40 %、平常点　30 %

■教科書・参考書

『ことばでおぼえる　やさしい漢字ワーク①』スリーエーネットワーク
K-code のプリント

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度春学期講義要項

■選択必修科目	日本語演習Ⅰ（漢字語彙力養成②）	木　曜日	3　限	履修可能クラス	2－4組
■授業の目的及び到達目標				担当：関口律子	

ごく日常的な場面で使用される基本的な漢字語彙を習得することを目的とします。
具体的には、初中級テキストで学ぶ日本語能力試験N4・N3レベルの漢字の意味と読み書きを修得し、さらにN3レベルの漢字語彙の漢字の意味がわかるようにすることを到達目標とします。

■授業計画

1	オリエンテーション　②レベルチェック　③日本語能力試験Ｎ４レベルの語彙Ⅰ：生活・学校
2	Ｎ４レベルの語彙：社会・仕事
3	Ｎ４レベルの語彙：　仕事・自然・環境問題
4	Ｎ４レベルの語彙：経済
5	Ｎ３レベルの語彙：生活・社会・人間関係
6	Ｎ３レベルの語彙Ⅱ：学校生活・教育
7	Ｎ３レベルの語彙Ⅲ：仕事・社会
8	Ｎ３レベルの語彙Ⅳ：健康・体・病気・健康管理
9	Ｎ３レベルの語彙Ⅴ：情報・コンピュータ関係・電気関係
10	Ｎ３レベルの語彙Ⅵ：環境・環境問題
11	実践問題：過去の問題：N4・Ｎ3
12	実践問題：過去の問題：Ｎ3
13	期末試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

授業は、全体での学習および、グループワークで行います。また、学生のレベルやニーズ、出身（漢字圏・非漢字圏か）などに合う方法を選択します。
※学習進度は、学生の理解度やレベルによって、変わることがあります。

■予習・復習

予習：授業で配布するプリント　復習：授業で配布するプリント
学生のレベル・ニーズに合わせた教材を配布、授業中に指示します

■成績評価の方法

課題（授業中のクイズ・発表を含む）　10　%、定期試験　40　%、平常点　50　%

■教科書・参考書

学生のレベル・ニーズに合わせた教材を配布また、必要に応じて紹介します

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度春学期講義要項

■選択必修科目	日本語演習Ⅱ文字語彙力養成①	木曜日	3　限	履修可能クラス	1-3組
■授業の目的及び到達目標				担当：岡田　幸彦	

日常的な話題について書かれた具体的な内容を表す文章を読んで理解するのに必要な文字・語彙・文法といった日本語能力試験N3 レベルの言語知識を身につけることを目的とします。
上記の内容を扱うために必要な文法形式や統語形式についての知識、常用漢字、語彙を習得することを到達目標にしています。

■授業計画

1	自分のこと、家族のこと、国のことを話すためのことば、書くための漢字を勉強します。
2	最近のことを話すためのことば、書くための漢字を勉強します。
3	学校のことを話すためのことば、書くための漢字を勉強します。
4	買い物をするためのことば、漢字を勉強します。
5	食事をするためのことば、漢字を勉強します。
6	どこかに行くため、旅行をするためのことば、漢字を勉強します。
7	約束をするためのことば、漢字を勉強します。
8	天気や環境問題について話すためのことば、書くための漢字を勉強します。
9	日本語の勉強について話すためのことば、書くための漢字を勉強します。
10	日本語の勉強をした後、何がしたいかを話すためのことば、書くための漢字を勉強します。
11	他の人を案内するためのことば、漢字を勉強します。
12	健康について話すためのことば、書くための漢字を勉強します。
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

毎回問題練習と答え合わせ、説明をします。。
時々小テストもする予定です。
※学習進度、授業の方法は、状況によって変わることがあります。

■予習・復習

予習は、配られた問題に答えておいてください。
復習は、その日の大切なこと、ポイントを整理しておいてください。

■成績評価の方法

課題（授業中のクイズ・発表を含む）30%、定期試験50%、平常点20%

■教科書・参考書

必要な内容をプリントにして配ります。
参考書として、『JLPT文字・語彙N4 ポイント&プラクティス』（スリーエーネットワーク）他を使います。

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度春学期講義要項

■選択必修科目	日本語演習Ⅱ （文字語彙力養成②）	木　曜日	3　限	履修可能 クラス	3－5組
■授業の目的及び到達目標				担当：森井あずさ	

日常的な場面に加え、新聞・解説・平易な評論を読んだり、ニュースや議論を聞いたりするために必要な文字・語彙・文法といった日本語能力試験 N2 レベルの言語知識を身につける準備をすることを目的とします。
上記の内容を扱うために必要な文法形式や統語形式についての知識、常用漢字、語彙を習得することを到達目標にしています。

■授業計画

1	オリエンテーション、N3語彙①人間関係
2	N3語彙②生活
3	N3 語彙③体
4	N3 語彙④趣味と旅行
5	N3 語彙⑤教育
6	N3語彙⑥仕事
7	N3語彙⑦社会
8	N3語彙⑧自然
9	N3語彙⑨数と量
10	N3語彙⑩時間
11	N2語彙①
12	N2語彙②
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

教科書（プリント）を中心として、N2～N3 をターゲットにした文字と語彙を勉強していきます。
授業では、語彙の意味と例文を確認し、練習問題を解きます。
★学習進度は、学生の理解度やレベルによって、変わることがあります。

■予習・復習

授業の前に教科書を見ておく、クラスの後に習ったことを復習する、などが、言葉を身につけるためのコツです。なるべく予習・復習をするようにしましょう。

■成績評価の方法

課題（授業中のクイズ・発表を含む）　30%、定期試験　60%、平常点　10%

■教科書・参考書

教科書：『新完全マスター語彙日本語能力試験N3』（スリーエーネットワーク）
参考書：『新完全マスター語彙日本語能力試験N2』（スリーエーネットワーク）など

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度春学期講義要項

■選択必修科目	日本語演習Ⅱ （文字語彙力養成③）	木　曜日	3　限	履修可能 クラス	5-7組
■授業の目的及び到達目標				担当：吉田敬	

この授業では、中級レベルの漢字や語彙を適切に使えるようになることを目的とします。具体的には、テーマごとにまとめられた、日本語能力試験（JLPT）N2相当の漢字や語彙を学習することを通して、このレベルで求められる文字語彙力を身につけることを目指します。

■授業計画

1	ガイダンス（授業の進め方や評価について）　／　漢字：既習漢字に加わる新しい（N2 の）音読みと訓読み
2	漢字の要素とコア・ミーニングについて　／　漢字：季節・衣類・住居・お菓子・栄養・まとめ
3	語彙：意味がたくさんあることば・ことばの前や後ろにつく語・まとめ
4	漢字：市民芸術祭・展示会・旅行・試合・スポーツジム・まとめ
5	語彙：様子や状態を表すことば・まとめ
6	漢字：家族・ペット・悩み・宗教・敬語・体・まとめ
7	語彙：さまざまな副詞・まとめ
8	漢字：雇用・転職・論文・寄付・依頼・まとめ
9	基本的な日本語コーパスを活用した語彙学習①（「なつめ」の使い方と結果の見方、実践練習）
10	基本的な日本語コーパスを活用した語彙学習②（前回の復習、「少納言」の使い方と結果の見方、実践練習）
11	語彙：カタカナで書くことば・似ていることば・まとめ
12	コースの振り返り（秋学期の復習と定期試験対策）
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

- 教科書の各課の漢字や語彙について簡潔な説明をしたあと、練習問題を解いてもらいます。
- 受講終了も、自律的な学習によって語彙力や表現力を伸ばしていけるよう、コロケーションへの理解を深めるとともに、実際にパソコンを操作しながら、日本語コーパス（テキストのデータベース）の基本的な使い方を学習します。
- 適宜、小テストを行う予定です。 ※授業計画、方法、教科書等は状況によって変更することがあります。

■予習・復習

日ごろから、初めて知った漢字や語彙について関心を持つこと（意味や使い方を調べてみるなど）を予習とします。また、復習として宿題を出すことがあります。宿題は、次回の授業のときに提出してください。

■成績評価の方法

課題（宿題、小テスト等）30%、定期試験40%、平常点30%を目安とし、実際の定期試験の難易度や学習への取り組みなどを加味したうえで最終的な評価をつけます。

■教科書・参考書

教科書：『日本語総まとめ N2語彙（増補改訂版）』（アスク）、『日本語能力試験問題集 N2漢字スピードマスター』（Jリサーチ出版）　／　参考書：『漢字マスターN2（改訂版）』（三修社）、『にほんご漢字トレーニング』（アスク）

※このほか、必要に応じてプリントを配布します。

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度春学期講義要項

■選択必修科目	日本語演習Ⅱ（文字語彙力養成④）	木　曜日	3　限	履修可能クラス	5－7組
■授業の目的及び到達目標				担当：関根稚恵	

この授業は、幅広い内容の新聞・評論・論説文を読んだり、ニュースや講義を聞いたりするために必要な文字・語彙の言語知識を身につけることを目的とします。
上記の内容を扱うために必要な言語知識や統語形式についての知識、約2,000の常用漢字、約10,000の語彙を習得することを到達目標にしています。

■授業計画

1	ガイダンス（授業の進め方、予習・復習、成績評価の方法について）、自己紹介、 チャレンジ問題「漢字の意味」
2	訓読みの漢字①　動詞A レベル（1）～（3）／漢字の知識①
3	訓読みの漢字②　動詞Bレベル（1）～（3）／漢字の知識②
4	訓読みの漢字③　動詞Cレベル（1）～（3）／漢字の知識③
5	訓読みの漢字④　い形容詞（1）（2）　／漢字の知識④
6	訓読みの漢字⑤　な形容詞・副詞・その他／訓読みの漢字の振り返り
7	話題別の語彙①　人間
8	話題別の語彙②　生活
9	話題別の語彙③　芸術・スポーツ
10	話題別の語彙④　教育
11	話題別の語彙⑤　仕事／話題別の語彙の振り返り
12	日本語能力試験N1文字・語彙の模擬試験／定期試験の対策
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

日本語能力試験（JLPT）N1レベルの漢字と語彙について、クラス内で話し合い考えながら学んでいきます。事前に配布したプリントで漢字の読み方や語彙の使い方などを予習してください。授業では、重要な漢字や語彙の用法を確認し、練習問題を解き、解説をしていきます。
※学習進度は、学生の理解度やレベルによって、変わることがあります。

■予習・復習

予習：授業進度に合わせ、次回の語彙の下調べをしておく。
復習：授業内容や配布プリントを整理しまとめておく。

■成績評価の方法

課題（授業中のクイズ・発表を含む）：30%、定期試験：50%、平常点：20%

■教科書・参考書

教科書：プリントを配布。
参考書：『新完全マスター日本語能力試験N1』漢字／語彙（スリーエーネットワーク）
『上級・超級日本語学習者のための考える漢字・語彙』上級編／超級編（ココ出版）
『日本語パワードリルN1文字語彙』（アスク出版）

拓殖大学別科日本語教育課程　2024年度春学期講義要項

■選択必修科目	日本語演習Ⅲ 口頭表現力養成①	金　曜日	3　限	履修可能 クラス	1－3組
■授業の目的及び到達目標				担当：中野二郎	

日本語らしい発音、特に韻律の習得に基づいた日常会話力の獲得を目的とします。具体的には、日常的な場面の会話、短いスピーチが自然な速度、イントネーションでできるように練習します。
教室外であっても日常生活のありふれた場面なら、日本語らしい発音でやりとりができることを到達目標とします。

■授業計画

1	わらべうた1　音の聞き分け（長音）　自己紹介　L1　はじめての日本語　おはようございます
2	わらべうた2　音の聞き分け（促音）　L2　はじめての日本語　すみません、よくわかりません
3	わらべうた3　音の聞き分け（撥音）　L3　私のこと　よろしくお願いします
4	わらべうた4　L4　私のこと　東京に住んでいます
5	わらべうた5　L5　好きな食べ物　うどんが好きです
6	音読1　L6　好きな食べ物　チーズバーガーください　スピーチ準備①
7	音読2　L11　私の好きなこと　どんなマンガがすきですか　スピーチ準備②
8	音読3　L12　私の好きなこと　いっしょに飲みにいきませんか　スピーチ準備③
9	音読4　L17　休みの日に　映画を見に行きました　スピーチ準備④
10	音読5　L18　休みの日に　温泉に入りたいです　スピーチ準備⑤
11	発表（スピーチ）10名程度
12	発表（スピーチ）8名程度　フィードバック
13	授業内試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

毎回「わらべうた」や「音読」のウォーミングアップから始めます。日本語らしい発音ができるように何度も練習します。その後、毎回自分について話す練習をします。授業の最後には、文字を見ないで話すことを課題とします。練習した会話をまとめて、最後の2週は全体の前で発表をします。
※進度や方法は状況によって変わることがあります。

■予習・復習

予習：次の週でやる課をサイトで確認して、新しい言葉を見ましょう。
復習：学んだ表現を生活の中で使いましょう。

■成績評価の方法

課題（授業中のクイズ・発表を含む）30%、定期試験40%、平常点30%

■教科書・参考書

参考書『にほんご音読トレーニング』（アスク出版）』『まるごと初級1』
『いろどり』（国際交流基金）TOP｜いろどり　生活の日本語（jpf.go.jp）
『わらべうた』谷川俊太郎（集英社）他

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度春学期講義要項

■選択必修科目	日本語演習Ⅲ 口頭表現能力養成②	金　曜日	3　限	履修可能 クラス	3−5組
■授業の目的及び到達目標				担当：関口律子	

自分の興味・関心のある分野に関連する幅広い話題について明瞭で詳細な説明ができ、また、時事問題についても、長所、短所を示して自身の考えを説明できることを目的とします。
具体的には、授業中に発表の練習を繰り返して口頭表現力を高め、大学等進学後に、ディスカッションやプレゼンテーションができるようになることを到達目標とします。

■授業計画

1	オリエンテーション　②テーマ探し・アイディア（構想）・アウトライン作成（１）
2	テーマ探し・アイディア（構想）・アウトライン作成（２）
3	テーマ探し・アイディア（構想）・アウトライン作成（３）②インタビュー準備（１）
4	テーマ探し・アイディア（構想）・アウトライン作成（４）②インタビュー準備（２）
5	テーマ探し・アイディア（構想）・アウトライン作成（５）②インタビュー準備（３）
6	①インタビュー実施・まとめ（１）PPT　2PPT ファイル作成のしかた
7	PPT ファイル作成（１）
8	PPT ファイル作成（２）
9	PPT ファイル作成（３）②プレゼンテーションの日本語
10	プレゼンテーション（１）
11	プレゼンテーション（２）
12	①プレゼンテーション（３）
13	期末試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

授業は、全体での学習および、グループワークで行います。
プレゼンテーションは、一人ずつ行います
※学習進度は、学生の理解度やレベルによって、変わることがあります。

■予習・復習

予習：授業で配布するプリント　復習　授業で配布するプリント

■成績評価の方法

課題（授業中のクイズ・発表を含む）　30%、定期試験　20　%、平常点　50　%

■教科書・参考書

学生のレベル・ニーズに合わせた教材を配布また、必要に応じて紹介します

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度春学期講義要項

■選択必修科目	日本語演習Ⅲ（口頭表現力育成③）	金　曜日	3　限	履修可能クラス	５組―７組
■授業の目的及び到達目標				担当：浅井尚子	

複雑な話題であっても、派生的な話題にも立ち入って詳しく論じることができ、適切な結論でまとめることができることを目的とします。具体的には、授業中に発表の練習を繰り返して口頭表現力を高め、大学、大学院進学後に、社会問題や自身の専門分野について、ディスカッションやプレゼンテーションができるようになることを到達目標とします。

■授業計画

1	ガイダンス（授業の進め方、予習・復習、成績評価の方法について）、自己紹介、プレゼンテーションとは何か
2	プレゼンテーションの基礎①　プレゼンテーションの流れと構成要素、良い発表者と良い聞き手について
3	プレゼンテーションの基礎②　プレゼンテーションにおける話し方・態度について、数字を使った表現
4	プレゼンテーションの基礎③　グラフ・図表の説明の仕方、引用の表現
5	プレゼンテーションの基礎④　接続の表現と指示の表現、質疑応答・コメントの仕方
6	プレゼンテーションの基礎⑤　スライドの作り方
7	発表のための準備①　テーマ決定、アウトライン作成
8	発表のための準備②　構成、スライド作成
9	発表のための準備③　スライド完成、発表原稿作成
10	発表のための準備④　発表原稿完成、ナレーションの練習
11	最終発表①
12	最終発表②
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

この授業では、発表（プレゼンテーション）に必要なテクニックを身につけるため、課題を出します。その課題をグループで話し合い、効果的なプレゼンテーションの仕方を身につけていきます。最終発表に向けての準備を進め、最終発表をします。他の学生は、発表を能動的に聞き、質疑応答をし、発表に対するコメントを書きます。最後に自分の発表について振り返り、レポートを作成します。※授業進度や方法は、変わることがあります。

■予習・復習

予習：課題や発表の準備を期日までにすること。
復習：毎回の授業で学んだことをまとめ、自分の発表について、振り返りをすること。

■成績評価の方法

課題（授業中の発表を含む）　50%、　最終発表　40%、　平常点　10%

■教科書・参考書

『留学生のための考えを伝えあうプレゼンテーション』（くろしお出版）・『アカデミックプレゼンテーション入門』（ひつじ書房）・『自己表現からアカデミックプレンゼンテーションへ』（実教出版）・『日本語で考える・話す・結論を出す留学生のためのディスカッショントレーニング　基礎から合意形成まで　』（凡人社）・『学生のためのプレゼンテーショントレーニング』（実教出版）等　・その他プリントを配付します。

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度春学期講義要項

■選択必修科目	日本語演習Ⅳ 日本語スキルアップ①	金　曜日	3　限	履修可能 クラス	1～3組
■授業の目的及び到達目標				担当：田中　優季	

この授業は、日本語の IT の基本的な知識と使い方を学ぶことを目的とします。具体的には、PC のキーボードを使って日本語の入力方法を習得すること、Microsoft Teams や Word、PowerPoint などの基本的な操作ができるようになること、プレゼンテーションスライドを作成し、発表ができるようになることを到達目標とします。

■授業計画

1	ガイダンス（授業の進め方、成績評価の方法について）、PC の使い方、日本語入力①（文字の入力方法）
2	日本語入力②（タイピング練習）
3	日本語入力③（漢字の入力、IMEパッドの使い方）
4	日本語検索①（ウェブサイト検索など）
5	Microsoft Word の使い方①（基本的な使い方）
6	日本語検索②（日本で行きたい場所について調べる）、Microsoft Word の使い方②（資料作成の練習）
7	Microsoft Word の使い方3（資料作成の練習、調べた内容の発表）
8	Microsoft Teams の使い方（チャットを送る、課題を提出する）
9	Microsoft PowerPoint の使い方（基本的な使い方）
10	調べ学習①テーマ決め、情報収集、プレゼンテーション資料作成（スライド、発表スクリプト）
11	調べ学習②プレゼンテーション資料作成（スライド、発表スクリプト）
12	調べ学習③発表（資料の提出）、学期末の試験について説明
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

この授業ではPCを使います。基本的な操作方法を確認した後で、実際に練習します。毎回、授業中に課題を出すので、時間内に提出しましょう。10回目の授業から「調べ学習」をします。PowerPoint スライド、発表のスクリプトを作って、クラスで発表します。

■予習・復習

予習：授業計画を見て、授業に備えてください。
復習：授業で学習したことを復習し、日常生活でも積極的に使いましょう。

■成績評価の方法

課題（調べ学習を含む）　40%、定期試験　40%、平常点　20%

■教科書・参考書

授業でプリントを配布します。
参考書：『日本語でできる！外国人のためのパソコンのきほん』スリーエーネットワーク、『学生のためのかんたん Word, Excel, PowerPoint入門』技術評論社、『留学生のための日本語で学ぶパソコンリテラシー』共立出版

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度春学期講義要項

■選択必修科目	日本語演習Ⅳ 日本語スキルアップ②	金　曜日	3　限	履修可能クラス	4～7組
■授業の目的及び到達目標				担当：福島 佐知	

拓殖大学や拓殖大学以外の大学の学部に進学し、自律的に学習するために必要な日本語力を身につけることを目的とします。主に日本留学試験（EJU）の記述問題、読解問題で高得点が取れるよう、対策を行います。

■授業計画

1	日本留学試験（記述） 概要の説明、基礎練習（書き言葉、意見を述べる言い方、構成①）
2	日本留学試験（記述） 練習問題（構成①）
3	日本留学試験（読解） 概要の説明、練習問題
4	日本留学試験（読解） 練習問題
5	日本留学試験（記述） 練習問題（構成①）
6	日本留学試験（読解） 練習問題
7	日本留学試験（記述） 練習問題（構成②）
8	日本留学試験（読解） 練習問題
9	日本留学試験（記述） 練習問題（構成③）
10	日本留学試験（読解） 練習問題
11	日本留学試験（読解） 練習問題
12	日本留学試験（読解） 練習問題
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

配布する資料に沿って、留学試験の問題の効率のよい解き方を解説します。
読解：練習問題を解いて、注目すべきポイントについて話し合います。
記述：練習問題を解いて、より良い文章にするにはどうすればいいか考えます。Word ファイルに入力して完成させます。
※学習進度は変わることがあります。

■予習・復習

予習：指定された部分の解説を読んでおきます。
復習：読解…授業で読んだ文章を読み直して、ポイントを確認します。新しい言葉があれば、覚えます。
記述…重要な表現や構成を覚えます。返却された文章を読み直して、修正された部分を確認し、書き直します。

■成績評価の方法

課題（作文、入力）50%、定期試験　30%、平常点　20%

■教科書・参考書

『改訂版　読むトレーニング　基礎編／応用編　日本語留学試験対応』（スリーエーネットワーク）
『日本留学試験対策　記述問題テーマ 100　基礎編／完成編』（凡人社）
『日本留学試験　試験問題』（日本学生支援機構）　等　からコピー配布

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度春学期講義要項

■日本語演習科目	日本語演習Ⅳ（日本語スキルアップ③）	金　曜日	3　限	履修可能クラス	4・5・6・7組
■授業の目的及び到達目標				担当：開　めぐみ	

日本で就職活動をする際に求められる知識や実践的な日本語コミュニケーション能力を身につけることを目的とします。具体的には、基本的なビジネスマナーを学び、就職面接や代表的な仕事の場面で敬語を含んだ対話ができ、履歴書・メールのやり取りなど定型書式や適切な表現が使えるようになることを到達目標とします。

■授業計画

1	ガイダンス（授業の進め方、予習・復習、成績評価の方法について）自己紹介　敬語①
2	自己分析①　敬語②　自己紹介文
3	自己分析②　自己アピール・履歴書
4	ビジネスメールの基本　問い合わせメール・電話
5	志望動機を書く　敬語③　日程調整メール・電話
6	面接を受ける①　ビジネスマナー④
7	面接を受ける②　ビジネスマナー①
8	模擬面接
9	面接結結果問い合わせメール・電話
10	面接結果返信メール　ビジネスマナー②
11	ビジネス電話会話の基本　アポイントを取る（自社・他社）
12	職場の会話　ビジネスマナー③
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

授業前半では、ビジネス場面で使われる語彙・文章表現を学び、後半は実践力をつけるための運用練習をします。また、日本語の知識だけでなく、日本語ビジネス習慣や文化について短い読み物を読み、ディスカッションを通じて理解を深め、異文化適応の方法について考察します。個人・グループ活動を多くするため、学生には協力的な態度と積極的な参加が求められます。＊授業内容および進度は、学生の理解度やレベルによって変更することがあります。

■予習・復習

予習：授業計画を確認して、その日の授業で扱うプリントの語彙・表現の意味を確認しておいてください。
復習：授業で学習し新しい言葉や言い回しを使って課題に取り組むこと。また適切な場面で実際に使ってみましょう。

■成績評価の方法

授業への参加度30%、提出物・授業内課題（クイズ・発表を含む）40%、定期試験30%

■教科書・参考書

指定しません。必要なものは毎回プリントを配布します。
参考書：①『外国人留学生のための就職活動テキスト』（株インプレス）　②『伸ばす！就活能力・ビジネス日本語力』（国書刊行会）　③『外国人留学生のための面接試験A to Z』（文化外国語専門学校）

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度春学期講義要項

■選択必修科目	日本語演習Ⅴ文型運用力養成①	火　曜日	3　限	履修可能クラス	1～3組
■授業の目的及び到達目標				担当：岡田　幸彦	

初級レベルの日本語の文法知識を確実に身につけ、使えるようになることを目的とします。具体的には、日本語能力試験N4に合格するための文法知識を習得し、学習した文型や表現を使って、日常生活で必要な簡単な会話をしたり、簡単な情報を聞き取ったり、短い文を作って書いたりできるようになることを到達目標とします。

■授業計画

1	「こ・そ・あ・ど」のことばを使う文型を練習します。
2	「人に　〇〇を　あげる／もらう／くれる」「～てあげる／もらう／くれる」を使う文型を練習します。
3	「～てはいけない」「～なければならない」「～ても／～なくてもいい」「～できる」を使う文型を練習します。
4	「(～た)ことがある」「～く／～になる」を使う文型を練習します。
5	「どんなに／いくら～ても」「～まで／～までに」「あいだ／～あいだに」を使う文型を練習します。
6	「～(よ)う」「～(よ)うと思う」「～つもりだ」を使う文型を練習します。
7	「～かもしれない」「～ほうがいい」「～たらどう／いかがですか」を使う文型を練習します。
8	「～て／～ないで」「～で」「～ので」を使う文型を練習します。
9	「～だろう」「～そうだ」「～らしい」を使う文型を練習します。
10	「～てくる」「～ていく」「～つづける」「～おわる」「～だす」を使う文型を練習します。
11	「～たら」「～のに」を使う文型を練習します。
12	「～(さ)せる」(使役)「～なさい」(命令)を使う文型を練習します。
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

毎回問題練習と答え合わせ、説明をします。
時々小テストもする予定です。

■予習・復習

予習は、配られた問題に答えておいてください。
復習は、その日の大切なこと、ポイントを整理しておいてください。

■成績評価の方法

課題(授業中のクイズ・発表を含む)30%、定期試験50%、平常点20%

■教科書・参考書

必要な内容をプリントにして配ります。
参考書として、『JLPT文法N4 ポイント&プラクティス』(スリーエーネットワーク)他を使います。

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度春学期講義要項

■選択必修科目	日本語演習Ⅴ 文型運用力養成②	火　曜日	3　限	履修可能 クラス	3～5組
■授業の目的及び到達目標				担当：田中　優季	

この授業は、中級レベル（N3／N2）の日本語文法の習得を目的とします。具体的には、日本語能力試験（JLPT）に合格するために必要な文法知識を学習すること、アウトプット型の活動を通して、実際の様々な生活場面において、学習した文型・表現を運用できるようになることを到達目標とします。

■授業計画

1	ガイダンス（授業の進め方、予習・復習、成績評価の方法について）、実力テスト
2	N3テキスト 第1回、第2回、第3回
3	N3テキスト 第4回、第5回、まとめ1
4	N3テキスト 第6回、第7回、第8回
5	N3テキスト 第9回、第10回、まとめ2
6	N3テキスト 第11回、第12回、第13回
7	N3テキスト 第14回、第15回、まとめ3
8	N3テキスト 第16回、第17回、第18回
9	N3テキスト 第20回、第21回、まとめ4
10	N3模擬試験と解説
11	N2テキスト ドリル＆模擬試験
12	N2テキスト ドリル＆模擬試験
13	期末試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

授業の前半は、宿題の答え合わせ、解説をします。後半は、練習問題と学習した文型を使ったアウトプットの活動をおこなう予定です。授業の終わりに、次の週のプリントを配布します。プリントの「練習1」は宿題です。資料（リストパート）を読んでから、問題を解いて来てください。　※授業計画、方法は状況によって変わることがあります。

■予習・復習

予習：次の週のプリントの「練習1」をやってきてください。必ず資料（リストパート）を読んでから問題を解いてください。

復習：JLPT や学期末の試験に向けて、授業で学習した文型を復習してください。また、学習した文型を日常生活で積極的に使いましょう。

■成績評価の方法

課題（授業中のクイズ・発表を含む）　20%、定期試験　60%、平常点　20%

■教科書・参考書

授業ではプリントを配布します。

参考書：『JLPT文法N3 ポイント＆プラクティス』スリーエーネットワーク、『日本語能力試験N3直前対策ドリル&模試 文字・語彙・文法』J リサーチ出版、『日本語能力試験N2直前対策ドリル&模試 文字・語彙・文法』J リサーチ出版

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度春学期講義要項

■日本語演習科目	日本語演習V（文法運用力養成③）	火曜日	3限	履修可能クラス	5・6・7組
■授業の目的及び到達目標				担当：開　めぐみ	

正確な日本語の運用の基礎となる上級文法（N2/N1 レベル相当）のポイントの整理と強化を目指すクラスです。演習を通して、日常生活の様々な場面で、会話やスピーチ、読解の中で使われる使用頻度の高い文法項目をきちんと把握し、使用場面にふさわしい日本語運用能力を身につけることを到達目標とします。

■授業計画

1	ニュースで使われる文型
2	スピーチで使われる文型
3	物語で使われる文型
4	実用書で使われる文型
5	ドラマのシナリオで使われる文型
6	スピーチで使われる文型
7	スピーチで使われる文型
8	小説で使われる文型
9	講演で使われる文型
10	論説文で使われる文型
11	論説文で使われる文型
12	N1文法復習
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

授業の流れは次の通りです。1）実際にその文法がどのように使われているかを知る。2）基本的な練習を通してその文法の使い方に慣れる。3）まとめの問題で運用練習をする。補足練習として N2/N1対策本から抜粋した練習問題にも取り組みます。

＊授業内容および進度は、学生の理解度やレベルによって変更することがあります。

■予習・復習

予習：授業計画を確認して、その日の授業で扱う語彙・表現の意味を確認しておく。宿題の問題を解いておく。

復習：授業で学習した文法項目の理解を確認し自分なりにまとめてみる。適切な場面で実際に使ってみる。

■成績評価の方法

授業への参加度30%、提出物・授業内課題（クイズ・発表を含む）40%、定期試験30%

■教科書・参考書

指定しません。必要なものは毎回プリントを配布します。

参考書：『TRY!日本語能力試験N1−文法から伸ばす日本語』（アスク出版）　他 N2/N1受験対策本

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度春学期講義要項

■選択必修科目	日本語演習ＶＩ	火　曜日	3　限	履修可能クラス	1,2,3組
■授業の目的及び到達目標				担当：李　維涛	

生活の中で必要となる「書く活動」を通じ、基礎的なコンピューターのライティングリテラシーを身につけ、アウトプット力を高めることを目的とします。具体的には、生活の中で必要な書類や手紙の書き方、履歴書、SNS の書き方などを学び、PPT を作って発表するなどの活動を行います。生活の中で必要な書類への記入が楽にでき、コンピューターなどを使用し、身近な話題や興味・関心があることについて書けるようになることを到達目標とします。

■授業計画

1	オリエンテーション(授業内容・授業の進め方・評価の仕方など) ウォームアップ(「私の履歴書」プロフィール篇を作成)
2	書類の記入(1):学校で（入学願書・奨学金の応募書類・証明書の発行申請など）
3	書類の記入(2):入国管理局や大使館で（ビザの申請・資格外活動許可申請・在留期間更新申請など）
4	書類の記入(3):毎日の生活で（紛失届・再配達申請・転出/転入届・病院の問診票など）
5	SNS投稿(Instagram, Facebook など)
6	履歴書(1) プロフィール、趣味・特技、長所・短所など
7	履歴書(2) 志望動機、自己PR　+ 活動
8	メール(1) 先生やクラメートへ:学校を休む・遅刻の連絡、受験・昇級・進路などの相談
9	メール(2) 保証人へ:感謝・相談など
10	PPT でポスターを作成(PPT の使い方など)・期末発表のテーマ決め
11	期末プレゼンテーション[前半]・講評&フィードバック
12	期末プレゼンテーション[後半]・講評&フィードバック
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

前半は留学生の日常生活に必要な、様々な場面での書類を、教員が用意して配布する。それらを実際に記入する形で、分野別・場面別に必要なことばや表現を学習し、身につけていく。後半はパソコンを使い、日本語の入力の仕方、PPT の使い方などを学習し、期末はこれらを活かして、発表活動を行う。

「書く」だけではなく、口頭表現も重要視し、発音練習もたくさん取り入れる。

■予習・復習

予習:授業で配布した単語リストを使って、次の週の授業日までに、単語を学習して覚えて来る。
復習:授業で学習した言葉や構文パターンを整理・確認し、身につけてみる。

■成績評価の方法

課題(授業中のクイズ・発表を含む)　85%、平常点　15%

＊定期試験はありません。代わりに、期末にプレゼンテーションを行う。

■教科書・参考書

授業時に配布する。
実生活での様々な書類・『留学生のための日本語で学ぶパソコンリテラシー』(共立出版)など。

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度春学期講義要項

■選択必修科目	日本語演習Ⅵ（文章表現力養成②）	火　曜日	3　限	履修可能クラス	４組～７組
■授業の目的及び到達目標				担当：浅井　尚子	

大学進学を希望する学生を対象に、大学に合格できる日本語力を身につけ、大学進学後に必要な情報検索の力・論理的な文章を書く力を身につけることを目的とします。具体的には、志望理由書や入学願書を準備し、面接練習を行います。また、進学後、毎日の授業についていけるように、総合的な N2 レベル以上の日本語力を身につけることを到達目標とします。

■授業計画

1	ガイダンス（授業の進め方、成績評価の方法について）・自己紹介　・自分の将来について考える
2	日本で勉強したいことを考え、学部・学科について知る①　・情報の検索の仕方を学ぶ①　・N2試験対策
3	日本で勉強したいことを考え、志望校・学部・学科について知る②　・情報検索の仕方を学ぶ②　・N2試験対策
4	志望理由を考える①　・フォーマルな書き方を学ぶ①　・N2試験対策
5	志望理由を考える②　・フォーマルな書き方を学ぶ②　・N2試験対策
6	学習計画・卒業後の進路について考える①　・専門に関することば①　・N2試験対策
7	学習計画・卒業後の進路について考える②　・専門に関することば②　・N2試験対策
8	学費等経済的な費用や奨学金について調べる　・N2試験対策
9	試験の種類、日程について調べる　・N2試験対策
10	試験の科目や必要な資格について調べる　・N2試験対策
11	オープンキャンパスに参加する①　・質問リスト作成 ①　・オープンキャンパスの流れ
12	オープンキャンパスに参加する②　・質問リスト作成 ②　・オープンキャンパスでのチェック事項
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

自分の課題を作り、課題が達成できたか、1週間ごとに確認します。最初にコンピューターを使って大学進学に必要な情報検索の仕方を学びます。志望大学が決まったら、自分の志望理由を具体的考え、文章にします。その他、受験に必要な資格や費用などについて調べ、オープンキャンパスに参加します。同時に大学の勉強についていけるように N2 レベルの問題について繰り返し練習します。※学習進度は、変わることがあります。

■予習・復習

予習：毎回、自分の課題を考え、文章にしてきてください。自分の将来のプランを考えてください。
復習：自分の課題を振り返り、確認してください。改善点を考えてください。

■成績評価の方法

課題（授業中のクイズ・発表を含む）30%、定期試験60%、平常点10%

■教科書・参考書

プリント配布
※参考書 『進学する留学生のための面接』（JASSO 日本語教育センター）『これ1冊　N2』（アスク）
『全科目攻略! JLPT日本語能力試験ベスト総合問題集N2』（ジャパンタイムズ）
その他　プリントを配付します。

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度春学期講義要項

■選択必修科目	日本語演習Ⅵ 6 文章表現力養成③ 口頭・文章表現３ （大学院進学希望者向け）	火　曜日	3　限	履修可能 クラス	4-7組
■授業の目的及び到達目標				担当：藤田　守	

本科目の目的は、大学院の進学に必要とされる論理的な日本語力や大学院生活におけるコミュニケーション能力を身につけることです。具体的な到達目標は、大学院で使用する高度な日本語を理解すること、自分の研究や専門について自分で情報収集すること、しっかりとした構成で研究計画書や志望理由書にまとめながら、自分の考えを口頭で説明するアウトプット力を身につけることです。

■授業計画

1	オリエンテーション（授業進め方・評価）進学希望調査
2	大学院教育の理解・研究計画書について・図書館ツアー
3	個別指導1:先行研究の選定
4	個別指導2:先行研究の選定
5	個別指導3:研究対象の選定
6	個別指導4:研究対象の選定
7	個別指導5:大学院の選定
8	個別指導6:大学院の選定
9	個別指導7:研究計画書の枠組の作成
10	個別指導8:研究計画書の記述
11	個別指導9:研究計画書の書き直し
12	個別指導10:研究計画書の完成
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

第1．2週は講義形式で、大学院の大学との違いや大学院で何を学ぶかを理解します。第3週以降は、自分の研究計画書を完成させるため、個別に先行研究を調査して、研究対象を定めていきます。また、授業外活動として、図書館での情報収集活動について学びます。定期試験では、研究計画書の内容について、口頭でプレゼンテーションできるか確認します。

■予習・復習

予習は特に必要ありませんが、復習として毎回課題が出ます。その課題を通して、研究計画書の項目を一つ一つ書き進めていきます。大学院で何をするのか、何を準備するのかはっきり分からない場合でも、授業に参加することで理解が進みます。

■成績評価の方法

課題（授業中のクイズ・発表を含む） 50%、定期試験　30%、平常点　20%

■教科書・参考書

教科書:オリジナルテキスト PPT を使用します。

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度春学期講義要項

■選択科目	科目名：　化学A	月　曜日	4　限
■授業の目的及び到達目標		担当：　西田生郎	

高等学校の化学の教科書の章立てに沿って授業を行い、化学の基礎的知識を習得させる。また、日本語能力試験の化学の問題や大学入試問題にとりくみ、大学受験に必要な化学の知識を学習させ、入試を突破できる実力を養成する。

■授業計画

1	化学と人間生活
2	物質の成分と構成元素
3	原子の構造と元素の周期律
4	化学結合(1)
5	化学結合(2)
6	物質の変化−物質量と化学反応式
7	酸と塩基(1)
8	酸と塩基(2)
9	酸化還元反応(1)
10	酸化還元反応(2)
11	酸化還元反応(3)
12	さらなる知識と理解のために
13	授業中試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

授業内容のPDFを配布し、スクリーンに投影しながら授業を進め。必要に応じてホワイトボードを使用する。
学生の授業内容の習熟度に応じて、適宜、EJU や大学入試問題にも取り組む。

■予習・復習

PDF資料を配付するので、予習復習に活用する。特に、復習で問題はかならず解くこと。

■成績評価の方法

学習態度25%、定期試験(授業中試験)の成績75%で評価する。

■教科書・参考書

教科書は特に指定しないが、高等学校の「化学の基礎」および「化学」を参考書とする。

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度春学期講義要項

■選択科目	科目名：総合科目Ⅰ	月　曜日	4　限
■授業の目的及び到達目標		担当：近藤　泉子	

日本留学生試験の総合科目受験に必要な知識（政治・経済）を身につけることを目標としています。秋学期と合わせて受講することで主要範囲を学習できるように授業計画を立てています。日本留学試験受験希望者以外でも、社会科の知識を深めたい人や日本語の使用機会を増やしたい人は遠慮なく受講して下さい。

■授業計画

1	ガイダンス（授業の進め方や評価方法などについて）、日本留学試験（総合科目）について　経済体制
2	価格と市場
3	景気変動
4	経済成長
5	民主主義の原理
6	議会と政府
7	選挙と政治参加
8	これまでのまとめとクイズ
9	憲法と人権
10	中央と地方
11	国連と地域統合
12	国際経済体制と課題
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

毎回の授業は学習項目の導入を兼ねたスピーチ（話す）、教員による説明（聞く・書く）、問題練習（読む・書く）と進みます。ですから遅刻をしてしまうと、基本の部分が理解出来ないままに問題練習に入り、効果無く授業を終えることとなります。注意してください。講義と問題練習は、過去に出題された内容を中心として実施します。日本語のレベルが下のクラスの学習者のことも考えて、漢字にフリガナのついた教材を使用し、定期試験の大部分は授業中に練習をした問題とします。 ※学習進度は、学生の理解度やレベルによって、変わることがあります。

■予習・復習

日本留学試験では、過去問題に似た問題も毎年出題されていますので、受験希望者は問題練習を繰り返し復習するようにしてください。

■成績評価の方法

課題等（授業中のクイズ・発表を含む）30%、定期試験40%、平常点30%
授業への真面目な取り組み、出席状況（病気や諸事情以外の、遅刻の厳禁）や、定期試験から総合的に判定します。

■教科書・参考書

教科書：教員配布のプリント教材。
参考書：適宜指示します。

拓殖大学別科日本語教育課程 2025度春学期講義要項

■選択科目	科目名：初級英語	月曜日	4限
■授業の目的及び到達目標		担当：豊田 香	

この授業は、英語初心者が基礎的な英語文法を習得することが目的です。大学で、単位取得ができるための基礎を
学びます。英語を基礎から学びたい人が履修できます。また、別科拓大推薦希望者のうち、英語クラス分け試験の結果で指名された学生は、この科目を履修することが強く勧められます。TOEIC300点を目指します。

■授業計画

1	Unit 59: I-my [my family]
2	Unit 60: my/his/ theirs [Sunday-Saturday]
3	Unit 61: whose? Mine [January-December]
4	Unit 62: I-my-me-mine [1-31]
5	Unit 63: myself [first, thirty-first]
6	Unit 64: Kate's camera [today-tomorrow]
7	Unit 65: a/an, Unit 66: trains (singular/plural)
8	Unit 67: countable/uncountable
9	Unit 68: a cake / some cakes / some cake
10	Unit 69-70: a/an, the
11	Unit 71: go to work / go home / go to the cinema
12	Review
13	授業中試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

授業の前半に文法問題を解説し問題を解きます。後半は、簡単な英語を書いて、英語に慣れてもらいます。
＊授業方法や授業計画は、人数や英語レベル等で調整します。

■予習・復習

予習として毎回出課題を完成させます。その課題を授業内で確認しフィードバックを受けます。
復習として、類似課題が出されます。

■成績評価の方法

課題等（授業中のクイズ・発表を含む）50%、定期試験 20%、平常点 30%

■教科書・参考書

・Essential Grammar in USE (by Cambridge) [ISBN 978-1-107-48053-7]

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度春学期講義要項

■選択科目	科目名：総合科目Ⅱ	火　曜日	4　限
■授業の目的及び到達目標		担当：近藤　泉子	

日本留学生試験の総合科目受験に必要な知識（地理・歴史）を身につけることを目標としています。秋学期と合わせて受講することで主要範囲を学習できるように授業計画を立てています。日本留学試験受験希望者以外でも、社会科の知識を深めたい人や日本語の使用機会を増やしたい人は遠慮なく受講して下さい。

■授業計画

1	ガイダンス（授業の進め方や評価方法などについて）、日本留学試験（総合科目）について　地球儀と地図
2	標準時と時差
3	気候⑴気候要素
4	気候⑵気候区分
5	幕藩体制の確立
6	開港と日本の近代化
7	産業革命
8	これまでのまとめとクイズ
9	アメリカ独立とフランス革命
10	第一次世界大戦と第二次世界大戦
11	地形⑴大地形
12	地形⑵小地形
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

毎回の授業は学習項目の導入を兼ねたスピーチ（話す）、教員による説明（聞く・書く）、問題練習（読む・書く）と進みます。ですから遅刻をしてしまうと、基本の部分が理解出来ないままに問題練習に入り、効果無く授業を終えることとなります。注意してください。講義と問題練習は、過去に出題された内容を中心として実施します。日本語のレベルが下のクラスの学習者のことも考えて、漢字にフリガナのついた教材を使用し、定期試験の大部分は授業中に練習をした問題とします。 ※学習進度は、学生の理解度やレベルによって、変わることがあります。

■予習・復習

日本留学試験では、過去問題に似た問題も毎年出題されていますので、受験希望者は問題練習を繰り返し復習するようにしてください。

■成績評価の方法

課題等（授業中のクイズ・発表を含む）30%、定期試験40%、平常点30%
授業への真面目な取り組み、出席状況（病気や諸事情以外の、遅刻の厳禁）や、定期試験から総合的に判定します。

■教科書・参考書

教科書：教員配布のプリント教材。
参考書：適宜指示します。

拓殖大学別科日本語教育課程 2025年度春学期講義要項

■選択科目	科目名：英語演習Ⅰ（1組）	火曜日	4限
■授業の目的及び到達目標		担当：豊田 香	

この授業は、英語初級者向けの基礎文法を中心に学びます。大学での単位取得で必要なレベル（TOEIC 300-450）を目指します。【初級英語】とこの科目【英語演習Ⅰ（1組）】で、1冊の文法テキストを全部学びます。基礎から学びたい学生は、両方を履修することをお勧めします。また TOEIC受験で 300-450点取得を目指す学生は、金曜日【英語演習Ⅱ（1組）】と合わせて履修することをお勧めします。

■授業計画

1	Unit 1 & 2: am/is/are
2	Unit 3 & 4: I am doing/ Are you doing? (present continuous)
3	Unit 5 & 6 & 7: I like / Do you like? / I don't like (present simple)
4	Unit 8: I am doing / I do
5	Unit 9 & 10: I have / I have got / was / were
6	Unit 11: worked / went etc. (past simple)
7	Unit 12: I didn't work / Did you work?
8	Unit 13 & 14: I was doing / I did (past continuous/past simple)
9	Unit 15 & 16: I have done/ I've already (present perfect)
10	Unit 17 & 18: have you ever ?/ How long gave you?
11	Unit 19: for/since/ago
12	Review
13	授業中試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

最初に教科書を解説して、次に問題を解きます。＊授業方法は、人数や英語レベル等で調整します。

■予習・復習

予習として毎回出される課題を完成させます。その課題を授業内で確認しフィードバックを受けます。

■成績評価の方法

課題等（授業中のクイズ・発表を含む）50%、定期試験 20%、平常点 30%

■教科書・参考書

・Essential Grammar in Use Fourth Edition (by CAMBRIDGE) [ISBN 978-1-107-48053-7]
・追加教材は教室内で配布します。

拓殖大学別科日本語教育課程 2025年度春学期講義要項

■選択科目	科目名：英語演習Ⅰ（2組）　TOEIC Listening & Reading	火曜日	4限
■授業の目的及び到達目標		担当：ビオラ [Biola]	

この授業は、英語中上級者が大学(院)入試で必須なTOEICで、中級の得点(TOEIC450～550点)を目指すことが目的です。英語で必要な4技能のうち、主に文法・読解とリスニングを中心に学びます。大学(院)やアルバイトで必須な語彙力を身につけ、発音ができるようになることを目指します。＊授業方法は、人数で調整します。

■授業計画

1	Unit 1 Dining Out
2	Unit 2 General Business
3	Unit 3 Manufacturing
4	Unit 4 Finance and Budgeting
5	Unit 5 Communication
6	Unit 6 Health
7	Unit 7 Purchasing
8	Unit 8 Personnel
9	Unit 9 Corporate Development
10	Unit 10 Entertainment
11	Unit 11 Technical Areas
12	Unit 12 Offices
13	授業内試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

授業はPart 1-4のリスニングとPart5-7の文法・読解問題を解いて、解説を受けます。英語での授業になるので、聞き取りの練習になります。学生の習熟度により、内容とスピードは調整します。

■予習・復習

予習として毎回課題を完成させます。その課題を授業内で確認します。復習として、課題を提出してもらいます。

■成績評価の方法

課題等(授業中のクイズ・発表を含む) 30 %、定期試験 40 %、平常点 30 %

■教科書・参考書

BEST PRACTICE FOR THE TOEIC L&R TEST Pre-Intermediate [ISBN 978-4-7919-7313-2] by SEIBIDO

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度春学期講義要項

■選択科目	科目名：生物	水　曜日	3　限
■授業の目的及び到達目標		担当：　中名生幾子	

大学入学前に必要な生物の基礎知識を学び、日本留学生試験に必要な知識を身につける。
秋学期と合わせて受講することで全範囲を学習できるようにする。

■授業計画

1	細胞
2	核、中心体と細胞分裂
3	染色体と DNA複製
4	生殖と減数分裂
5	遺伝
6	1週から5週までの復習
7	DNA からタンパク質へ
8	生体膜とタンパク質
9	タンパク質の働き、酵素と代謝
10	ミトコンドリアと呼吸
11	葉緑体と光合成
12	7週から11週までの復習
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

テキストを読み合わせながら、教師が学習範囲の講義を行う。学習者はわからない点について自由に質問、発言できる。

■予習・復習

予習：テキストのあらかじめ指定した次回の学習範囲に目を通し、わからない言葉をチェックしておく。
復習：授業のまとめのプリントに書き込みを行う。わからなかったところは次の授業で質問するようにする。

■成績評価の方法

課題等（授業中のクイズ・発表を含む）　0　%、定期試験　70　%、平常点　30　%

■教科書・参考書

高等学校「生物」（啓林館）　ほか

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度春学期講義要項

■選択科目	科目名：英語演習II	金　曜日	4　限
■授業の目的及び到達目標		担当：　三ツ石 直人	

この授業は、英語初級者が大学必修英語で問題なく単位取得できるレベル（TOEIC400点）の英語能力を修得することが到達目標です。主に、大学初級レベルのテキストを使って、英文読解と音読ができるようになることを目指します。英語の基礎となる語句や文法を身につけることが目的となります。

■授業計画

1	授業ガイダンス・Unit 1 Getting into Hot Water　（本文の読解と音読・英作文）
2	Unit 2 Tips for University Students　（本文の読解と音読・英作文）
3	Unit 3 What happens to our Trash?　（本文の読解と音読・英作文）
4	Unit 4 To Your Health　（本文の読解と音読・英作文）
5	Unit 5 Hello Cutie　（本文の読解と音読・英作文）
6	Unit 6 Thank You John and Christopher　（本文の読解と音読・英作文）
7	Unit 7 Street Fashion & Fast Fashion　（本文の読解と音読・英作文）
8	Unit 8 It’s in the Ben　（本文の読解と音読・英作文）
9	Unit 9 Cars of the future　（本文の読解と音読・英作文）
10	Unit 10 The Tsukiji Fish Market　（本文の読解と音読・英作文）
11	Unit 11 A Nice Hotel or an Ice Hotel　（本文の読解と音読・英作文）
12	Unit 1 から Unit 11 までの語彙と文法の総復習
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

・英語の語句の修得（主に本文中に出てくる英単語を、日本語やより平易な英語に置き換える練習をします）
・英語の語句の発音練習（語句の意味を覚えるのと同時に、正しい発音・強勢位置を身に着けられるように、CD の音声の後に続いて繰り返し発音練習します）
・教科書の本文を読みながらの読解・音読練習（語句の意味はもちろん、基礎的な英文法の使い方を解説します）

■予習・復習

予習：事前に教科書内に出てくる、わからない語句の意味や発音を調べておく。
復習：各回に扱った単元の語句や本文の音読練習。特に意味のわからなかった文は、暗唱できるくらいまで、繰り返し読む。

■成績評価の方法

課題等（授業中のクイズ・発表を含む）50%、定期試験　30%、平常点　20%

■教科書・参考書

『Reading Sense—大学英文法と読解の基本演習』（出版社：金星堂, ISBN: 978-4-7647-3911-6）
その他、授業中に使用する資料を、教員が作成して配布することがあります。

拓殖大学別科日本語教育課程 2025年度春学期講義要項

■選択科目	科目名：英語演習Ⅱ（2組）	金曜日	4限
■授業の目的及び到達目標		担当：豊田 香	

この授業は、英語中上級者が、大学（院）、English-Track入試などで必須な TOEIC/TOEFL の高得点取得（TOEIC L&R 600-800 点/TOEFL S&W iBT80 以上）を目指すことが目的です。更に、大学（院）やアルバイトんなどで使う英日通訳スキルの基礎を身につけ、英語と日本語の文化的な言語使用の違いなどを学びます。

■授業計画

1	Unit 1 Travel (Part 1-4/5-7)
2	Unit 2 Meetings and Seminars (Part 1-4/5-7)
3	Unit 3 Restaurants (Part 1-4/5-7)
4	Unit 4 Company Recruitment (Part 1-4/5-7)
5	Unit 5 Entertainment and Leisure (Part 1-4/5-7)
6	Unit 6 Purchasing 1-4/5-7)
7	Unit 8 Health (Part 1-4/5-7)
8	Unit 9 IT and Technology (Part 1-4/5-7)
9	Unit 10 Shopping (Part 1-4/5-7)
10	Unit 11 Advertising (Part 1-4/5-7)
11	Unit 12 News and Events (Part 1-4/5-7)
12	Unit 13 Office (Part 1-4/5-7)
13	授業中試験と学期の学習のまとめ Unit 7 & 14 Review

■授業の方法

授業の前半に TOEIC Listening (Part1-4)と Reading (Part5-7)を解きます。後半には TOEFL Speaking と Writing に対応した学習を行い、特に Academic Essay の英文構成について学びます。最後に、クラス内でプレゼンテーションをします。＊授業方法や授業計画は、人数や英語レベル等で調整します。

■予習・復習

予習として毎回出される課題を完成させ、その課題を授業内で確認しフィードバックします。復習課題が出されます。

■成績評価の方法

課題等（授業中のクイズ・発表を含む）50%、定期試験 20%、平常点 30%

■教科書・参考書

・COMPREHENSIVE PRACTICE FOR THE TOEIC L&R TEST (SEIBIDO) [ISBN 978-4-7919-7314-9]
・追加教材は教室内で配布します。

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度春学期講義要項

■選択科目	科目名：理系数学	土　曜日	1　限
■授業の目的及び到達目標		担当：　本田　龍央	

目的:日本の高校で履修する数学(数学Ⅰ、数学A、数学Ⅱ、数学B)の内容を学習する。
目標:教科書にある演習問題、または日本留学試験(コース2)の基本的な問題が解けるようになる事。

■授業計画

1	数と式(1)　式の展開・因数分解(1)　および演習
2	数と式(2)　因数分解(2)・不等式　および演習
3	2次関数(1)　2次関数のグラフとその操作　および演習
4	2次関数(2)　2次関数のグラフとその操作　および演習
5	図形と計量(1)　三角比　および演習
6	図形と計量(2)　図形の計量　および演習
7	場合の数と確率　および演習
8	図形の性質　および演習
9	いろいろな式　および演習
10	図形と方程式　および演習
11	指数・対数関数(1)　指数関数　および演習
12	指数・対数関数(2)　対数関数　および演習
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

最初の 10～20分で解説をし、そのあとで演習する。
授業内で終わらなかった演習問題を宿題とし、翌週の授業前に Teams を使って提出してもらう。

■予習・復習

予習:教科書の説明を事前に読んでおく事
復習:授業時間に行った演習をもう 1回やる事。

■成績評価の方法

課題等(授業中のクイズ・発表を含む)　60%、定期試験　30%、平常点　10%

■教科書・参考書

日本留学試験対策　速攻　数学コースⅡ　(市進ウイングネット編集　凡人社 2013)

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度春学期講義要項

■選択科目	科目名：物理	土曜日	2限
■授業の目的及び到達目標		担当：福島 理	

日本留学試験（物理）の受験対策の授業です。日本留学試験（物理）の問題が解けるレベルに到達することを目標とします。

■授業計画

1	ガイダンス（授業の進め方や成績評価方法などについて）、日本留学試験（物理）の過去の問題（運動方程式、放物運動、力のつり合い）を解いてみます。
2	日本留学試験（物理）の過去の問題（弾性衝突、ばね振り子、非弾性衝突）を解いてみます。
3	日本留学試験（物理）の過去の問題（鉛直投げ上げ、比熱、気体の質量）を解いてみます。
4	日本留学試験（物理）の過去の問題（斜方投射、等加速度直線運動、運動量保存則）を解いてみます。
5	日本留学試験（物理）の過去の問題（ローレンツ力、運動方程式、等加速度直線運動）を解いてみます。
6	日本留学試験（物理）の過去の問題（光の干渉、電位、コンデンサー）を解いてみます。
7	日本留学試験（物理）の過去の問題（オームの法則、電流計、電流がつくる磁場）を解いてみます。
8	日本留学試験（物理）の過去の問題（振り子の張力、比熱、気体がする仕事）を解いてみます。
9	日本留学試験（物理）の過去の問題（理想気体、正弦波、ドップラー効果）を解いてみます。
10	日本留学試験（物理）の過去の問題（光の屈折、電場、電気力がする仕事）を解いてみます。
11	日本留学試験（物理）の過去の問題（コンデンサー、直流回路、摩擦力）を解いてみます。
12	日本留学試験（物理）の過去の問題（電流間にはたらく力、放射性元素の半減期）を解いてみます。
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

教師が日本留学試験（物理）の過去の問題を解くための知識を示します。そして学習者が問題を解いてみます。

※学習進度は、学生の理解度やレベルによって、変わることがあります。

■予習・復習

予習は配布する問題に目を通すこと。

復習は授業で扱った問題をもう一度解いてみること。

■成績評価の方法

課題等（授業中のクイズ・発表を含む）10%、定期試験80%、平常点10%

■教科書・参考書

教科書：プリントを使用します。

参考書：らくらくマスター物理基礎・物理 六訂版 河合塾物理科 ISBN コード：978-4-7772-2597-2 税込定価：990円

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度春学期講義要項

■選択科目	科目名：文系数学	土　曜日	2　限
■授業の目的及び到達目標		担当：　本田　龍央	

目的:日本の高校で履修する数学(数学Ⅰ,数学A)を学習する。
目標:教科書にある演習問題、または日本留学試験(コース1)の基本的な問題が解けるようになる事。

■授業計画

1	数と式(1)　指数法則・式の展開　および演習
2	数と式(2)　指数法則・式の展開　および演習
3	数と式(4)　数・根号の計算・式の値、平方数の計算　および演習
4	数と式(5)　不等式　および演習
5	2次関数(1)　平方完成・2次関数のグラフ　および演習
6	2次関数(2)　2次関数のグラフと式の操作　および演習
7	2次関数(3)　最大・最小問題　および演習
8	2次関数(4)　方程式・不等式　および演習
9	2次関数(5)　応用問題　および演習
10	集合と論理(1)　集合　および演習
11	集合と論理(2)　命題　および演習
12	数と式(4)　数・根号の計算・式の値、平方数の計算　および演習
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

最初の 10～20分で解説をし、そのあとで演習する。
授業内で終わらなかった演習問題を宿題とし、翌週の授業前に Teams を使って提出してもらう。

■予習・復習

予習:教科書の説明を事前に読んでおく事
復習:授業時間に行った演習をもう1回やる事。

■成績評価の方法

課題等(授業中のクイズ・発表を含む)　60%、定期試験　30%、平常点　10%

■教科書・参考書

ハイレベル数学・コース1 （田辺律子著　アスク出版 2017）

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度秋学期講義要項

■必修科目	1　組	クラスゼミナール	木　曜日	1　限	目標レベル	A1-A2 初級
■授業の目的及び到達目標					担当：中野二郎	

日本社会、文化、また学生生活に適応するためのノウハウを身につけることを目的とします。SAのサポートを受けながら、個別面談等で進路・生活相談、指導を行います。研修旅行や別科の行事やその準備もこの授業の中で行います。協働で学習を行い、日本社会や文化、進路について、自分なりの見方でとらえられるようになることを到達目標とします。

■授業計画

1	ガイダンス、アイスプレーキング、個人面談、SA との交流活動
2	個人面談、SA との交流活動、統一試験の心構え
3	統一試験
4	個人面談、SA との交流活動
5	個人面談、SA との交流活動、研修旅行に向けた準備
6	個人面談、SA との交流活動
7	学習についての相談
8	学習についての相談
9	全員面接
10	学習についての相談
11	スピーチ大会
12	スピーチ大会ふりかえり、学期のふりかえり
13	授業中試験とふりかえり

■授業の方法

スチューデントアシスタント(SA)との協働で授業を進めます。個人面談や学校行事の準備などクラスみんなで話し合いながら、学習を進めていきます。※学習進度、授業の方法は、状況によって変わることがあります。

■予習・復習

予習：面談の前に、話したいことを準備しておきましょう。
復習：行事のあとで、どんなことが勉強できたか書いたり話したりできるようにしましょう。

■成績評価の方法

課題（授業中のクイズ・発表を含む）　40%、定期試験20　%、平常点　40%

■教科書・参考書

特にありません。

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度秋学期講義要項

■必修科目	1　組	会話	火　曜日	2　限	目標レベル	A1-A2、初級

■授業の目的及び到達目標	担当：森泉　朋子
この授業では、日常生活に必要な基本的な口頭表現を身につけることを目的とします。よく使われる日常表現と基本的な言い回しを用いて、簡単なやりとりができることや、自分の意思を伝えられることを到達目標とします。	

■授業計画

1		ガイダンス（授業の進め方・評価など）・『大地1』L1・L2会話練習　・自己紹介
2		『大地1』L3・L4 会話練習
3		『大地1』L5・L6 会話練習
4		『大地1』L7・L8 会話練習　・　発表①「わたしの家族」
5		『大地1』L9・L10 会話練習　・　スピーチの構想メモを書く
6		『大地1』L11・L12 会話練習　・　スピーチの原稿を書く
7		『大地1』L13・L14 会話練習　・　スピーチの原稿を書く
8		『大地1』L15・L16 会話練習　・　クラスでスピーチの発表をして、スピーチ大会の出場者を決める（発表②）
9		『大地1』L17・L18 会話練習
10		『大地1』L19・L20 会話練習
11		『大地1』L21・L22 会話練習
12		発表③「わたしの国」
13		定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

前の週に勉強した課のキーセンテンスを使って、ペアワークでパートナーに質問したり、質問に答えたりします。
また、教科書の扉のページの会話を聞いて練習してから、ペアでロールプレイをしたり、発表したりします。
教科書の「使いましょう」の中から選んで、会話の練習をすることもあります。
学期に 3回、それまでに勉強した言葉や文型を使って短い発表をします。※進度は状況により変わることがあります。

■予習・復習

予習：前の週から授業の日までに勉強した課の言葉と文型を復習しておいてください。
復習：ペアワークで言えなかった文型や言葉を練習してください。

■成績評価の方法

課題（授業中のクイズ・発表を含む）　30%、定期試験　60%、平常点　10%

■教科書・参考書

『日本語初級1大地』『日本語初級2大地』（スリーエーネットワーク）

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度秋学期講義要項

■必修科目	1　組	作文	金　曜日	2　限	目標レベル	A1-A2、初級
■授業の目的及び到達目標					担当：浅井　尚子	

日常的で身近な話題について書くための基礎的な日本語を身につけることを目的とします。

基礎的な日本語の語彙や表現を使って、自分や家族、国（町）などを紹介する簡単な文章を書けることを到達目標とします。

■授業計画

1	ひらがなを書く練習　・知っている日本語や教室にあるものの名前をひらがなで書く　・あいさつを書く
2	カタカナを書く練習　・自分や友達の名前をカタカナで書く　・国の名前をカタカナで書く
3	自己紹介を書く　・『大地』L4　使いましょう（わたしの一日）
4	形容詞を使って書く　・『大地』L7（わたしの国・出身地）
5	「～あります/～います」を使って、「わたしの部屋」について書く・『大地』L8　使いましょう（わたしのうち）
6	『大地』12　使いましょう（わたしの週末）　・縦書きと原稿用紙の使い方
7	『大地』14　使いましょう（わたしの趣味）　・修了作文のテーマ考える
8	『大地』16　使いましょう（わたしの家族）　・修了作文を書く
9	『大地』18　使いましょう（わたしの経験）　・書いた作文をペアで読み合う　・修了作文を書き直す
10	『大地』19　使いましょう（わたしの旅行）　・修了作文を仕上げる
11	『大地』まとめ4　（わたしの夢）　・修了作文を発表する
12	冬休み・春休みの計画を立てて、作文に書く　・試験の練習
13	授業中試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

メインテキスト『大地』の「使いましょう」から書くタスクを選んで、書く練習をします。簡単なことばで文章を書く練習をして、少しずつ長く、まとまりのある文を書けるように練習をします。書いた文を友だちと読み合って、フィードバックします。毎回、授業の始めにディクテーションやリレー作文をします。学期の終わりまでに修了作文を書いて、完成させます。　※学習進度は変わることがあります。

■予習・復習

予習：トピックで使う課のことばを調べておくこと

復習：フィードバックして、自分の間違いを見直し、文を書き直すこと

■成績評価の方法

課題（授業中のクイズ・発表を含む）　20%、　定期試験　60%、　平常点　20%

■教科書・参考書

『日本語初級①大地』（スリーエーネットワーク）

『日本語作文1』（専門教育出版）

『みんなの日本語初級やさしい作文』（スリーエーネットワーク）

『絵入り日本語作文入門』（専門教育出版）『わたしのにほんご』（くろしお出版）　※プリントを渡します。

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度秋学期講義要項

■必修科目	1　組	総合	月火 水金　曜日	1,3　限	目標レベル	A1－A2　初級
■授業の目的及び到達目標					担当：南口、森井、森泉、 田中、中野	

基礎的な日本語力を身につけることを目的とします。 よく使われる日常表現と基本的な言い回しを理解し、用いることができることを到達目標としています。

■授業計画

1	ガイダンス（授業の進め方・評価など）　『大地１』L１・L２・L３・L４ ひらがな・カタカナ / 教室用語
2	『大地１』L５・L６・まとめ１
3	『大地１』L７・L８
4	『大地１』L９、L１０、L１１
5	『大地１』L１２、まとめ２、L１３
6	『大地１』L１４、L１５
7	『大地１』L１６，L１７、L１８
8	『大地１』まとめ３、L１９、L２０
9	『大地１』L２１、L２２、まとめ４
10	『大地２』L２３、L２４
11	『大地２』L２５、L２６
12	『大地２』まとめ５
13	授業中試験とふりかえり

■授業の方法

週5コマを 5人の先生によるチームティーティングで進めます。『大地１』は1課を 1～2 コマ、『大地2』は、1課を 1.5 コマ～2 コマで進めます。はじめに会話を聞きます。その後で、語彙・文型の練習、応用練習をします。毎回、授業でディクテーションをしたり、漢字の練習をしたりします。また、宿題も出します。課の終りにまとめクイズをして、復習します。Teams上にチームを作り、質問ができるようにします。 ※学習進度、授業の方法は、変わることがあります。

■予習・復習

予習:新しいことば、新しい漢字は課が始まる前に調べてください。
復習:『基礎問題集』を解いて、学んだ言葉、文法をよく覚えましょう。

■成績評価の方法

課題(授業中のクイズ・発表を含む)20%、定期試験60%、平常点20%

■教科書・参考書

『日本語初級１大地』　(スリーエーネットワーク)、『大地1　基礎問題集』　(スリーエーネットワーク)
『日本語初級1　大地　文型説明と翻訳』(スリーエーネットワーク)など

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度秋学期講義要項

■必修科目	1　組	聴解・聴読解	月　曜日	2　限	目標レベル	A1-A2、初級
■授業の目的及び到達目標					担当：南口順子	

毎日の生活の中の簡単な会話を聞き取る力や基本的な日本語力（初級の語彙や文法）に即した聴解力を身につけることを目的とします。
日常的なコミュニケーション場面でよく使われる初級文型や基本的な言い回しを聴いて理解できること、また、N4 レベルの聴解力を身につけることを到達目標としています。

■授業計画

1	ガイダンス（授業の進め方の説明）、日本語の挨拶、数字の聞き取り、自己紹介）『大地①』L1～L3
2	『大地①』L4～L5
3	『大地①』L6～L7
4	『大地①』L8～L9
5	『大地①』L10～L11
6	『大地①』L12～L13　N5対策
7	『大地①』L14～L15　N5対策
8	『大地①』L16～L17　N4対策
9	『大地①』L18～L19　N4対策
10	『大地①』L20～L21　N4対策
11	『大地①』L22、『大地②』L23　N4対策模擬試験実施
12	『大地②』L24～L25、定期試験前復習
13	授業内試験とふりかえり

■授業の方法

メインテキストの『日本語初級1大地』で勉強した初級の語彙や文法を、聞いて理解できるように練習します。聴解の前に、テキストに出てくることばや表現を確認してから、タスク練習をして、聞き取れるようにします。ポイントを聞き取ったり、まだ勉強していないことばも聞き取れるようにしていきます。ある場面の中の関係のあることばも一緒におぼえて、聴解をしながら新しいことばも増やしていきます。　※学習進度は変わることがあります。

■予習・復習

予習：学習予定表を見て、その日勉強する『大地』のテキストの課のことばや文型・文法を復習しておきましょう。
復習：勉強したことば、言い方をおぼえましょう。クラスで聞いた音源を Teams の1クラスの聴解クラスに UP しますから、もう一度聞いて、復習しましょう。最後にスクリプトで確認しましょう。

■成績評価の方法

課題等（授業中のクイズ・発表を含む）　30%、定期試験　50%、平常点　20%

■教科書・参考書

プリントを使います。　『文法まとめリスニング初級①』『文法まとめリスニング初級②』（スリーエーネットワーク）
『みんなの日本語聴解タスク 25』（スリーエーネットワーク）、JLPT対策N5、N4問題集

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度秋学期講義要項

■必修科目	1　組	読解・多読	水　曜日	2　限	目標レベル	A1-A2、初級
■授業の目的及び到達目標					担当：田中　優季	

日本語でまとまりのある長さの文章や本を、辞書などの翻訳を介さずに読んで、読むことを楽しむ習慣をつけることを目的とします。意味重視型の多読授業によって、未習の語彙や表現をとばし、読みを契機とする簡単な産出活動（感想や説明を話したり書いたりする）に自信を持つことを到達目標とします。

■授業計画

1	ガイダンス（授業の進め方、予習・復習、成績評価の方法について）、読書記録の取り方、多読体験
2	読み聞かせ①、多読①
3	読み聞かせ②、多読②、ブックトーク①
4	読み聞かせ③、多読③、ブックトーク②
5	読み聞かせ④、多読④、読んだ本の紹介発表①
6	読書感想文①、プロジェクトについての説明
7	輪読①、多読⑤、ブックトーク③
8	輪読②、多読⑥、ブックトーク④、
9	輪読③、多読⑦、ブックトーク⑤
10	読書感想文②、プロジェクト準備①
11	プロジェクト準備②
12	プロジェクト準備③
13	定期試験（期末プロジェクト発表）と学期の学習のまとめ

■授業の方法

授業の前半は、多読のルールを守りながら読書を楽しみます。後半はアウトプットの活動をおこないます。本の中の言葉や表現を使って話したり書いたりします。
期末のプロジェクトは、今学期のまとめとして、クラスメイトの前で発表します。
※授業計画、方法は変わることがあります。

■予習・復習

予習：読書計画を立ててください。学期末にプロジェクトがあるので、準備をしておきましょう。
復習：読書記録を整理してください。学期末に先生に提出します。期末プロジェクトの作品も、期限までに先生に提出するので、準備しておきましょう。

■成績評価の方法

期末プロジェクト　40%、期末発表　20%、課題（読書感想文、読書記録表など）30%、平常点10%

■教科書・参考書

多読教室の本（貸し出しもできます）、インターネット上の多読の読み物など

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度秋学期講義要項

■必修科目	1　組	日本事情	木　曜日	1　限	目標レベル	A1-A2、初級
■授業の目的及び到達目標					担当：関根 稚恵	

この授業では、日本の社会や文化について、自分の国や自分の近くの人などと比べながら分かるようになることを目的とします。自分の周りの日常的なことについて、日本人と簡単なコミュニケーションができることを到達目標とします。

■授業計画

1	ガイダンス（授業の進め方、予習・復習、成績評価の方法について）・初対面の挨拶と自己紹介
2	日本のイメージ／日本の生活を知る（1）
3	統一試験
4	日本の生活を知る（2）
5	日本の生活を知る（3）
6	日本の国を知る（1）
7	日本の国を知る（2）
8	日本の社会を知る（1）
9	日本の社会を知る（2）／自分の国と違うところを考える・発表準備（1）
10	日本の社会を知る（3）／自分の国と違うところを考える・発表準備（2）
11	スピーチ大会
12	自分の国と違うところを考える・発表準備（3）
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

この授業は、クラスのみんなで話し合いながら進めます。秋学期の研修旅行やスピーチ大会も日本事情の授業です。積極的に参加しましょう。学期の最後に、まとめの発表をします。

Teams にチームを作り、そこで質問ができたり、課題を出したりできるようにします。

※学習進度は、変わることがあります。

■予習・復習

予習：日本の生活や日本人とのコミュニケーションで、どうしてかなと思ったことをまとめて質問できるようにしましょう。

復習：授業で学んだことを実際の生活の中で使ってみましょう。日本人とのコミュニケーションでも使いましょう。

■成績評価の方法

課題（授業中のクイズ・発表を含む）：40%、定期試験：30%、平常点　30%

■教科書・参考書

教科書：プリントを配ります。

参考書：『話そう 考えよう 初級 日本事情』（スリーエーネットワーク）

『知っていますか 日本のこと―学ぼう 話そう 日本事情―』（穂高書店）

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度秋学期講義要項

■必修科目	2　組	クラスゼミナール	木　曜日	2　限	目標レベル	A2　初中級
■授業の目的及び到達目標					担当：豊田　香	

この授業では、別科スチューデント・アシスタント（SA）を交えたアクティブラーニング型授業を行います。日本の社会・文化や学生生活を理解し、適応することを目的とします。また、担任の先生が留学生活や別科での生活について説明し、個別面談等で進路・生活相談を行います。研修旅行や別科の行事もこの授業の中で行います。クラスの学生やスチューデントアシスタントといっしょに協働で学習を行い、日本社会や文化、進路について、自分なりの見方でとらえられるようになることを到達目標とします。

■授業計画

1	ガイダンス（授業の進め方、成績評価の方法について）・他己紹介
2	SA とアイスブレイクゲーム ・ これからの進路の目標・学習目標を考え、話し合う
3	個人面談 ① SA との交流活動 ①
4	個人面談 ② SA との交流活動 ② 課外研修についての事前学習
5	個人面談 ③ SA との交流活動 ③ 課外研修についての事前学習
6	個人面談 ④ SA との交流活動 ④ 課外研修についての復習
7	個人面談 ⑤ SA との交流活動 ⑤ 全員面接のための準備 ①
8	全員面接のための準備 ②
9	全員面接
10	個人面談 ⑥ SA との交流活動 ⑥ スピーチ大会の練習と応援練習
11	スピーチ大会
12	まとめ
13	授業中試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

授業は、学生と SA との対話やディスカッションなど、グループ活動を中心に進めます。
また、秋季研修や別科の行事なども行います。授業のまとめとして、SA にサポートしてもらいながら、発表をします。Teamsにチームを作り、そこでも質問ができるようにします。※学習進度は、変わることがあります。

■予習・復習

予習 ： 普段から、留学生活・進学などについて考え、日本社会・文化について興味を持ってください。
復習 ： 先生や SA とのコミュニケーションを振り返り、普段の生活で使ってみてください。

■成績評価の方法

課題（授業中のクイズ・発表を含む）　40%、　定期試験　20%、　平常点　40%

■教科書・参考書

プリントをくばります。

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度秋学期講義要項

■必修科目	2　組	会話	火　曜日	2　限	目標レベル	A2、初中級
■授業の目的及び到達目標					担当：浅井　尚子	

身近で個人的な話題について、適切なやりとりをし、口頭で自分の考えや意見を伝えたりする力を身につけることを目的とします。
身近な話題や個人的に関心があるテーマについて、理由を挙げて説明できることや、スピーチやディスカッションができることを到達目標とします。

■授業計画

1	ガイダンス（授業の進め方、予習・復習、成績評価の方法など）、自己紹介、『大地②』L23・L24　会話練習
2	『大地②』L25・L26　会話練習
3	『大地②』L27・L28　会話練習
4	『大地②』L29・L30　会話練習　・スピーチ大会のスピーチ練習①　（内容を考える）
5	『大地②』L31・L32　会話練習　・スピーチ大会のスピーチ練習②　（スピーチ原稿を書く）
6	『大地②』L33・L34　会話練習　・スピーチ大会のスピーチ練習③　（スピーチの練習）
7	・スピーチ大会のスピーチ練習④　（クラスで発表会をする）
8	『大地②』L35・L36　会話練習　・面接練習①　面接のマナー
9	『大地②』L37・L38　会話練習　・面接練習②　部屋に入る時と出る時
10	『大地②』L39・L40　会話練習　・面接練習③　面接の仕方・態度
11	『大地②』L41・L42　会話練習　・授業のまとめと試験の練習①
12	スピーチ大会について話す　・授業のまとめと試験の練習②
13	授業中試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

授業の最初に『大地②』の「扉のページ」の会話を聞きます。どんな内容か、話し合ってから、会話練習をします。ペアで練習したり、「使いましょう」の会話練習をしたりします。他のペアの会話を聞いて、感想を言います。また、スピーチ大会のスピーチ練習をしたり、全員面接の面接練習をしたりします。
学期の最後にそれまで勉強したことばや文型についてまとめます。※学習進度は、変わることがあります。

■予習・復習

予習：教科書の中で、わからないことばや表現を調べておいてください。
復習：教科書の中の会話や自分たちで作った会話を何度も声に出して練習してください。

■成績評価の方法

課題（授業中のクイズ・発表を含む）　30%、 定期試験　50%、 平常点　20%

■教科書・参考書

・『日本語初級②　大地』（スリーエーネットワーク）　・『日本語ロジカルトレーニング初級』（アルク）
・『初級からの日本語スピーチ』（国際交流基金　関西国際センター）
※プリントを渡します。

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度秋学期講義要項

■必修科目	2 組	作文	金 曜日	2 限	目標レベル	A2、初中級
■授業の目的及び到達目標					担当：関根 稚恵	

日常的で身近な話題について、ある程度まとまりのある文章を書く力を身につけることを目的とします。 N4～N3レベルの語彙や文型・表現を適切に用いて、段落を分けた 400字程度の紹介文や意見文を普通体で書けることを到達目標とします。

■授業計画

1	ガイダンス（授業の進め方、評価の方法、予習・復習、宿題について）／自己紹介の作文
2	『身近なテーマで伝える！にほんご作文トレーニング』2課「健康」／文字や数字、記号の書き方
3	『大地』L23・L28使いましょう「わたしの国／わたしの国の自然災害」／原稿用紙の使い方
4	『身近なテーマで伝える！にほんご作文トレーニング』4課「休みの日の思い出」
5	『大地』まとめ6「初めての経験」／Challenge！①「SNS に投稿する」
6	『身近なテーマで伝える！にほんご作文トレーニング』6課「苦手なもの・こと」
7	「旅行（課外研修）」の作文
8	『身近なテーマで伝える！にほんご作文トレーニング』8課「料理のレシピ」／修了作文1（テーマを考える）
9	『身近なテーマで伝える！にほんご作文トレーニング』10課「尊敬する人」／ 修了作文2（構成を考えて書く）
10	『身近なテーマで伝える！にほんご作文トレーニング』15課「お礼の手紙・メール」／修了作文3（わかりやすく直す）
11	修了作文4（原稿用紙にきれいに書いて完成させる）
12	『大地』L42「メール」（PC で E メールを送る）／試験の練習
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

毎回の授業では、最初に作文のテーマについて、ペアやグループで質問したり話し合ったりしながら作文のアイディアを考えます。次に、書くために必要なことばや表現、作文のルールを学びます。それから作文を書きます。授業中に書き終わらなかった場合は次の週までの宿題にします。書いた後は、チェックされたところを直したり、クラスメートの作文を読んで一緒に直したりしながら、まとまりのある文章を書く練習をしていきます。学期の終わりに修了作文を書いて完成させます。※学習進度は変わることがあります。

■予習・復習

予習：配られたプリントの分からないことばを調べましょう。『大地』のことばのリストも確認してください。
復習：先生にチェックされた作文をよく読んで、もう一度きれいに書き直しましょう。

■成績評価の方法

課題（授業中のクイズ・発表を含む）：30%　定期試験：40%　平常点（出欠状況・作文への取り組み態度）：30%

■教科書・参考書

『身近なテーマで伝える！にほんご作文トレーニング［初中級A2～B1］』（くろしお出版）から必要なところをコピーして配ります。『日本語初級②大地』（スリーエーネットワーク）も使います。

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度秋学期講義要項

■必修科目	2　組	日本語（総合）	月・火・水・金　曜日	1　限 (3)	目標レベル	A2、初中級
■授業の目的及び到達目標			担当：李欣穎・田中優季・浅井尚子・澤田帆奈美・関根稚恵			

ごく日常的な場面においてやりとりするための基礎的な日本語力を確実に身につけることを目的とします。
身近で個人的な話題について、簡単な説明を理解し、短いことばで伝えることができることを到達目標としています。

■授業計画

1	ガイダンス、『大地1』の復習：まとめ2～4、『大地2』L23
2	『大地2』L24（L23,L24言葉の練習）・L25
3	『大地2』L26（L25,,L26言葉の練習）・L27・まとめ5（L27、まとめ5言葉の練習）
4	『大地2』L28・L29（L28,L29言葉の練習）
5	『大地2』L30・L31（L30L31言葉の練習）
6	『大地2』L32・まとめ6（L32、まとめ6言葉の練習）
7	『大地2』L33・L34（L33,L34言葉の練習）
8	『大地2』L35・L36（L35,L36言葉の練習）
9	『大地2』L37・まとめ7（L37、まとめ7言葉の練習）
10	『大地2』L38・L39（L38,L39言葉の練習）
11	『大地2』L40・L41（L40,L41言葉の練習）
12	『大地2』L42・まとめ8（L42、まとめ8言葉の練習）
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

週5コマを5名の教師によるチーム・ティーチングで教えます。『大地2』は 1課を2～2.5 コマで進めます。課に入る前に「語彙予習リスト」を配りますから、言葉を調べて覚えましょう。授業では、最初に課の扉のページの会話を聞きます。それから、新しい言葉の確認をして、文型の練習、応用練習をします。学習した文型例のディクテーションをしたり漢字の読み方を練習したりします。2課ごとに言葉の練習をして、まとめの課で復習をします。毎回宿題を出しますから、必ず提出しましょう。5課ごとに漢字のクイズとまとめクイズをします。 ※学習進度は、変わることがあります。

■予習・復習

予習：学習予定表を見て、予定の学習項目と新しい言葉の意味を調べておきましょう。「語彙予習リスト」もしましょう。
復習：授業で学習した言葉や文型を復習し、宿題に取り組みましょう。

■成績評価の方法

課題（授業中のクイズ・発表を含む） 30%、定期試験 60%、平常点 10%
5人の先生がそれぞれ試験をして、評価を 100点満点で出します。その平均点がこの科目の成績になります。

■教科書・参考書

『日本語初級② 大地』メインテキスト／文型説明と翻訳〈各国語版〉／基礎問題集（スリーエーネットワーク）

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度秋学期講義要項

■必修科目	2　組	聴解・聴読解	月　曜日	2　限	目標レベル	A2、初中級
■授業の目的及び到達目標					担当：李　欣穎	

ごく日常的な場面での情報のやりとりをするために、様々なトピックの内容を聞いて、理解できることを目的とします。
会話や話の構成に留意し、正確に聴き取れることを到達目標としています。

■授業計画

1	ガイダンス（授業の進め方、成績評価の方法など）/ 「～（する）と、～ます」「〇〇でも」を含む会話を聞き取る練習をします。（大地② L23）
2	「いつ/どこ/だれ/何…か、」を含む会話を聞き取る練習をします。（大地② L25）
3	「…とき、」を含む会話を聞き取る練習をします。（大地② L26）
4	「…んです。」を含む会話を聞き取る練習をします。（大地② L27）
5	「～ています。」を含む会話を聞き取る練習をします。（大地② L28）
6	「～し、～し…」「～（よ）うと思っています。」を含む会話を聞き取る練習をします。（大地② L29・30）
7	「～ておきます。」を含む会話を聞き取る練習をします。（大地② L31）
8	「…ば、」を含む会話を聞き取る練習をします。（大地② L33）
9	「～（さ）れます。」を含む会話を聞き取る練習をします。（大地② L36）
10	「～（し）そうです。」を含む会話を聞き取る練習をします（大地② L37）
11	「～（さ）せます。」を含む会話を聞き取る練習をします。（大地② L40）
12	敬語を含む会話を聞き取る練習をします。（大地② L41・42）
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

内容を確認しながら問題練習をする形で授業を進めます。
小テストを行う場合があります。
※授業の進度は変わることがあります。

■予習・復習

予習：『大地』とその関連文型を確認しておいてください。
復習：授業で行った問題をもう一度聞いて練習してください。

■成績評価の方法

課題（授業中のクイズ・発表を含む）20%、定期試験50%、平常点30%

■教科書・参考書

授業内容により、プリントを配ることがあります。
『文法まとめリスニング 初級2－日本語初級2 大地準拠－』（スリーエーネットワーク）

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度秋学期講義要項

■必修科目	2　組	読解・多読	水　曜日	2　限	目標レベル	A２　初中級
■授業の目的及び到達目標					担当：澤田 帆奈美	

多読学習の目的は、自分の好きな日本語の文章を、たくさん読むことです。（読むときは、母語に翻訳しないで、辞書を使わないで推測して読みます。）そして、楽しく読む習慣をつけることです。また、授業では、読んだことを伝えあう練習もします。速く正確に読み取る力、わかりやすく伝える力をつけることも、目標とします。
到達目標は、自分のレベルより高い、初中級レベルの読解力をつけることです。

■授業計画

1	①多読授業（多読のルール、進め方、読書記録シートの書き方、授業評価）についての説明　② それぞれ多読
2	①本の紹介、読み聞かせ、先週の振り返りなど　②それぞれ多読→多読活動(ブックトークなど)
3	①本の紹介、読み聞かせ、先週の振り返りなど　②それぞれ多読→多読活動(ブックトークなど)
4	①本の紹介、読み聞かせ、先週の振り返りなど(または『大地2』読解問題) ②それぞれ多読→多読活動(ブックトークなど)
5	①本の紹介、読み聞かせ、先週の振り返りなど(または『大地2』読解問題) ②それぞれ多読→多読活動(ブックトークなど)
6	①本の紹介、読み聞かせ、先週の振り返りなど(または『大地2』読解問題) ②それぞれ多読→多読活動(ブックトークなど)
7	①本の紹介、読み聞かせ、先週の振り返りなど(または『大地2』読解問題) ②それぞれ多読→多読活動(ブックトークなど)
8	①本の紹介、読み聞かせ、先週の振り返りなど(または『大地2』読解問題) ②それぞれ多読→多読活動(ブックトークなど)
9	①本の紹介、読み聞かせ、先週の振り返りなど(または『大地2』読解問題) ②それぞれ多読→多読活動(ブックトークなど)
10	①期末プロジェクトの準備(1)発表内容、方法、提出期限の説明。創作物の相談　②多読学習(または『大地2』読解)
11	①期末プロジェクトの準備(2)創作物の作成、発表の準備　②多読学習(または『大地2』読解問題)
12	①期末プロジェクトの準備(3)創作物の提出、または作成、発表の準備　②多読学習(または『大地2』読解問題)
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

自分が読みたい本を読みます。楽しみながら、たくさん読んで読解練習をします。授業の最初は、本の紹介や短いお話を聞いたり、お話の動画を見たりします。それから、それぞれ多読のルールを守って読みます。1冊読んだら、読書記録シートに本の内容や感想を書きます。授業の後半では、読んだ内容をペアやグループで伝えあったり、簡単に文にまとめたりします。また、『大地2』の読解問題を解くこともあります。学期の最後に自分で作ったものを、クラスで発表します。　※学習進度は、変わることがあります。

■予習・復習

・授業以外でも、たくさん日本語の本を読んでください。多読室の本を借りたり、無料の WEB サイトを見たりしましょう。
・『大地2』の読解問題は、覚えていない単語や表現を、授業のあとに復習して覚えましょう。

■成績評価の方法

課題（授業中の読書記録など） 30%、定期試験（期末プロジェクト発表と提出作品） 40%、平常点（授業参加度、多読の態度、ブックトークへの参加態度） 30%

■教科書・参考書

・多読室の本、NHK for school「おはなしのくに」、日本語多読の WEB サイト https://tadoku.org/japanese/free-books/
・『日本語初級 大地2』

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度秋学期講義要項

■必修科目	2　組	日本事情	木　曜日	1　限	目標レベル	A2　初中級
■授業の目的及び到達目標					担当：豊田　香	

この授業では、学生が成人の留学生として日本の社会・文化や学生生活を理解し、適応することを目的とします。また、留学生活や別科での生活に必要な知識を得て、理解を深めます。研修旅行や別科の行事の予習や復習もこの授業の中で学びます。日本の都道府県についての基礎知識をもとに、調べもの学習をします。学生が日本について広く浅く理解しながら、自分のことを話す力を高めることを到達目標とします。

■授業計画

1	ガイダンス(授業の進め方、成績評価の方法について)・自己紹介・他己紹介・教室での礼儀
2	日本事情 ① 気候(雨・台風・ネット検索)／ 地震／世界地図:日本と母国、そして友達の国の理解
3	統一試験
4	日本事情 ② 電車(車内・通学・遅延・ラッシュ・ネット検索)／日本地図:東京と京都
5	日本事情 ③ アルバイト・進学(トラブル・教育システム・ネット検索)／日本地図:自分の行きたい観光地
6	日本事情 ④ 礼儀(におい・お金・異文化・尊敬)／日本地図:日本の世界遺産
7	日本事情 ⑤ 挨拶(全員面接のための準備 ①)
8	日本事情 ⑥ 挨拶(全員面接のための準備 ②)
9	全員面接の練習
10	日本事情 ⑦ どこに旅行に行きたいですか。
11	スピーチ大会
12	まとめ
13	授業中試験と振返り

■授業の方法

授業は、学生どうしの対話やディスカッションなど、グループ活動を中心に進めます。
また、秋季研修旅行や別科の行事などについての予習・復習も行います。授業のまとめとして、クラス内で、発表をします。Teamsにチームを作り、そこでも質問ができるようにします。※学習進度は、変わることがあります。

■予習・復習

予習　：　普段から、留学生活・進学などについて考え、日本社会・文化について興味を持ってください。
復習　：　先生や他の学生とで振り返りをして、普段の生活で使ってみてください。

■成績評価の方法

課題(授業中のクイズ・発表を含む)　40%、　定期試験　20%、　平常点　40%

■教科書・参考書

プリントをくばります。

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度秋学期講義要項

■必修科目	3 組	会話	火　曜日	2　限	目標レベル	B1、中級
■授業の目的及び到達目標					担当：開　めぐみ	

身近で個人的な話題について、適切なやりとりをしたり、口頭で自分の考えや意見を伝えたりする力を身につけることを目的とします。
身近な話題や個人的に関心があるテーマについて、理由を挙げて説明できることや、スピーチやディスカッションができることを到達目標とします。

■授業計画

1	ガイダンス、自己紹介、アイスブレイク活動、コメント・感想を述べる
2	教育制度①
3	教育制度②
4	私の国の学校（ポスター発表）
5	公共施設の紹介①
6	公共施設の紹介②
7	私が将来したいこと ①
8	私が将来したいこと ②（発表）
9	面接練習
10	リサイクルを考えよう①
11	リサイクルを考えよう ②
12	リサイクルを考えよう ③（グループ発表）
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

授業は、ウォーミングアップ、理解（テーマに関する言葉やよく使う文型の練習）、準備（スクリプト作成と練習）、発表の流れで進みます。課によっては、宿題として、言葉の練習と、読み物があります。発表はひとりでするものと小グループでするものがあります。グループワークが多いので、積極的に話し合いに参加してください。
※学習進度は変わることがあります。

■予習・復習

予習：Step1 のことばの練習問題をしてください。読み物の中のわからない言葉の意味を調べておいてください。
復習：発表のためのスクリプトを書き直したり、発表練習をしたりしてください。

■成績評価の方法

課題（発表、プロジェクトを含む） 40%　　定期試験 30%　　平常点 30%

■教科書・参考書

プリントを配布します。
参考書 『初中級からはじめる 日本語プロジェクト・ワーク』（くろしお出版）
『タスクベースで学ぶ日本語 中級1』（スリーエーネットワーク）

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度秋学期講義要項

■必修科目	3　組	作文	金　曜日	2　限	目標レベル	B1、中級
■授業の目的及び到達目標					担当：森泉　朋子	

身近で個人的な話題や具体的なことがらについて、まとまりのある文章を書く力を身につけることを目的とします。
N3～N2 レベルの語彙や文型・表現を適切に用いて、段落や構成を考えて 600字程度の説明文や意見文を普通体で書けることを目標とします。

■授業計画

1	ガイダンス（授業の進め方や評価の方法などについて）・ クラスメートを紹介する作文を書く
2	自分の名前の由来と意味を説明する
3	自分の国のファストフードについて書く（原稿用紙の使い方について学ぶ） 1課
4	災害について書く（過去の出来事について書く） 2課
5	デジタル機器について書く（物のいい点と悪い点の両方について書く） 3課
6	日本について紹介したいことを書く（構成に気をつけて書く） 4課
7	今住んでいる部屋について書く（客観的に説明する） 5課 ・ 「別科修了作文集」の作文の構想を考える
8	失敗について書く（感情を表す表現を学ぶ） 6課 ・「別科修了作文集」の作文を書く
9	子ども時代の思い出について書く（段落に気をつけて書く） 7課 ・「別科修了作文集」の作文を書く
10	習慣の違いについて書く（対比の表現を学ぶ） 8課 ・「別科修了作文集」の作文を書く
11	自分の国の気候について書く（普通体について学ぶ） 9課 ・「別科修了作文集」の作文を清書する
12	ジェンダーギャップについて書く（論理的に書く） 9課
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

テーマごとによく使われる語彙・表現を学んだあとに、作文を書く練習をします。教科書の中にある「作文」に基づきながらも、テーマをより広げる形でいろいろな文章を書きます。
書く前にグループワークを行って、トピックについて考えを深めます。その後、構成メモを書いて、段落を考えた後で、作文を書き始めます。書いた後でグループやクラスで作文を音読して内容を共有します。
作文は教員がチェックして返却します。学生は間違いなどを直して、再提出します。

■予習・復習

予習：教科書で習った語彙や文型表現の使い方を復習しておいてください。
復習：返却された作文のフィードバックを読んで間違いを直したり、プリントをもう一度見直したりしてください。

■成績評価の方法

課題（授業中のクイズ・発表を含む） 30%、定期試験 60%、平常点 10%

■教科書・参考書

『中級へ行こう』（スリーエーネットワーク）
プリントも配布します。

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度秋学期講義要項

■必修科目	3　組	総合	月 水　曜日 金	1　限	目標レベル	B1、中級

■授業の目的及び到達目標	担当：関根稚恵・森泉朋子・ 長谷川由香

この授業の目的は、毎日の生活の中で使われる日本語力を身につけることです。N3 レベルの文型や語彙、漢字などを学び、使えるように練習します。
目標は、身近で個人的な話題についてまとまった内容を読んで理解し、意図を伝えらえるようになることです。

■授業計画

1	ガイダンス（授業の進め方、予習・復習、成績評価の方法など）　／　初級後半文型の復習
2	『中級へ行こう』　L1　ファストフード
3	『中級へ行こう』　L2　地震
4	『中級へ行こう』　L3　最近の子ども
5	『中級へ行こう』　L4　日本のイメージ
6	『中級へ行こう』　L5　睡眠
7	『中級へ行こう』　L6　日本人の発明
8	『中級へ行こう』　L7　リサイクルとフリーマーケット
9	『中級へ行こう』　L8　あいづち
10	『中級へ行こう』　L9　男の仕事・女の仕事
11	『中級へ行こう』　L10　ことばの使い方
12	『中級へ行こう』　まとめと復習
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

・1課を 3回に分けて勉強します。
2回目：扉のページと学習項目（前半）、2回目：　学習項目（後半）、3回目：本文と内容確認、チェックシート、聴解、漢字など。毎回、宿題があります。
・1 つの課が終わったら、まとめクイズがあります。
・習ったことばや文型を使って、書いたり話したりする練習もします。

■予習・復習

予習：　その日に勉強する課のことばや表現を調べておいてください。
復習：　その日の宿題をします。まとめクイズの前には、よく復習をしておきましょう。

■成績評価の方法

課題（授業中のクイズ・発表を含む）　30%、定期試験　50%、平常点　20%

■教科書・参考書

『中級へ行こう　日本語の文型と表現55　第2版』

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度秋学期講義要項

■必修科目	3　組	聴解・聴読解１	月　曜日	2　限	目標レベル	B１、中級
■授業の目的及び到達目標					担当：浅井　尚子	

様々なトピックの内容を正確に聴き取り、多様なタスクを通して理解を深めることを目的とします。大学や専門学校で必要とされる聴解能力を身につけるため、資料（グラフや図表、平易な説明文など）をもとにそれぞれの内容を聞き取り、理解できることを到達目標としています。

■授業計画

1	ガイダンス（授業の進め方、予習・復習、成績評価の方法など）、自己紹介、 『にほんご初中級リスニング Alive』L1
2	『みんなの日本語初級Ⅱ　聴解タスク25』・『にほんご初中級リスニング Alive』L1
3	『みんなの日本語初級Ⅱ　聴解タスク25』・『にほんご初中級リスニング Alive』L2
4	『みんなの日本語初級Ⅱ　聴解タスク25』・『にほんご初中級リスニング Alive』L2
5	『みんなの日本語初級Ⅱ　聴解タスク25』・『にほんご初中級リスニング Alive』L3
6	『みんなの日本語初級Ⅱ　聴解タスク25』・『にほんご初中級リスニング Alive』L3
7	『みんなの日本語初級Ⅱ　聴解タスク25』・『にほんご初中級リスニング Alive』L4
8	『みんなの日本語初級Ⅱ　聴解タスク25』・『にほんご初中級リスニング Alive』L4
9	『みんなの日本語初級Ⅱ　聴解タスク25』・『にほんご初中級リスニング Alive』L5
10	『みんなの日本語初級Ⅱ　聴解タスク25』・『にほんご初中級リスニング Alive』L5
11	『みんなの日本語初級Ⅱ　聴解タスク25』・『にほんご初中級リスニング Alive』まとめ　発表1
12	総復習・発表2
13	授業中試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

この授業では、毎回、授業の始めにディクテーションをします。授業前半では、音声教材の日本語を聞き、内容を理解します。聴き取りのポイントを解説し、いろいろな日本語を聞き取れるようにしていきます。授業後半では、自然な日本語をすばやく聞き取れるように練習します。音声を聞いた後、ペア活動やグループ活動と通して、口頭練習も行います。この授業の最後には発表を行い、内容が聞き取れたか、確認します。
※学習進度は、変わることがあります。

■予習・復習

予習：インターネットなどから、いろいろな日本語を聞くようにしましょう。
復習：授業で共有した音声をもう一度聞き、復習しましょう。

■成績評価の方法

課題（授業中のクイズ・発表を含む）　30%、 定期試験　50%、 平常点　20%

■教科書・参考書

『みんなの日本語初級Ⅱ　聴解タスク 25』（スリーエーネットワーク）『日本語初中級リスニング Alive』（ジャパンタイムズ出版）など　・プリントを渡します。

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度秋学期講義要項

■必修科目	3 組	聴解・聴読解２	火　曜日	1　限	目標レベル	B1、中級
■授業の目的及び到達目標					担当：開　めぐみ	

様々なトピックの内容を正確に聴き取り、多様なタスクを通して理解を深めることを目的とします。日本留学試験（EJU）にも対応し、大学や専門学校で必要とされる聴解能力を身につけるため、資料（グラフや図表、平易な説明文など）をもとにそれぞれの内容を聴き取り、理解できることを到達目標としています。

■授業計画

1	ガイダンス、実力診断模擬試験　　話し言葉の音の変化
2	会話表現の文末イントネーション　語彙クイズ①
3	決まり文句　　語彙クイズ①
4	問題1　課題理解　　語彙クイズ②
5	問題2　ポイント理解　　語彙クイズ③
6	問題3　概要理解　　語彙クイズ④
7	問題4　発話表現　　語彙クイズ⑤
8	問題5　即時応答　　語彙クイズ⑥
9	模擬試験①　　語彙クイズ⑦
10	模擬試験②　　語彙クイズ⑧
11	模擬試験③　　語彙クイズ⑨
12	模擬試験④　　語彙クイズ⑩
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

まず音声教材を使って問題を実際にやってみることで、問題の傾向や特徴をつかみます。数回の聞き取り練習後答え合わせ、解説をします。聞いた内容について、自分の言葉でまとめて説明する練習もします。また、内容の正確な理解には、レベルにあった語彙力も欠かせないため、N3 レベルの語彙を毎回導入し、意味と使い方を確認し、定着のための練習をして、次回の授業でクイズをおこないます。

※学習進度は変わることがあります。

■予習・復習

予習：前回の授業で学んだ言葉や表現を見直して語彙クイズの準備をしてください。

復習：間違った問題を見直し、使い方を自分なりにまとめてみましょう。

■成績評価の方法

平常点30%　　クイズ30%　　定期試験40%

■教科書・参考書

毎回プリントを配布します。

参考書 「『スピードマスターN3聴解』（Jリサーチ出版）　　『耳から覚える語彙 N3』（アルク）

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度秋学期講義要項

■必修科目	3　組	読解	月　　曜日	3　　限	目標レベル	B1、中級
■授業の目的及び到達目標					担当：中野二郎	

多読学習によるトップダウン型読解とJLPTN２レベル問題の解法ストラテジー学習の併用により、実践的な読解力の修得を目的とします。具体的には、個人の嗜好やレベルに合う読み物を多量に楽しみながら、学習者同士の情報交換・発表・創作など受容と産出活動を併せ持つ多読学習に、スキャニング、スキミング、文章構造理解などの速読ストラテジー学習を加え、読解の実践力をスパイラル状に伸ばすことを到達目標とします。

■授業計画

1	ガイダンス、レベルチェック（JLPTN4）
2	1～2 回　接続
3	3～4 回　指示詞、主語などの省略
4	5～6 回　理由、メール・メモ・お知らせ
5	7～8 回　意見文、説明文
6	9回　長文と情報検索（1）
7	10 回　長文と情報検索（2）
8	11 回　長文と情報検索（3）
9	12 回　長文と情報検索（4）
10	JLPT　N3模擬試験　1 回目
11	JLPT　N3模擬試験　2回目
12	総復習
13	授業中試験

■授業の方法

読解問題を解くストラテジーを使って、練習問題を解き進めます。
語彙の定着を図る為、毎回、前回の読解問題に出てきた語彙クイズを実施します。

■予習・復習

予習：語彙シートをしっかり見ておくこと
復習：その日読んだ読解問題を次週の授業までに必ずもう一度読んでおくこと。

■成績評価の方法

課題30%（授業中のクイズを含む）、試験40%、平常点30%

■教科書・参考書

参考書 『JLPT読解N3　ポイント＆プラクティス』（スリーエーネットワーク）など

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度秋学期講義要項

■必修科目	3　組	読解・多読	水　曜日	2　限	目標レベル	B1、中級
■授業の目的及び到達目標					担当：長谷川 由香	

・このクラスの目的は、さまざまな内容について、まとまった長さの文章をたくさん読むことで、読むことに慣れ、読む能力を高めることです。

・このクラスでは以下のことができるようになることを目指します。

① 今のレベルより少し上のレベルの文章を大量に読むことで、読解能力を伸ばすことができます。さまざまな語彙や表現も身につけることができます。

② 読むことに慣れ、読む楽しさを味わい、読む習慣をつけることができます。

③ 読んだ内容について発表したり書いたり、クラスメイトと日本語で話し合ったりすることで、日本語のアウトプット能力を高めることができます。

■授業計画

1	ガイダンス（授業の進め方、成績評価の方法など）／多読1（導入、多読、ブックトーク、まとめの活動）
2	多読2（導入、多読、ブックトーク、まとめの活動）
3	多読3（導入、多読、ブックトーク、まとめの活動）
4	多読4（導入、多読、ブックトーク、まとめの活動）
5	多読5（導入、多読、ブックトーク、まとめの活動）
6	多読6（導入、多読、ブックトーク、まとめの活動）
7	多読7（導入、多読、ブックトーク、まとめの活動）
8	多読8（導入、多読、ブックトーク、まとめの活動）
9	多読9（導入、多読、ブックトーク、まとめの活動）
10	多読10（導入、多読、ブックトーク、まとめの活動）
11	多読11（導入、多読、ブックトーク、まとめの活動）、期末発表の準備1
12	期末発表の準備2
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

・授業の前半：多読のルールを守りながら、自分のペースで好きな本を読みます。

・授業の後半：自分が読んだ本について、あらすじを説明したり、感想や意見を発表したりします。クラスメイトの発表に質問やコメントもします。

・期末発表：今学期に行ってきた多読の成果として、発表を行います。

■予習・復習

・授業時間だけでなく、家などでも積極的に読書を行ってください。多読室の本を借りることもできます。

・読んだ本についてまとめて、読書記録を書いておいてください。

■成績評価の方法

課題（読書記録、提出物、ブックトークなど）　50%、定期試験（期末発表）　30%、平常点　20%

■教科書・参考書

多読室の本、多読のウェブサイト、自分の関心のある本など

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度秋学期講義要項

■必修科目	3　組	日本事情	木　曜日	1　限	目標レベル	B1、中級

■授業の目的及び到達目標	担当：長谷川 由香

・このクラスの目的は、さまざまな日本文化を学び、実際に文化体験をすることです。さらに、それを日本語で話し合ったり、まとめて発表したりすることで、日本語の能力を高めます。

・このクラスでは以下のことができるようになることを目指します。

① 日本のさまざまな文化について、基本的な知識を身につけることができます。

② 実際に日本文化を体験し、より深く日本の文化や社会を理解することができます。

③ 文化体験を通して、読む、聞く、話す、書くという日本語の4つの能力を高めることができます。

■授業計画

1	アイスブレイク ／ ガイダンス（授業の進め方、成績評価の方法など）
2	街を歩く① 日本の地域的な特色について学ぼう
3	※統一試験（授業なし）
4	街を歩く② 調べたことを発表しよう
5	食を楽しむ① 日本の食文化の歴史や特色について学ぼう
6	食を楽しむ② 食レポに挑戦しよう
7	災害に備える① 災害や防災について学ぼう
8	災害に備える② 体験したことを発表しよう
9	※全員面接（授業なし）
10	伝統文化に触れる：日本の伝統文化について学ぼう
11	※スピーチ大会（授業なし）
12	季節のイベントを体験する：お正月 ／ 最終発表の準備
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

・授業の前に語彙リストを確認しておきましょう。

・クラスではまず、トピックについて基本的な知識を学びます。それから、ペアやグループで話し合ったり、発表をしたりします。トピックが終わると、クイズがあります。クラスで習ったことや語彙を復習してきてください。

■予習・復習

予習：語彙リストを確認しておいてください。

復習：トピックについて学んだことをまとめて、発表の準備をしてください。クイズの前に復習をしてください。

■成績評価の方法

課題（授業中のクイズ・発表を含む） 50%、定期試験 30%、平常点 20%

■教科書・参考書

『にほんごで文化体験』

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度秋学期講義要項

■必修科目	4 組	会話	火　曜日	2　限	目標レベル	B1、中級
■授業の目的及び到達目標					担当：田中　優季	

身近で個人的な話題について、適切なやりとりをしたり、口頭で自分の考えや意見を伝えたりする力を身につけることを目的とします。

身近な話題や個人的に関心があるテーマについて、理由を挙げて説明できることや、スピーチやディスカッションができることを到達目標とします。

■授業計画

1	ガイダンス（授業の進め方、成績評価の方法）、クラスメイトにインタビュー、自己・他己紹介
2	第7課　会話2
3	第8課　会話1
4	第9課　会話2
5	スピーチ①（テーマを考える、資料を集める、アウトライン作成）
6	スピーチ②（原稿を書く）
7	スピーチ③（原稿の完成、個人練習、グループ練習）
8	スピーチ④（クラス内発表、代表者決定）
9	第10課　会話1、全員面接の練習
10	第12課　会話2
11	会話試験の準備①
12	会話試験の準備②
13	定期試験（会話試験）と学期の学習のまとめ

■授業の方法

この授業では、総合の授業で使用している『4技能でひろがる中級日本語カルテットⅡ』の「話す」テーマを中心に会話の練習をおこないます。「会話1」では、目的のタスクを達成する会話、「会話2」ではスピーチや発表などの独話やディスカッションを扱います。どちらも最終的に自分の言葉で話せることを目指します。

また、この授業ではスピーチ大会、全員面接に向けた練習もおこないます。

※授業の進度や方法は、状況に応じて変更することがあります。

■予習・復習

予習：事前課題が与えられた場合は、しっかりと準備をしてきてください。

復習：授業で学んだ会話表現を、日常生活でも積極的に使ってください。

■成績評価の方法

課題（発表を含む）　30%、定期試験　60%、平常点　10%

■教科書・参考書

『4技能でひろがる中級日本語カルテットⅡ』（ジャパンタイムズ）

『会話に挑戦！中級前期からの日本語ロールプレイ』（スリーエーネットワーク）など

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度秋学期講義要項

■必修科目	4 組	作文	金　曜日	2　限	目標レベル	B1、中級
■授業の目的及び到達目標					担当：田中　優季	

身近で個人的な話題や具体的なことがらについて、まとまりのある文章を書く力を身につけることを目的とします。N3～N2レベルの語彙や文型・表現を適切に用いて、段落や構成を考えて600字程度の説明文や意見文を普通体で書けることを到達目標とします。

■授業計画

1	ガイダンス（授業の進め方や評価の方法について）、レベルチェック（力だめし作文）、マッピング法の紹介
2	原稿用紙の使い方、第7課「経験からの学び」①②
3	第7課「経験からの学び」③、第8課「インタビュー記事」①②
4	第8課「インタビュー記事」③、第9課「小説や映画のレビュー」①②
5	第9課「小説や映画のレビュー」③
6	修了作文集の作文を書く
7	修了作文集の作文を書く
8	修了作文集の作文を仕上げる
9	第10課「データ分析」①②
10	第10課「データ分析」③、第11課「日本語と母語の違い」①②
11	第11課「日本語と母語の違い」③
12	授業中試験について、今学期のまとめ
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

この授業では、総合の授業で使用している『4技能でひろがる中級日本語カルテットⅡ』の「書く」テーマを中心に、様々なテーマで自分の考えや意見を書く練習をします。

授業の進め方は以下の通りです：①モデル作文や段落構成、書くポイントを確認する。②タスクとアウトラインを作成する。③作文を仕上げ、発表とフィードバックを行う。

また、この授業内で別科修了作文集の作文を完成させます。 ※授業内容は状況により変更することがあります。

■予習・復習

予習：教科書で学習した文型・表現をよく復習しておいてください。
復習：作文で直された部分をよく確認し、最後の試験に備えてください。

■成績評価の方法

課題（発表も含む）　40%、定期試験　50%、平常点　10%

■教科書・参考書

『4技能でひろがる中級日本語カルテットⅡ』（ジャパンタイムズ）
『日本語ロジカルトレーニング中級』（アルク）など

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度秋学期講義要項

■必修科目	4	組	総合	月・水・金	曜日	1	限	目標レベル	B1、中級
■授業の目的及び到達目標								担当：李維涛・浅井尚子・関口律子	

この授業は、大学や専門学校に進学する人にとって必要な日本語力を身につけることを目的とします。
具体的には、幅広い場面で使われる日本語をある程度理解し、自分の考えや意見を使えることができることを到達目標としています。

■授業計画

1	ガイダンス（授業の進め方、予習・復習、成績評価の方法について）『4技能でひろがる日本語カルテットⅡ』L7（読み物1）
2	『4技能でひろがる日本語カルテットⅡ』L7（読み物1）
3	『4技能でひろがる日本語カルテットⅡ』L8（読み物1）
4	『4技能でひろがる日本語カルテットⅡ』L8（読み物1）
5	『4技能でひろがる日本語カルテットⅡ』L9（読み物2）
6	『4技能でひろがる日本語カルテットⅡ』L9（読み物2）
7	『4技能でひろがる日本語カルテットⅡ』L10（読み物1）
8	『4技能でひろがる日本語カルテットⅡ』L10（読み物1）
9	『4技能でひろがる日本語カルテットⅡ』L11（読み物2）
10	『4技能でひろがる日本語カルテットⅡ』L11（読み物2）
11	『4技能でひろがる日本語カルテットⅡ』L12（読み物1）
12	『4技能でひろがる日本語カルテットⅡ』L12（読み物2）
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

週3コマを3人の先生で進めます。1課5コマのペースで、進めます。「読む前に」「単語・漢字」「文型・表現ノート」「本文」「読んだ後で」の順に学習します。クラスではタスク活動を中心にします。毎回、その日に学習した文型・単語の宿題を出し、課の終わりに漢字クイズ・まとめクイズをして、文型や単語をしっかり学習します。
※学習進度は、変わることがあります。

■予習・復習

予習：学習予定表を見て、その日勉強する課の単語の意味や漢字の読み、文法項目を調べておいてください。
復習：学習した文型や単語をしっかり復習し、宿題をやってください。

■成績評価の方法

課題（授業中のクイズ・発表を含む）　20%、定期試験　60%、平常点　20%

■教科書・参考書

『4技能でひろがる中級日本語カルテットⅡ』（ジャパンタイムズ出版）
『4技能でひろがる中級日本語カルテットⅡワークブック』（ジャパンタイムズ出版）

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度秋学期講義要項

■必修科目	4　組	聴解・聴読解	月　曜日	2　限	目標レベル	B1、　中級
■授業の目的及び到達目標					担当：李　維涛	

様々なトピックの内容を正確に聴き取り、多様なタスクを通して理解を深めることを目的とします。日本留学試験（EJU）にも対応し、大学や専門学校で必要とされる聴解能力を身につけるため、資料（グラフや図表、平易な説明文など）をもとにそれぞれの内容を聴き取り、理解できることを到達目標としています。

■授業計画

1	オリエンテーション。授業の目的・目標を確認し、授業の行い方の提示・実演をする。対象資料・リソースの紹介。
2	聴解のセルフトレーニング方法を紹介し、名作映画の断片を教材にして、シミュレーションを行う。
3	アナウンスを聴く(1)：空港で/飛行機の中/駅で
4	アナウンスを聴く(2)：駅で/電車やバスの中/デパートやスーパーで/など
5	音楽を聴く(歌謡曲/ポップソング/名曲の日本語カバー/など)
6	テレビニュースを聴く(1)：時事/芸能/スポーツ/など
7	テレビニュースを聴く(2)：天気予報/鉄道運行情報/占い/など
8	ポッドキャスト(Podcast)を聴く：Let's Learn Japanese from small Talk ；Yuyu Nihongo；JLPT stories など
9	名作の朗読を聴く：青空朗読；アナウンサーの名作朗読集など
10	映画を聴く：『となりのトトロ』『おくりびと』『時をかける少女』など
11	ドラマ・アニメを聴く：『のだめカンタービレ』『ブラッシュアップライフ』など
12	落語を聴く：ダイアン吉日と三遊亭竜楽
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

授業では、聴解のトレーニングの方法を解説・実演して体感してもらってから、アナウンス、音楽、テレビニュース、映画、ドラマ、落語など、実生活の中で日々に触れる生教材を、実際に聞いてみます。また聞き取った情報のアウトプットも重要視し、ペアやグループで口頭練習活動も行います。

＊授業で使用する予定の教材は、学生のニーズやリクエストによって変更することがあります。

■予習・復習

配布された語彙・表現リストを使い、授業日までに調べておいて予習してください。

授業で行われた生教材のプリントなどを利用し、完全に理解できるまで繰り返して聞く練習を行ってください。

■成績評価の方法

課題（授業中のクイズ・発表を含む）　50%、定期試験　40%、平常点　10%

■教科書・参考書

授業時にプリントなどを配布します。

アナウンス、音楽、テレビニュース、映画、ドラマ、落語などの生教材を元に、教員が作成した聴解トレーニングシートを使います。

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度秋学期講義要項

■必修科目	4　組	聴解・ 聴読解２	火　曜日	1　限	目標レベル	B1、中級

■授業の目的及び到達目標

担当：藤田　守

本授業の目的は、大学や専門学校に進学する人にとって必要な聴解能力を身に着けることです。到達目標は、グラフや図表、解説文などの資料を基に、日常的な場面や幅広い場面において、自然に近いスピードの話を聞き取って理解できるようにすること、日本語能力試験（JLPT）や日本留学試験（EJU）の受験対策として、問題の特徴や傾向、解答の手順などを理解することです。

■授業計画

1	ガイダンス（授業の進め方、予習・復習、成績評価など）／EJU と JLPT について説明／EJU①過去問に挑戦
2	EJU②聴読解：基礎トレーニング／宿題ディクテーションの説明と練習
3	EJU③聴読解：情報を捨てる聴き方と情報を拾う聴き方の練習
4	JLPT①模擬問題に挑戦／宿題確認ディクテーション①
5	JLPT②聴解：課題理解問題の練習
6	JLPT③聴解：概要理解問題の練習／宿題確認ディクテーション②
7	EJU④聴解：必要な情報を探して聴く練習、聴き取った情報を別の言葉に置き換えて聴く練習
8	EJU⑤聴解：最後のポイントを聴き逃さない練習
9	EJU⑥本番直前聴解・聴読解総合練習／宿題確認ディクテーション③
10	JLPT④聴解：即時応答問題の練習
11	JLPT⑤聴解：統合理解問題の練習／宿題確認ディクテーション④
12	JLPT⑥本番直前総合練習問題／定期試験の説明⇒定期試験対策練習
13	授業中試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

この授業では、EJU の聴解・聴読解と JLPT の聴解の練習問題や過去問を繰り返すことで、問題の傾向や特徴を理解し、聴き取りのポイントやメモの取り方、選択肢の選び方などを学習していきます。また、語彙力をつけるため、語彙集プリントを配付します。宿題（自宅学習）にするとともに、授業では語彙を含んだ例文のディクテーションを実施します。
※授業進度や内容は変わることがあります。

■予習・復習

予習：ダウンロードした音声を聞き取ってディクテーションをします。書き取ることができた箇所が理解可能な音声です。それ以外は、音声・意味・文字の一部または全部が理解できない音声です。この点を明らかにして授業に臨みます。
復習：授業で配付されたプリントを見直して、ディクテーションできなかった箇所（つまり、聞き取りが難しかったり、意味が分からなかったりした箇所）を確認し、音声を何度も聞いて聞き取れるように練習します。

■成績評価の方法

課題（授業中のディクテーション含む）　30%、定期試験 40%、　平常点　30%

■教科書・参考書

授業ではプリントを配付します。参考書：『聴くトレーニング基礎編・応用編』（スリーエーネットワーク）、『日本留学試験過去問』（凡人社）、『JLPT公式問題集N2』（凡人社）、『JLPT聴解ポイント＆プラクティス N2』（スリーエーネットワーク）

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度秋学期講義要項

■必修科目	4　組	読解	月　曜日	3　限	目標レベル	B1、中級
■授業の目的及び到達目標					担当：　伊藤　江美	

JLPTN2レベル問題の解法ストラテジー学習により、実践的な読解力の修得を目的とします。スキャニング、スキミング、文章構造理解などの速読ストラテジー学習を加え、読解の実践力をスパイラル状に伸ばすことを到達目標とします。

■授業計画

1	ガイダンス(授業の進め方・テキスト・予習復習・評価など)，読解問題の読解力自己診断，JLPT について
2	必要な情報を探す読み方，N2レベル問題，語彙クイズ①
3	キーワード①反復，N2レベル問題，語彙クイズ②
4	キーワード②言い換え，N2レベル問題，語彙クイズ③
5	キーワード③反対語・ペア，N2レベル問題，語彙クイズ④
6	接続表現，N2レベル問題，語彙クイズ⑤
7	指示表現，N2レベル問題，語彙クイズ⑥
8	掲示物やグラフなどから必要な情報を探す読み方，N2レベル問題，語彙クイズ⑦
9	文章から必要な情報を探す読み方，N2レベル問題，語彙クイズ⑧
10	数字・比喩表現，N2レベル問題，語彙クイズ⑨
11	N2レベル問題，語彙クイズ⑩
12	N2レベル問題，語彙まとめ
13	定期試験・解答解説と学期の学習のまとめ

■授業の方法

・ほぼ毎回、N2レベルの語彙クイズをします。
・JLPT の読解問題を解くストラテジーを学んだ後、自分で N2レベルの問題を解きます。
・文章の内容，文章構造，問題の解き方などを学び、ペアワークで解き方を考えることもします。
　※内容や進度は、状況により変わることがあります。

■予習・復習

予習：語彙クイズのための勉強をしてください。
復習：授業中に解いた問題の文章をもう一度読んで、一つの文章の要約文を書いて、TEAMS にアップしてください。

■成績評価の方法

課題(授業中のクイズ・復習の要約文を含む)　30 %、定期試験　40%、平常点　30 %

■教科書・参考書

『日本語能力試験問題集N2読解スピードマスター』(J リサーチ出版)『新完全マスター読解日本語能力試験N2』(スリーエーネットワーク)『必ずできる！JLPT「読解」N2』(アルク)など、他にも必要なものをプリントして配ります。

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度秋学期講義要項

■必修科目	4　組	読解・多読	水　曜日	2　限	目標レベル	B1、中級
■授業の目的及び到達目標					担当：浅井尚子	

多読学習によるトップダウン型読解と JLPTN2 レベル問題の解法ストラテジー学習の併用により、実践的な読解力の修得を目的とします。
具体的には、個人の嗜好やレベルに合う読み物を多量に楽しみながら、学習者同士の情報交換・発表・創作など受容と産出活動を併せ持つ多読学習に、スキャミング、スキミング、文章構造理解などの速読ストラテジー学習を加え、読解の実践力をスパイラル状に伸ばすことを到達目標とします。

■授業計画

1	多読授業ガイダンス（授業の進め方、成績評価、予習・復習）、多読とは？（多読のルール・読書記録・読書計画）
2	読み聞かせ1、多読1、ブックトーク1
3	読み聞かせ2、多読2、ブックトーク2
4	多読3、多書1、ブックトーク3
5	多読4、ブックトーク4、読書相談（読書計画見直し）
6	期末プロジェクトについて（発表内容・計画・提出期限など）、多読5、読書相談（読書計画見直し）
7	多読6、ブックトーク5、
8	多読7、多書2
9	期末プロジェクト発表準備1、多読8
10	期末プロジェクト準備2、多読9
11	期末プロジェクト準備3（作品提出）、多読10
12	期末プロジェクト発表1
13	期末プロジェクト発表2と学期の学習のまとめ

■授業の方法

自分の好きな本を選んで読みます。集中して授業内読書をすることで、日本語で読むことの楽しさを知り、授業外でも自分から読書をする習慣を身につけます。ブックトーク・多書などを行うことで、インプットからアウトプットの活動へとつなげ、クラスメートと読書の楽しさを味わうことで、日本語の運用力を向上させます。学期の最後に多読学習で身につけた日本語力の成果として、期末プロジェクトで発表を行います。※学習進度は変わることがあります。

■予習・復習

・予習：多読室の本を借りたり、多読の WEB サイトを見たりして、たくさん本を読んでください。
・復習：読書記録を記入し、学習計画を見直してください。
　　期末プロジェクトの準備も自分でします。

■成績評価の方法

課題（提出物・ブックトーク参加度など）　30%、　定期試験（期末プロジェクト）　40%、　平常点　30%

■教科書・参考書

・多読室の本、多読の WEB サイトなど
・自分の本や雑誌などの持ち込みもいいです。（試験対策問題集などは、不可）

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度秋学期講義要項

■必修科目	4　組	日本事情	木　曜日	1　限	目標レベル	B1、中級
■授業の目的及び到達目標					担当：浅井　尚子	

日本の社会問題・文化的事象や日本人の価値観・行動様式などについて、客観的な資料をもとに理解することを目的とします。
一般的で広範囲にわたる話題や自分の専門分野・興味のある話題について日本人と無理なく自然にコミュニケーションができることを到達目標とします。

■授業計画

1	ガイダンス（授業の進め方、成績評価について、予習・復習）
2	日本の地理と気候
3	統一試験
4	日本の災害と防災　1　グループワーク1（自分の国・地域の災害と比較する）
5	日本の災害と防災　2　グループワーク1（地震について調べる）
6	日本人の一生と年中行事1　グループワーク3（自分の国の年中行事と比較し、日本の特徴について話し合う）
7	日本人の一生と年中行事2　グループワーク4（自分の国の年中行事と比較し、日本の特徴について話し合う）
8	日本の食文化1　グループワーク5（日本の行事食・伝統食について調べる）
9	日本の食文化2　グループワーク6（日本の食の特徴を自分の国・地域と比較する）
10	日本の食文化3　（食レポ発表会）
11	スピーチ大会
12	日本のリサイクル（物をむだにしないアイデアを考える）
13	授業中試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

この授業は、トピックについて読み物や動画などで理解した後で、グループで話し合ったり、発表したりします。
グループで話し合うことで、日本についてさまざまな点から理解し、また、自分の国・地域と比較しながら、異文化理解を深めます。話し合いの後で、発表します。最後に自分たちの発表や他のグループの発表について感想を述べたり、コメントを書いたりします。※授業進度は、変わることがあります。

■予習・復習

予習：トピックについて、簡単に調べておいてください。
復習：トピックについて学んだことをまとめておいてください。

■成績評価の方法

課題（授業中の活動・発表を含む）30%、定期試験　50%、平常点　20%

■教科書・参考書

『にほんごで文化体験』（アルク）、『初中級からはじめる日本語プロジェクトワーク』（くろしお出版）
『知っていますかにほんのこと－学ぼう話そう日本事情』（JASSO日本語教育センター）、『留学生のための動画で学ぶはじめての日本の生活』（ウィネット）、『話そう考えよう　初級日本事情　四訂版』（スリーエーネットワー）『マンガで学ぶ日本語表現と日本文化』（アルク）など　・プリントを配付します。

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度秋学期講義要項

■必修科目	5　組	会話	火　曜日	2　限	目標レベル	B2 中上級

■授業の目的及び到達目標	担当：李　維涛

抽象的な内容を含む話題について、適切なやりとりをしたり、口頭で自分の考えや意見を伝えたりする力を身につけることを目的とします。

身近な話題だけでなく、社会的、文化的なテーマについて、適切な語彙と表現、構文を用いて、根拠を挙げて意見を述べられることや、プレゼンテーションやディスカッションができることを到達目標とします。

■授業計画

1	オリエンテーション(授業の目的・目標を確認し、授業の行い方の提示・実演をする)。 3ポイント自己紹介。自分史草案作成。
2	説明と描写[物、ストーリー、そして、思い](1)
3	説明と描写[物、ストーリー、そして、思い](2)
4	説明と描写[場所、ストーリー、そして、思い]
5	説明と描写[人、出会い、そして、事件]
6	会話[経験の再現–カルチャーショックと社会問題](1)
7	スピーチ大会の案内と準備
8	プレゼンテーションのパフォーマンスについて(TED talks・外国人による日本語弁論大会などから学ぶ)
9	スピーチ大会の選考
10	朗読による話し方のトレーニング(青空朗読・アナウンサーによる名作朗読などから学ぶ)
11	期末試験に向けての準備(1):写真描写
12	期末試験に向けての準備 (2):キューカード
13	期末試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

様々なシチュエーションや場面での独話や会話のモデルを提示して、リピート・朗読・シャドーイングなどのトレーニングを経て、シナリオプレイ→ロールプレイへと、シチュエーションに即した会話力を上げていく。学期中や学期末にプレゼンテーションを行う機会を設け、良いプレゼンテーションとは何かを考え、準備から発表まで自力でプレゼンテーションを作り上げていく力を鍛える。

■予習・復習

予習:授業時に配布した次の授業で使用する予定のプリントを使って言葉を覚えて来ること。学期中の課題発表と学期末のプレゼンテーションに向けて各自で準備すること。

復習:授業で学習した言葉やパターンを整理し、日常生活の中で意識的に・積極的に使ってみること。

■成績評価の方法

課題(授業中のタスク・発表を含む) 50%、定期試験　40%、平常点　10%

■教科書・参考書

授業時に配布。

その都度の授業の内容やトピックに合わせて教員が作成したプリント教材を使用する。

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度秋学期講義要項

■必修科目	5　組	作文	金　曜日	2　限	目標レベル	B2、中上級

■授業の目的及び到達目標	担当：藤田守

抽象的なことがらを含む内容について、まとまりのある文章を書く力を身につけることを目的とします。
社会的、文化的なテーマについて、N2～N1 レベルの語彙や表現、構文を用いて、根拠を挙げて自分の考えや意見を書けることや、聞いたり読んだりした内容を要約できることを到達目標とします。

■授業計画

1	ガイダンス（授業の進め方、成績評価の方法について）、マッピング、キーワードをつなげて書いてみよう (1)
2	マッピング、キーワードをつなげて書いてみよう (2)
3	順序を考えて書いてみよう
4	理由を考えて書いてみよう
5	論理的に考えて書いてみよう
6	修了作文集の作文を書く
7	修了作文集の作文を書く
8	修了作文集の作文を仕上げる
9	文章表現①「だ・である体」と「です・ます体」
10	文章表現②「くだけた表現」と「ととのった表現」
11	文章表現③「箇条書き」と「文章」
12	文章表現④「主観表現」と「客観表現」
13	授業中試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

1～5回目の授業は、「マッピング」や「リストアップ」の手法を使って、テーマについて思いつくことをできるだけ挙げて整理する練習や、読み手に伝わりやすい、まとまりやつながりのある文章を書く練習をします。6～8回目の授業は、修了作文集の作文を書きます（800字程度）。9～12回目の授業は、実践的な文章表現のルールを学びながら、日常的・社会的なテーマについて論理的な文章を書く練習をします。
提出した作文は、添削して、翌週に返却します。コメントや修正部分をよく確認して再提出してください。
※授業進度や内容は変わることがあります。

■予習・復習

予習：事前課題がある場合、授業前までに課題を完成させ、授業の時に持ってきます。
復習：返却された作文のコメントや修正部分をよく確認して、再提出します。

■成績評価の方法

課題（課題作文、修了作文の提出など） 30%、定期試験 50%、平常点 20%

■教科書・参考書

授業ではプリントを配付します。参考書：『日本語ロジカルトレーニング』（アルク）、『大学生のための文章表現＆口頭発表練習帳 改定第2版』（国書刊行会）、『書くことを楽しむ中級作文』（凡人社）など

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度秋学期講義要項

■必修科目	5　組	総合	月・水・金　　曜日	1　限	目標レベル	B2、中上級
■授業の目的及び到達目標				担当：田中優季・山本そのこ・藤田守		

大学や専門学校に進学する人にとって必要な日本語力を身につけることを目的とします。
幅広い場面で使われる日本語をある程度理解し、自分の考えや意見を伝えることができることを到達目標としています。

■授業計画

1	ガイダンス（授業の進め方、予習・復習、成績評価の方法について） 『できる日本語中級』 L11前半
2	『できる日本語中級』 L11後半
3	『できる日本語中級』 L12
4	『できる日本語中級』 L13
5	『できる日本語中級』 L14
6	『できる日本語中級』 L15
7	『できる日本語中級』 L16
8	『できる日本語中級』 L17
9	『できる日本語中級』 L18
10	『できる日本語中級』 L19
11	『できる日本語中級』 L20
12	『できる日本語中級』 総まとめ1
13	『できる日本語中級』 総まとめ2
14	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

・週3コマを3人の先生で進めます。1課4コマのペースで進めます。語彙や文型はその課が始まる前に自分で調べておいてください。クラスではタスク活動を中心におこないます。新しく学んだ語彙や文型を積極的に使いましょう。
・毎回、その日に学んだ文型や語彙の宿題があります。次のクラスの始めに提出してください。
・1つの課が終わった後、課のクイズと漢字クイズがあります。
※学習進度は、変わることがあります。

■予習・復習

予習：学習予定表を見て、その日に勉強する課の語彙の意味、漢字の読み、文法項目を調べておいてください。
復習：学習した文型や語彙をしっかりと復習し、宿題をやってきてください。課のクイズ、定期試験のための復習をしておいてください。

■成績評価の方法

課題（授業中のクイズ・発表を含む）　30%、定期試験　60%、平常点　10%

■教科書・参考書

『できる日本語 中級 本冊』（アルク）

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度秋学期講義要項

■必修科目	5　組	読解・多読	月　曜日	3　限	目標レベル	B2、中上級
■授業の目的及び到達目標					担当：関根稚恵	

多読学習によるトップダウン型読解とJLPTN1レベル問題の解法ストラテジー学習の併用により、実践的な読解力の修得を目的とします。 具体的には、個人の嗜好やレベルに合う読み物を多量に楽しみながら、学習者同士の情報交換・発表・創作など受容と産出活動を併せ持つ多読学習を行います。これに水曜日の読解問題の解放ストラテジー学習を加え、読解のより高度な実践力をスパイラル状に伸ばすことを到達目標とします。

■授業計画

1	ガイダンス①（多読授業の進め方、読書計画、読書記録、評価法などについて）／読み聞かせ①／多読①
2	読み聞かせ②／多読②⇒読書記録（1行感想）／ブックトーク①
3	読み聞かせ③／多読③⇒読書記録（1行感想）／ブックトーク②
4	輪読①／多読④⇒読書記録（1行感想）／ブックトーク③
5	輪読②／多読⑤⇒読書記録（1行感想）／ブックトーク④
6	輪読③／多読⑥⇒読書記録（1行感想）／ブックトーク⑤
7	ガイダンス②（期末プロジェクトについて、作品例の紹介など）／多読⑦⇒読書記録（1行感想）
8	作品紹介①／多読⑧⇒読書記録（1行感想）／ブックトーク⑥／読書計画の見直し
9	作品紹介②／多読⑨⇒読書記録（1行感想）／ブックトーク⑦／期末プロジェクトの準備①
10	作品紹介③／多読⑩⇒読書記録（1行感想）／ブックトーク⑧／期末プロジェクトの準備②
11	期末プロジェクトの準備③（作品の作成）／読書記録の整理⇒提出
12	プロジェクト作品の提出／発表の準備　　＊状況によって発表は2週に分ける場合があります。
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

この授業では、多読のルールを守りながら、一人一人の好みや興味に合った読み物を自分で選び、自由に楽しくたくさん読んでいきます。読み聞かせや輪読、本の紹介などの活動を行い、多読室から本を選んで読んだ後は、読書記録をつけ、クラスメートに読んだ本の内容や感想を話すブックトークを行います。本から得た言葉や表現を使って、話したり書いたりクラスメートと話し合ったりと、様々な多読の活動を通して日本語の運用能力をバランスよく伸ばしていきます。また、学期の最後には、多読学習による日本語力の成果を発表します。※学習進度は変わることがあります。

■予習・復習

予習：多読室の本を借りたり、無料WEB サイトを見たりするなど、授業以外の時間もより多くの日本語の文章を読むようにしましょう。毎回の授業の最初にどんなものを読んでいるか質問します。

復習：読書記録への記入や見直しをしてください。また、学期の途中で読書計画の見直しもしましょう。

■成績評価の方法

課題（授業中の読書記録）：30%、期末プロジェクト（提出と発表）：40%、授業参加度（多読への熱意、ブックトークへの参加態度）：30%　＊提出物の期限は厳守してください。課題（授業中のクイズ・発表を含む）

■教科書・参考書

多読室の蔵書、WEB サイト「にほんごたどく 無料の読みもの」https://tadoku.org/japanese/free-books/ など

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度秋学期講義要項

■必修科目	5　組	聴解・聴読解１	月　曜日	2　限	目標レベル	B2 中上級
■授業の目的及び到達目標					担当：森井あずさ	

日本留学試験（EJU）で要求される、大学や専門学校に進学する人にとって必要な聴解能力を身につけることを目的とします。幅広い場面で使われる会話やトピックについて資料（グラフや図表、解説文など）をもとに聞き取り、理解できることを到達目標としています。

■授業計画

1	ガイダンス（授業の進め方、予習・復習、成績評価の方法について）・自己紹介・　聴解・聴読解についての説明
2	「聴解・聴読解のやり方に慣れる」　聴解・聴読解のやり方、ポイントをつかむ練習をします。
3	物語、ニュース、動画などを通して、日本語の聞き取りに慣れていきます。
4	物語、ニュース、動画などを通して、日本語の聞き取りに慣れていきます。
5	物語、ニュース、動画などを通して、日本語の聞き取りに慣れていきます。
6	物語、ニュース、動画などを通して、日本語の聞き取りに慣れていきます。
7	物語、ニュース、動画などを通して、日本語の聞き取りに慣れていきます。
8	物語、ニュース、動画などを通して、日本語の聞き取りに慣れていきます。
9	物語、ニュース、動画などを通して、日本語の聞き取りに慣れていきます。
10	ドラマや動画を見て、グループで話し合い、感想を発表し、友だちの発表を聞きます。
11	ドラマや動画を見て、グループで話し合い、感想を発表し、友だちの発表を聞きます。
12	ドラマや動画を見て、グループで話し合い、感想を発表し、友だちの発表を聞きます。
13	授業中試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

授業は、音声教材の聞き取りを中心にします。また、聞き取り後にグループで話し合う活動などもします。音声を聞いた後に聞き取りのポイントについて解説したり、ニュースやドラマ・動画などの生教材を使って実践的な聞き取りの練習をする予定です。

★学習進度は、学生の理解度やレベルによって、変わることがあります。

■予習・復習

予習：普段からインターネットなどのメディアを使って、日本語をよく聞くこと。

復習は、授業内容を振り返り、自分の聞き取りの弱いところをまとめ、定期試験や資格試験のために、準備すること。

■成績評価の方法

課題（授業中のクイズ・発表を含む）30%、定期試験60%、平常点10%

■教科書・参考書

プリントを配布します。

★参考書『聞いて慣れよう日本語の敬語』（スリーエーネットワーク）など

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度秋学期講義要項

■必修科目	5　組	聴解・聴読解	火　曜日	1　限	目標レベル	B2 中上級
■授業の目的及び到達目標					担当：李　維涛	

日本留学試験(EJU)で要求される、大学院や大学に進学する人にとって必要な聴解能力を確実に身につけることを目的とします。EJU や JLPT の受験対策をベースに、幅広い場面で使われる会話やトピックについて資料(グラフや図表、解説文など)をもとに聞き取り、理解できることを到達目標としています。

■授業計画

1	オリエンテーション。授業の目的・目標を確認し、授業の行い方の提示・実演をする。対象資料・リソースの紹介。
2	EJU過去問によるシミュレーション(1回目)。語彙リストの確認と音読練習。試験問題の解析とフィードバック。
3	JLPT過去問によるシミュレーション(1回目)。語彙リストの確認と音読練習。試験問題の解析とフィードバック。
4	語彙リストの確認クイズと音読練習。パート別試験問題解析とトレーニング①課題理解。
5	語彙リストの確認クイズと音読練習。パート別試験問題解析とトレーニング②ポイント理解
6	語彙リストの確認クイズと音読練習。パート別試験問題解析とトレーニング③概要理解
7	語彙リストの確認クイズと音読練習。パート別試験問題解析とトレーニング④即時応答part1
8	語彙リストの確認クイズと音読練習。パート別試験問題解析とトレーニング④即時応答part2
9	語彙リストの確認クイズと音読練習。パート別試験問題解析とトレーニング⑤統合理解
10	JLPT過去問によるシミュレーション(2回目)。問題点の発見・解析・対策。
11	JLPT過去問によるシミュレーション(3回目)。問題点の発見・解析・対策。
12	EJU過去問によるシミュレーション(2回目)。問題点の発見・解析・対策。
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

過去問の音声資料を利用して、聞いて理解することに止まらず、リピート、シャドーイングを行い、またスクリプトを利用しての音読も合わせて行い、高速音読できるように、またシャドーイングができるようになるまで反復し、よって聴解力を目標レベルまで引き上げていきます。また、配布資料を利用し、授業時間外でもトレーニングを各自で行うように督促します。

■予習・復習

配布された語彙・表現リストを使い、授業日までに調べておいて予習してください。
授業で行われた過去問の試験問題の関連資料を利用し、完全に理解できるまで繰り返して聞く練習を行ってください。

■成績評価の方法

課題(授業中のクイズ・発表を含む)　50%、定期試験　40%、平常点　10%

■教科書・参考書

授業で使用する資料はその都度コピーを配布します。以下を使用する予定。
『日本留学試験　試験問題』(凡人社)、『日本留学試験対策問題集』『日本語能力試験対策　これ一冊』(アスク出版)、『日本語能力試験公式問題集』(国際交流基金)、『新完全マスター　日本語能力試験』(スリーエーネットワーク)など。

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度秋学期講義要項

■必修科目	5　組	読解	水　曜日	2　限	目標レベル	B 2、中上級
■授業の目的及び到達目標					担当：担当：山本　そのこ	

多読学習によるトップダウン型読解と、JLPTN1 レベルの解法ストラテジー学習の併用により、実践的な読解力の習得を目的とします。具体的には、より抽象度の高い、複雑な構成の読解問題の解法ストラテジー学習を行います。さらに、月曜日の多読学習を加えることで、読解のより高度な実践力をスパイラル状に伸ばすことを到達目標とします。また、総合教科書『できる日本語』の「知って楽しむ」も扱います。

■授業計画

1	ガイダンス（授業の進め方・ 評価など）、読解 レベルチェック（ 模擬試験実施）
2	読解ストラテジー練習１、JLPT対策（ 内容理解－短文）
3	読解ストラテジー練習２、JLPT対策（ 内容理解－短文）
4	読解ストラテジー練習３、JLPT対策（ 内容理解－短文）
5	読解ストラテジー練習４、JLPT対策（ 内容理解－中文）
6	読解ストラテジー練習４、JLPT対策（ 内容理解－中文）
7	読解ストラテジー練習４、JLPT対策（ 内容理解－中文）
8	読解ストラテジー練習７、JLPT対策（情報検索）
9	読解ストラテジー練習８、JLPT対策（主張理解－長文）
10	読解ストラテジー練習８、JLPT対策（主張理解－長文）
11	読解ストラテジー練習１０、JLPT N2模擬試験実施
12	読解ストラテジー練習１１、JLPT N2模擬試験FB、 定期試験前の復習
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

受験時及び、進学後に必要となる読解力と読解 ストラテジーを扱い、文章を通じたコミュニケーションのための読解をめざします。アカデミックな説明文、論説文、実用文なども題材に扱い、JLPT対策、EJU のための練習を実践的に行っていきます。学習進度は変わることがあります。

■予習・復習

予習： 学習予定表を見て、その日に学習する項目を確認しておきましょう。毎回 練習問題を課題に出す予定です。
次回授業の予定にある時には、『できる日本語』の読解部分「知って楽しむ」に目を通し、語彙をチェックしましょう。
復習： 忘れずに復習をしてください。 読解問題に出てきた新しい語彙を覚え、できなかった問題をもう一度やっておくことが大切です。 毎回 練習問題を課題に出す予定です。

■成績評価の方法

課題（授業中のクイズ・発表を含む）　30 %、定期試験　50 %、平常点　20 %

■教科書・参考書

プリント配付資料を使用
参考書：『必ずできる！JLPT「読解」N2』（アルク）、『日本語能力試験N2読解必修パターン』（Jリサーチ出版）など

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度秋学期講義要項

■必修科目	5組	日本事情	木　曜日	1　限	目標レベル	B2、中上級
■授業の目的及び到達目標					担当：田中　優季	

日本の社会問題・文化的事象や日本人の価値観・行動様式などについて、客観的な資料をもとに理解することを目的とします。
一般的で広範囲にわたる話題や自分の専門分野・興味のある話題について日本人と無理なく自然にコミュニケーションができることを到達目標とします。

■授業計画

1	ガイダンス（授業の進め方、予習・復習、成績評価の方法について）、自分の興味関心があるテーマについて
2	日本の家族、子どもの習い事、ミニ発表
3	※統一試験のため、授業なし
4	日本のマナー・習慣・ルール
5	日本のマナー・習慣・ルール、ミニ発表
6	日本の産業
7	日本の産業、ミニ発表
8	代表的な日本企業
9	代表的な日本企業、ミニ発表
10	今年の漢字、ミニ発表
11	※ スピーチ大会のため、授業なし
12	期末発表（日本に関するテーマ）
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

授業では、まず、テーマについてのイメージや、知っていることを話し合います。次に、資料をもとに新しい知識を身につけてから、クラスメイトと意見交換をおこないます。最後に、ミニ発表として、自分の国の文化と比較しながら自分の感想や意見を話します。12～13回目の授業では、自分の興味のあるテーマについて発表します。
※授業内容は、状況により変更することがあります。

■予習・復習

予習：授業に積極的に参加できるように、事前に授業計画を見て、テーマについて話したいことを考えておいてください。
復習：学期末の試験のために、授業で学んだことをよく復習しておいてください。

■成績評価の方法

発表（ミニ発表含む）　30%、定期試験　40%、平常点　30%

■教科書・参考書

授業でプリントを配布します。
参考書：『日本と世界のしくみがわかる！よのなかマップ』（日能研＋日本経済新聞出版社）、『知っていますか　日本のこと　学ぼう　話そう　日本事情』（JASSO日本語教育センター）、『生活者としての外国人向け私らしく暮らすための日本語ワークブック』（アルク）他

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度秋学期講義要項

■必修科目	6　組	会話	火　曜日	2　限	目標レベル	B2、中上級
■授業の目的及び到達目標					担当：中野二郎	

抽象的な内容を含む話題について、適切なやりとりをしたり、口頭で自分の考えや意見を伝えたりする力を身につけることを目的とします。身近な話題だけでなく、社会的、文化的なテーマについて、適切な語彙と表現、構文を用いて、根拠を挙げて意見を述べられることや、プレゼンテーションやディスカッションができることを到達目標とします。

■授業計画

1	ガイダンス、自己紹介、アイスブレーキング
2	ロールプレイ　「お宅を訪問」
3	ロールプレイ　「先生を誘う」
4	ロールプレイ　「先生にお願いする」スピーチ原稿作成
5	ロールプレイ　「先生のお願いを断る」スピーチ原稿作成
6	ロールプレイ　「目上の人に申し出る」スピーチ原稿FB＋発音練習
7	教室内スピーチ大会
8	教室内スピーチ大会　クラス代表者決定
9	小噺導入、練習、スピーチ発表者練習
10	小噺練習、スピーチ発表者練習
11	小噺練習
12	小噺発表会
13	授業中試験（ロールプレイの発表を予定）

■授業の方法

授業の前半（6週目まで）はモノローグ（スピーチ）の練習を行う。限られた時間でメモを作成し、メモに基づいて人前で話す練習をする。細かい誤りは気にせず、「伝わる」話し方ができるようにする。後半（7週目以降）は敬語を用いたロールプレイを行う。言語の形式だけではなく、どうすれば相手への敬意が示せるのか考えながら取り組む。

■予習・復習

予習：初級から中級で学んだ敬語を整理して、ロールプレイに臨むこと。
復習：授業中に話したスピーチやロールプレイを文字にしてファイルしておくこと。

■成績評価の方法

課題（授業中の発表を含む）30%、期末試験40%、平常点30%

■教科書・参考書

『にほんご敬語トレーニング』（アスク出版）、『わらべうた』（谷川俊太郎）他

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度秋学期講義要項

■必修科目	6　組	読解・多読	月　曜日	3　限	目標レベル	B2、中上級
■授業の目的及び到達目標					担当：浅井　尚子	

多読学習によるトップダウン型読解により、実践的な読解力の修得を目的とします。
具体的には、個人の嗜好やレベルに合う読み物を多量に楽しみながら、学習者同士の情報交換・発表・創作など受容と産出活動を併せ持つ多読学習により、読解のより高度な実践力をスパイラル状に伸ばすことを到達目標とします。

■授業計画

1	多読授業ガイダンス（授業の進め方、成績評価、予習・復習）、多読とは？（多読のルール・読書記録・読書計画）
2	読み聞かせ1、多読1、ブックトーク1
3	読み聞かせ2、多読2、ブックトーク2
4	輪読1、多読3、ブックトーク3
5	輪読2、多読4、ブックトーク4、読書相談（読書計画見直し）
6	期末プロジェクトについて（発表内容・計画・提出期限など）、多読5、読書相談（読書計画見直し）
7	多読6、ブックトーク5、
8	多読7、ブックトーク6
9	期末プロジェクト発表準備1、多読8
10	期末プロジェクト準備2、多読9
11	期末プロジェクト準備3（作品提出）、多読10
12	期末プロジェクト発表
13	期末プロジェクト発表2と学期の学習のまとめ

■授業の方法

自分の好きな本を選んで読みます。集中して授業内読書をすることで、日本語で読むことの楽しさを知り、授業外でも自分から読書をする習慣を身につけます。ブックトーク・輪読・多書などを行うことで、インプットからアウトプットの活動へとつなげ、クラスメートと読書の楽しさを味わうことで、日本語の運用力を向上させます。学期の最後に多読学習で身につけた日本語力の成果として、期末プロジェクトで発表を行います。※学習進度は変わることがあります。

■予習・復習

・予習：多読室の本を借りたり、多読の WEB サイトを見たりして、たくさん本を読んでください。
・復習：読書記録を記入し、学習計画を見直してください。
・ 期末プロジェクトの準備も自分でします。

■成績評価の方法

課題（提出物・ブックトーク参加度など） 30%、 定期試験（期末プロジェクト） 40%、 平常点 30%

■教科書・参考書

・多読室の本、多読の WEB サイトなど
・自分の本や雑誌などの持ち込みもいいです。（試験対策問題集などは、不可）

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度秋学期講義要項

■必修科目	6　組	「読解」	水　曜日	2　限	目標レベル	B2、中上級
■授業の目的及び到達目標					担当：南口順子	

進学者にとって必要な読解力である①推測して読む力、②情報を整理して読む力、③批判的に読む力を学生のレベルに応じて体系的に習得させることを目標としています。JLPT で測られる N1合格レベルの能力及び EJU で測られるアカデミック・ジャパニーズ能力の養成を目指し、月曜日の多読学習と併せて、より高度な読解力をスパイラル状に伸ばすことを到達目標として授業を進めていきます。

■授業計画

1	ガイダンス（授業の進め方・評価など）、読解レベルチェック（N2模擬試験実施）
2	読解ストラテジー練習1、JLPT対策（内容理解–短文）
3	読解ストラテジー練習2、JLPT対策（内容理解–短文）
4	読解ストラテジー練習3、JLPT対策（内容理解–中文）
5	読解ストラテジー練習4、JLPT対策（内容理解–中文）
6	読解ストラテジー練習5、JLPT対策（内容理解–中文）
7	読解ストラテジー練習6、JLPT対策（統合理解）
8	読解ストラテジー練習7、JLPT対策（情報検索）
9	読解ストラテジー練習8、JLPT対策（主張理解–長文）
10	読解ストラテジー練習9　JLPT対策（主張理解–長文）
11	読解ストラテジー練習10　JLPTN1模擬試験実施
12	読解ストラテジー練習11　JLPTN1模擬試験FB、定期試験前の復習
13	定期試験・定期試験のフィードバック・学期のまとめ、N1模擬試験実施

■授業の方法

受験時及び、進学後に必要となる読解力及び読解ストラテジーを扱い、文章を通じたコミュニケーションのための読解という観点から、進学者にとって必要性の高いアカデミックな説明文、論説文、実用文なども題材に扱いつつ、JLPT対策、EJU対策のための練習を実践的に行っていきます。 ※学習進度は変わることがあります。

■予習・復習

予習：学習予定表を見て、その日に学習する項目を確認しておきましょう。
復習：この授業では復習を中心に学習してください。読解問題に出てきた新しい語彙を覚えたり、 出来なかった問題をもう一度やっておくことが大切です。毎回、JLPT対策の練習問題を課題に出す予定です。

■成績評価の方法

課題等（授業内及び授業後の課題） 30%、定期試験　50 %、平常点　授業態度 20 %

■教科書・参考書

『N2読解スピードマスター』『N1読解スピードマスター』

（Jリサーチ出版）『日本語能力試験N1,N2試験に出る読解』（桐原書店）他

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度秋学期講義要項

■必修科目	6　組	日本事情	木　曜日	1限	目標レベル	B2、 中上級
■授業の目的及び到達目標					担当：藤田守	

日本の社会問題・文化的事象や日本人の価値観・行動様式などについて、客観的な資料をもとに理解することを目的とします。
一般的で広範囲にわたる話題や自分の専門分野・興味のある話題について日本人と無理なく自然にコミュニケーションができることを到達目標とします。

■授業計画

1	ガイダンス、アイスブレーキング
2	日本人の一生、季節のトピック
3	統一試験
4	すもう、季節のトピック
5	進学、季節のトピック
6	進学、季節のトピック
7	敬語の使い方
8	プレゼンテーション
9	全員面接
10	年賀状を書く
11	スピーチ大会
12	総復習
13	授業中試験と秋学期のまとめ

■授業の方法

学期前半は、参考資料を基に、日本文化や習慣についての知識を深め、毎回小テストで知識の定着を図ります。
学期後半は、L5「いろいろな言葉使い」を基に、敬語の実践練習を通して全員面接やスピーチ大会に備えます。
※学習進度は、学生の理解度やレベルによって、変わることがあります。

■予習・復習

予習：授業で配付する教材を読んで、理解を深めておく。
復習：扱った話題について、自国の事情を日本語で話したり書いたりしてみる。

■成績評価の方法

課題（授業中のクイズ・発表を含む）30 %、定期試験50%、平常点20%

■教科書・参考書

『知っていますか　日本のこと』（JASSO日本語教育センター）『マンガで学ぶ日本語表現と日本文化』（アルク）、『おうち歳時記』（成美堂出版）による資料を配付します。

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度秋学期講義要項

■必修科目	6　組	作文	金　曜日	2　限	目標レベル	B2、中上級
■授業の目的及び到達目標					担当：開　めぐみ	

抽象的な事柄を含む内容についてまとまりのある文章を書く力を身につけることを目的とします。
社会的、文化的なテーマについて N2～N1 レベルの語彙や表現、構文を用いて、根拠をあげて自分の考えや意見を書けることや、聞いたり読んだりした内容を要約できることを到達目標とします。

■授業計画

1	ガイダンス（授業内容、課題、成績評価について） 第1課 表記のし方 レベルチェック作文を書く	
2	第2課 文体と書きことば	作文1アウトライン
3	第3課 段落にわける	作文1
4	第5課 テーマを述べる	作文2アウトライン
5	第6課 理由・経過を述べる	作文2
6	第7課 定義する	修了作文集の作文を書く（第一稿）
7	第8課 判明していることを述べる	修了作文集の作文を書く（第二稿）
8	第9課 問題点を述べる	修了作文集の作文を書く（最終稿）
9	第10課 引用する	作文3 アウトライン
10	第11課 解決策を述べる	作文3
11	第12課 手順を述べる	作文4アウトライン
12	第13課 指示詞を使う 総復習	作文4
13	授業中試験と学期の学習のまとめ	

■授業の方法

コース前半には、文法、言語表現、構成について学んだ後、アイディア出しのための話し合い、アウトランイン作成、作文の下書きと進め、課題として作文を完成し次回の授業で提出します。教師のフィードバックをもとに書き直して発表したり、他の人の文章を読んだりして、自分の文章を客観的に見直して書き直します。コース後半には、学んだことを生かして修了作文集の作文に段階的に取り組み、完成させます。
※学習内容と進度は変わることがあります。

■予習・復習

予習：授業で使うプリントを読んで、語彙や表現、文型を確認しておきましょう。
復習：フィードバックをもとに作文を書きなおしましょう。

■成績評価の方法

課題（修了作文集の作文を含む）30%　定期試験40%　平常点（作文への取り組み、話し合い参加、授業態度）30%

■教科書・参考書

『大学・大学院　留学生の日本語②作文編』（アルク）から抜粋してコピー配布します。
その他必要に応じプリントを配布します。

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度秋学期講義要項

■必修科目	6　組	聴解・聴読解１	月　曜日	2　限	目標レベル	B2、中上級
■授業の目的及び到達目標					担当：関根稚恵	

大学院や大学、専門学校に進学する人にとって必要な聴解能力を確実に身につけることを目的とします。幅広い場面で使われる会話やトピックについて、資料（講義のレジュメや解説文など）をもとに、聴き取り、理解できることを到達目標としています。

■授業計画

1	ガイダンス（授業の進め方、予習・復習、成績評価について）／自己紹介（出会いの会話）
2	テキスト①『日本語なりきりリスニング』
3	テキスト②『日本語なりきりリスニング』
4	テキスト③『留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ聴解』
5	テキスト④『留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ聴解』
6	テキスト⑤『ニュースの日本語 聴解』／生教材①「NHK ラジオ　やさしいことばニュース」
7	テキスト⑥『ニュースの日本語 聴解』／生教材②「NHK ラジオ　やさしいことばニュース」
8	テキスト⑦『ニュースの日本語 聴解』／生教材③「NHK ラジオ　やさしいことばニュース」
9	生教材④「ドラマや映画、動画」
10	生教材⑤「ドラマや映画、動画」
11	生教材⑥「ドラマや映画、動画」
12	生教材⑦「ドラマや映画、動画」／総復習
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

学期の前半は、音声教材の聴き取りを中心に、内容を大まかにつかむ練習や要点をまとめて答える練習、要約文を書く練習をします。後半は、ニュースやドラマ、動画などの生教材を使ってより実践的な聴き取りの練習を行います。毎回、音声を聴いた後は、ペアやグループで話し合うなどの活動も行います。
※学習進度は状況により変わることがあります。

■予習・復習

予習：日頃からインターネットなどのメディアを使って、生きた日本語をたくさん聞きましょう。
復習：授業内容を振り返り、自分の聴き取りの弱いところをまとめ、定期試験やEJU,JLPTのために準備しましょう。

■成績評価の方法

課題（授業中のクイズ・発表を含む）　30%、定期試験　50%、平常点　20%

■教科書・参考書

『生きた会話を学ぶ中級から上級への日本語なりきりリスニング』（The Japan Times）／『留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ聴解（中級・中上級）』／『改訂版 ニュースの日本語 聴解40・50』（スリーエーネットワーク）から使用ページをコピーして配布します。
参考：NHKラジオ／テレビ「やさしいことばニュース」（https://www3.nhk.or.jp/news/easy/）、
ドラマ「スアン日本へ行く」（https://www.hikidasu.jpf.go.jp/jp/corner/drama/）

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度秋学期講義要項

■必修科目	6　組	聴解・聴読解２	火　曜日	1　限	目標レベル	B2、中上級
■授業の目的及び到達目標					担当：中野二郎	

日本留学試験（ＥＪＵ）で要求される、大学や専門学校に進学する人にとって必要な聴解能力を身につけることを目的とします。幅広い場面で使われる会話やトピックについて資料（グラフや図表、解説文など）をもとに聞き取り、理解できることを到達目標としています。

■授業計画

1	ガイダンス、レベルチェック（JLPTN2)、ニーズ調査
2	EJU　模擬試験、解説
3	EJU　問題のタイプ、対策を確認
4	JLPT　模擬試験1回目　解説
5	JLPT　問題のパターンに慣れよう(1)
6	JLPT　問題のパターンに慣れよう(2)
7	JLPT　いろいろなタイプの話を聞こう(1)
8	JLPT　いろいろなタイプの話を聞こう(2)
9	JLPT　模擬試験2回目　解説
10	JLPT　いろいろな語彙や表現を覚えよう(1)
11	JLPT　いろいろな語彙や表現を覚えよう(2)
12	総復習
13	授業中試験と学期の振り返り

■授業の方法

EJU、JLPTとも模擬試験、解説を通して、試験に立ち向かうストラテジーを身につけていく。問題集では、そのストラテジーの確認、補強を行う。聞き取れる語彙を増やすため、前回の授業で扱った語彙のクイズを行って、聞き取れる語彙の定着を図る。※授業の進度、方法はクラスの状況によって変更することもある。

■予習・復習

予習：語彙シートを見て、語彙クイズに備えること。
復習：授業中にきいた内容をスクリプトで確認すること。

■成績評価の方法

課題（授業中のクイズ含む）30%、期末試験40%、平常点30%

■教科書・参考書

『日本語総まとめ N1　聴解』（アスク出版）、『2023年度日本留学試験試験問題』（凡人社）、『日本留学試験　聴解・聴読解』（アスク出版）他

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度秋学期講義要項

■必修科目	7　組	総合	月水金　曜日	1　限	目標レベル	B2-C1初級
■授業の目的及び到達目標					担当：開、福島、中野	

この授業は、大学や大学院に進学する人にとって必要な総合的な日本語力を確実に身につけることを目的とします。具体的には、専門的な分野や抽象的な話題について理解し、自分の考えや意見を伝えることができることを到達目標としています。

■授業計画

1	教科書の進め方、L1　日本人と日本語
2	L2　日本人と日本語『問題な日本語』
3	L5　日本人とビジネス『声に出して読みたい日本語』
4	L6　日本人と文学『1Q84』
5	L7　日本人と文学『夢をかなえるゾウ』
6	L8　日本人と文学『蛇にピアス』、『蹴りたい背中』
7	L9　日本人と哲学『これからの「正義」の話をしよう』
8	L10　日本人と生活『下流社会』
9	L11　日本人と生活『電車男』
10	L12　日本人と読書『日本人と読書－教養の崩壊と復活』
11	総復習
12	総復習
13	授業中試験とふりかえり

■授業の方法

1週間に3コマ、3人の教師によるチーム・ティーチングで進めます。基本的に1課を3コマ～4コマで終わらせます。語彙や文法の学習もしますが、主に扱っているトピックについて読んだり聞いたりして理解を深めた上で、その問題についての自身の考えをアウトプットできるようにします。
※進度は状況により変更することがあります。

■予習・復習

予習：課が始める前に、新しい言葉や文法をよく調べておくこと。
復習：学んだ課の言葉、文法が定着するように、アウトプット（書く、話す）すること。

■成績評価の方法

課題（授業中のクイズ・発表を含む）20　%、定期試験　50%、平常点　30%

■教科書・参考書

『日本がわかる、日本語がわかる』凡人社、『日本がわかる、日本語がわかる　準拠　文字・語彙・文法を学ぶための実践練習ノート』（凡人社）

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度秋学期講義要項

■必修科目	7　組	読解・多読	月　曜日	3　限	目標レベル	B2-C1 上級
■授業の目的及び到達目標					担当：李　維涛	

個人の嗜好に沿った多読学習に加え、様々な分野の読み物に触れる機会を提供し、学習目的に適う更なるアカデミックレベルの読解力の修得を目的とします。
具体的には論文、ビジネス文書・社説・随筆・文学など、様々な分野の代表的な文章に親しむ機会を持ち、ビブリオバトルや創作・小論文などの自主性を重んじた産出活動を行って、読解力超級を目指すことを到達目標とします。

■授業計画

1	オリエンテーション。授業の目的・目標を確認し、授業の行い方の提示・実演をする。対象資料・リソースの紹介。
2	作品紹介(『おばあのものがたり』)。多読(読む→ブックトーク→プレゼン→キーワード&1行感想)。1行感想の書き方。
3	Activity-「最近の私」。多読(読む→ブックトーク→プレゼン→キーワード&1行感想)。
4	作品紹介(『はらぺこあおむし』)とディスカッション。多読(読む→プレゼンの準備→ビブリオバトル)。
5	Activity-「みんなで物語リレー」。多読(読む→プレゼンの準備→ビブリオバトル)。
6	作品紹介(『いきる』)と多聴活動。要約のトレーニング(多聴→要約)。
7	Activity-「クラスメートと経験を共有しよう」。多読(読む→ブックトーク→プレゼン→キーワード&1行感想)。
8	作品紹介(『死』)と多聴活動。要約のトレーニング(多聴→要約)。
9	Activity-「ボディランゲージゲーム」。多読(読む→ブックトーク→プレゼン→キーワード&1行感想)。
10	期末プレゼンテーションのモデル作品を提示し、テーマ決めのブレインストーミングを行う。
11	期末プレゼンテーションの確認・準備・Q&A。多読(読む→ブックトーク→キーワード&1行感想)。
12	期末プレゼンテーション(前半)。前半の発表者の良いところ・直すべきところを考え、共有し、後半へと生かす。
13	期末プレゼンテーション(後半)。プレゼンテーションを総括し、コメントを共有する。学期の学習のまとめ。

■授業の方法

この授業は、とにかく学生に興味がある読み物をやさしいレベルから大量に読み、日頃から読む習慣をつけさせるために、ありとあらゆる使用可能な素材やリソースを学生に紹介・提供し、それらをひたすら読ませます。そして、読むことで受容した内容を、ブックトークを通して、学生同士間で能動的に共有し、さらにそれをよりまとまったことばにしてクラス全体でプレゼンテーションを行います。ブックトークをより濃密なものにすべく、話し方、要約の仕方、コメントを行い・共有する表現方法などの指導も行います。※進度は状況により変更することがあります。

■予習・復習

紙媒体のものか、オンラインリソースの読み物を、授業日までに１つ以上読んでおき、授業日に簡単に紹介できるようにしておいてください。授業で読んだ読み物の内容を各自で整理し、過不足なく口頭でストーリーを紹介し、簡単にコメントもできるようにまとめて復習を行ってください。

■成績評価の方法

課題(授業中のクイズ・発表を含む)40%、 期末発表30%、 平常点30%

＊この授業では、定期試験を行いません。代わりに期末発表(プレゼンテーション)を行います。

■教科書・参考書

多読室蔵書、教員や学生が個人で所有する図書、オンラインリソースなど。

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度秋学期講義要項

■必修科目	7　組	日本事情	木　曜日	1　限	目標レベル	B2-C1 初級

■授業の目的及び到達目標	担当：中野二郎

日本の社会問題・文化的事象や日本人の価値観・行動様式などについて、資料をもとに学習者個人の日本語レベル、文化理解レベルに応じた理解をすることを目的とします。一般的で広範囲にわたる話題や興味のある専門分野・話題について日本人と無理なく自然にコミュニケーションができることを到達目標とします。更には、自身が属する文化にも目を向けて、日本語で客観的にアウトプットできることも到達目標とします。

■授業計画

1	ガイダンス、アイスブレーキング
2	L6　日本人の一生
3	統一試験
4	L6　日本人の一生、研修旅行に向けて
5	L8　すもう、研修旅行に向けて
6	L8　すもう
7	L10　日本の観光地
8	L10　日本の観光地
9	全員面接の準備
10	プレゼンテーション準備
11	スピーチ大会
12	プレゼンテーション（4名～5名）
13	プレゼンテーション（4名～5名）　学期のふりかえり

■授業の方法

学期前半は、教科書に基づいて、日本文化や習慣についての知識を深め、毎回小テストで知識の定着を図る。
学期後半は、各自関心をもった日本の観光地について調べて、プレゼンテーションを行う。
※学習進度、授業の方法は、状況によって変わることがあります。

■予習・復習

予習：TEAMS にアップした教材を読んで、理解を深めておく。
復習：扱った話題について、自国の事情を日本語で話したり書いたりしてみる。

■成績評価の方法

課題（授業中のクイズ・発表を含む）30　%、定期試験50%、平常点20%

■教科書・参考書

『知っていますか　日本のこと』（JASSO日本語教育センター）『マンガで学ぶ日本語表現と日本文化　多辺田家が行く！』（アルク）

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度秋学期講義要項

■必修 科目	7　組	聴解・聴読解２	火　曜日	1　限	目標レベル	B2-C1 上級
■授業の目的及び到達目標					担当：森井 あずさ	

大学院や大学に進学する人にとって必要な聴解能力を確実に身につけることを目的とします。専門的な分野や抽象的な話題について資料（講義のレジュメや解説文など）をもとに、聴き取った内容をノートにまとめたり、聴いて理解できたことを要約したりできることを到達目標としています。

■授業計画

1	ガイダンス（授業の進め方、予習・復習、成績評価の方法について）・自己紹介・　聴解・聴読解についての説明
2	「聴解・聴読解のやり方に慣れる」　聴解・聴読解のやり方、ポイントをつかむ練習をします。
3	問題集などを通して、試験における解答のしかた、日本語の聞き取りに慣れていきます。
4	問題集などを通して、試験における解答のしかた、日本語の聞き取りに慣れていきます。
5	問題集などを通して、試験における解答のしかた、日本語の聞き取りに慣れていきます。
6	問題集などを通して、試験における解答のしかた、日本語の聞き取りに慣れていきます。
7	問題集などを通して、試験における解答のしかた、日本語の聞き取りに慣れていきます。
8	問題集などを通して、試験における解答のしかた、日本語の聞き取りに慣れていきます。
9	問題集などを通して、試験における解答のしかた、日本語の聞き取りに慣れていきます。
10	問題集などを通して、試験における解答のしかた、日本語の聞き取りに慣れていきます。
11	問題集などを通して、試験における解答のしかた、日本語の聞き取りに慣れていきます。
12	定期試験に向けての準備と、現在の実力をつかむための模擬試験をします。
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

授業は、音声教材の聞き取りを中心にします。音声を聞いた後に聞き取りのポイントについて解説したり、過去問を使って実践的な聞き取りの練習をする予定です。

★学習進度は、学生の理解度やレベルによって、変わることがあります。

■予習・復習

予習：普段からインターネットなどのメディアを使って、日本語をよく聞くこと。

復習：授業内容を振り返り、自分の聞き取りの弱いところをまとめ、定期試験や資格試験のために準備すること。

■成績評価の方法

課題（授業中のクイズ・発表を含む）30%、定期試験60%、平常点10%

■教科書・参考書

『新完全マスター聴解 N1』＋プリントを配布します。

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度秋学期講義要項

■必修科目	7　組	聴解・聴読解①	月　曜日	2　限	目標レベル	B2-C1、上級
■授業の目的及び到達目標					担当：伊藤　江美	

大学院や大学に進学する人にとって必要な聴解能力を確実に身につけることを目的とします。専門的な分野や抽象的な話題について資料（講義のレジュメや解説文など）をもとに、聴き取った内容をノートにまとめたり、聴いて理解できたことを要約したりできることを到達目標としています。

■授業計画

1	ガイダンス（授業の進め方・テキスト・予習復習・評価など），Can-do確認，ニュース聞き取り，第 1 課音読・A
2	第1課暗唱・語彙クイズ，『動画で学ぶ大学の講義』第1課，ニュース聞き取り
3	ニュース暗唱・語彙クイズ，『動画で学ぶ大学の講義』第 2 課
4	第2課暗唱・語彙クイズ，『動画で学ぶ大学の講義』第3 課，ニュース聞き取り
5	ニュース暗唱・語彙クイズ，『動画で学ぶ大学の講義』第 4 課
6	第 4 課暗唱・語彙クイズ，『動画で学ぶ大学の講義』第 5 課，ニュース聞き取り
7	ニュース暗唱・語彙クイズ，『動画で学ぶ大学の講義』第 6 課
8	第 6 課暗唱・語彙クイズ，『動画で学ぶ大学の講義』第 7 課，ニュース聞き取り
9	ニュース暗唱・語彙クイズ，『動画で学ぶ大学の講義』第 8 課
10	第 8 課暗唱・語彙クイズ，『動画で学ぶ大学の講義』第 8 課，ニュース聞き取り
11	ニュース暗唱・語彙クイズ，『動画で学ぶ大学の講義』第 9 課
12	第 9 課暗唱・語彙クイズ，『動画で学ぶ大学の講義』第 10 課，ニュース聞き取り
13	授業中試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

クラス：動画の視聴前に、内容面の知識を学び，用語の確認をします。

グループ：テーマなどについて話し合って，それをまとめて発表したりします。

個人：テキストの問題を解いたり、ノートや要約を書いて校正・修正をしたりします。

※内容や進度は、状況により変わることがあります。

■予習・復習

予習：「講義の紹介」の音読，「講義を聞く前に」A を解いて答え合わせ，配布資料音読

復習：問題の残り，音読，など

■成績評価の方法

課題（授業中の暗唱も含む）　30%、定期試験　40%、平常点　30%

■教科書・参考書

『留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ　動画で学ぶ大学の講義』スリーエーネットワーク

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度秋学期講義要項

■必修科目	7　組	読解	水　曜日	2　限	目標レベル	B2-C1、上級

■授業の目的及び到達目標	担当：開　めぐみ

個人の嗜好に沿った多読学習に加え、様々な分野の読み物に触れる機会を提供し、学習目的に適う更なるアカデミックレベルの読解力の修得を目的とします。
具体的には論文、ビジネス文書・社説・随筆・文学など、様々な分野の代表的な文章に親しむ機会を持ち、ビブリオバトルや創作・小論文などの自主性を重んじた産出活動を行って、読解力超級を目指すことを到達目標とします。

■授業計画

1	心理学 「写真の撮りすぎ、思い出薄れる？」
2	環境 「増えるゴミとリサイクル」
3	小説 「内定」
4	人間関係 「逆DV」
5	化学 「物質と元素」
6	高齢化 「シニア向けスーパー」
7	事件 「容疑を否認」
8	気象情報 「大荒れの日が続く見込み」
9	経済 「アジアの外食産業」
10	バリアフリー 「障害者スポーツ」
11	時事問題 発表1
12	時事問題 発表2
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

毎回授業のはじめに、前回学習した語彙・表現のクイズをします。毎回異なるテーマについて文章を精読し、内容理解確認のための Q&A,答え合わせ・解説をした後で、音読練習、テーマについてのディスカッション、語彙練習問題をします。コース後半では、各自関心のある時事問題について記事を選び、それについてクラスディスカッションをリードし、意見を発表する小プロジェクトがあります。協同作業が多いため、履修者には積極的な授業態度が求められます。
※学習内容と進度は変わることがあります。

■予習・復習

予習:語彙リストを見て言葉の意味と使い方を確認しておいてください。
復習:学習した内容を見直し、タスクの目標が達成できたか確認してください。新出語彙を復習してください。

■成績評価の方法

参加度（ディスカッション・ペア・グループワーク）20%　クイズ20%　課題(プロジェクト含む）20%　定期試験40%

■教科書・参考書

指定しません。毎回プリントを配布します。
参考書:『上級読解入門』(国書刊行会）から抜粋してコピーを配布

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度秋学期講義要項

■必修科目	7　組	会話	火　曜日	2　限	目標レベル	B2-C1 上級

■授業の目的及び到達目標	担当：森井 あずさ

専門的な分野や抽象的な話題について、適切なやりとりをしたり、口頭で自分の考えや意見を明確に伝えたりする力を身につけることを目的とします。 専門的、時事的なテーマについてプレゼンテーションやディスカッションができることや、場面に応じて適切な語彙と表現、構文を用いて、流暢にやり取りしたり、論理的で説得力のある話し方をしたりできることを到達目標とします。

■授業計画

1	ガイダンス（授業の目的や進め方、成績評価の方法）・ 自己紹介
2	習った文法を使った会話、ショートスピーチ、あるテーマについて友だちと話す
3	習った文法を使った会話、ショートスピーチ、あるテーマについて友だちと話す
4	習った文法を使った会話、ショートスピーチ、あるテーマについて友だちと話す
5	習った文法を使った会話、ショートスピーチ、あるテーマについて友だちと話す　スピーチの練習
6	習った文法を使った会話、ショートスピーチ、あるテーマについて友だちと話す、スピーチの練習
7	習った文法を使った会話、ショートスピーチ、あるテーマについて友だちと話す、スピーチの練習
8	習った文法を使った会話、ショートスピーチ、あるテーマについて友だちと話す、スピーチの練習
9	習った文法を使った会話、ショートスピーチ、あるテーマについて友だちと話す、スピーチの練習
10	習った文法を使った会話、ショートスピーチ、あるテーマについて友だちと話す、面接の練習
11	習った文法を使った会話、ショートスピーチ、あるテーマについて友だちと話す、面接の練習
12	習った文法を使った会話、ショートスピーチ、あるテーマについて友だちと話す、面接の練習
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

1回につき１つのテーマについて話し合い、ペア練習、発表、フィードバックの順で進めます。授業の後半で発表を取り入れ、評価シートを使って学生同士で評価します。面接、スピーチ大会に向けての練習をします。
★学習進度は、学生の理解度やレベルによって、変わることがあります。

■予習・復習

予習：自分の国の言葉や日本語で会話をする時にどのように話しているかについて意識しておくこと。
復習：学習内容をふりかえり、授業で学習・練習した会話のスキルを実践すること。

■成績評価の方法

課題（授業中の発表を含む）60%、定期試験30%、平常点10%

■教科書・参考書

プリントを配布します。
★参考書『聞いて慣れよう日本語の敬語』（スリーエーネットワーク）など

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度秋学期講義要項

■必修科目	7　組	作文	金　曜日	2　限	目標レベル	B2-C1　上級

■授業の目的及び到達目標	■授業の目的及び到達目標

1）アカデミックライティングの基礎を身につけ、600～800字程度のアカデミックなトピックの文章を書くことができるようにします。以下のことの習得を目指します。

・論理的な構成で書くことができる。

・適切な形式で引用ができる。適切な言語表現を使ってデータを説明することができる。

・話し言葉から書き言葉への言い換え、意味を汲み取っての言い換えなどのパラフレーズができる。

2）作文集の作文（800字程度）を完成させます。

3）日本語入力を練習し、適切な形式で Word の文書を作成できるようにします。

■授業計画

1	『アカデミックライティングのためのパラフレーズ演習』第Ⅰ部1課・2課
2	『アカデミックライティングのためのパラフレーズ演習』第Ⅱ部1課・2課
3	『日本語を学ぶ人のためのアカデミック・ライティング講座』第5課ステップ1～2
4	『日本語を学ぶ人のためのアカデミック・ライティング講座』第5課ステップ2＋課題作文のテーマ探し
5	『日本語を学ぶ人のためのアカデミック・ライティング講座』第5課 作文 アウトライン→書く
6	『アカデミックライティングのためのパラフレーズ演習』第Ⅰ部3課・4課
7	作文集の作文を書く
8	作文集の作文を書く
9	作文集の作文を仕上げる
10	『日本語を学ぶ人のためのアカデミック・ライティング講座』第6課ステップ1～2
11	『日本語を学ぶ人のためのアカデミック・ライティング講座』第6課ステップ2＋課題作文
12	『アカデミックライティングのためのパラフレーズ演習』第Ⅱ部3課・4課
13	授業中試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

話し言葉と書き言葉（アカデミックスタイル）の違いなどのパラフレーズを練習問題を解いて学びます。モデル作文を読み、引用、データの説明の仕方について考えます。解説を読んで、練習問題で理解を深めます。指定された構成で、600字程度の作文を書きます。添削されたものを入力して仕上げます。7～9週は、作文集の作文を書きます。

※学習進度は変わることがあります。

■予習・復習

予習：指定された部分の解説を読んでおきます。

復習：重要な表現を覚えます。返却された文章を読み直して、修正された部分を確認し、書き直します。

■成績評価の方法

課題（作文、入力）　40%、定期試験　40%、平常点　20%

■教科書・参考書

『アカデミックライティングのためのパラフレーズ演習』（スリーエーネットワーク）

『日本語を学ぶ人のためのアカデミック・ライティング講座』（アスク出版）からコピー配布

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度秋学期講義要項

■選択必修科目	日本語演習Ⅰ（漢字語彙力養成①）	木　曜日	3　限	履修可能クラス	1～2組
■授業の目的及び到達目標				担当：伊藤　江美	

漢字入門期に漢字学習のストラテジーを身に付け、基礎的な漢字語彙と漢字の書き方を習得することを目的とします。具体的には、初級メインテキストで学ぶ 日本語能力試験 N4・N5 レベルの漢字語彙の意味と読みを修得し、さらに拓殖大学独自のKコード学習法を用いて N4・N5 レベルの漢字を正しく書けるようにすることを到達目標とします。

■授業計画

1	ガイダンス（授業・評価・予習復習について），K-code資料・動画，ストラテジー①，カタカナ 『やさしい漢字ワーク』第1課読み，自分の漢字力の分析・学習計画表
2	『やさしい漢字ワーク』第1課K-code・読みクイズ，第 2 課読み，ストラテジー②，カタカナ
3	『やさしい漢字ワーク』第2課K-code・読みクイズ，第1課書きクイズ，ストラテジー③，クイズ・マラソン
4	『やさしい漢字ワーク』第3・4課K-code・読みクイズ，第2課書きクイズ，ストラテジー④，筆ペン
5	『やさしい漢字ワーク』第5・6・7課K-code・読みクイズ，第3・4課書きクイズ，ストラテジー⑤，クイズ・マラソン
6	『やさしい漢字ワーク』第8・9課K-code・読みクイズ，第5・6・7課書きクイズ，ストラテジー⑥，クイズ・マラソン
7	『やさしい漢字ワーク』第10・11・12課K-code・読みクイズ，第8・9課書きクイズ，アニメの漢字
8	『やさしい漢字ワーク』第13・14課K-code・読みクイズ，第10・11・12課書きクイズ，ストラテジー⑦，クイズ・マラソン
9	『やさしい漢字ワーク』第15・16課K-code・読みクイズ，第13・14課書きクイズ，ストラテジー⑧，クイズ・マラソン
10	『やさしい漢字ワーク』第17・18課K-code・読みクイズ，第15・16課書きクイズ，筆ペン
11	『やさしい漢字ワーク』第19・20課K-code・読みクイズ，第17・18課書きクイズ，クイズ・マラソン
12	『やさしい漢字ワーク』第21・22課K-code・読みクイズ，第19・20課書きクイズ，クイズ・マラソン
13	定期試験・解答解説と学期の学習のまとめ

■授業の方法

・クラス全体で漢字のことばの読み練習をしてから、K-code で漢字の線や形の説明をします。
・毎回、各課クイズをします。自分で勉強した課のクイズを受けること（クイズ・マラソン）ができます。
※内容や進度は、状況により変わることがあります。

■予習・復習

予習：各課クイズのための勉強をしてください。QUIZLET のことばの意味を調べて、読み練習をしてください。
復習：「やさしい漢字ワーク」の「書き練習」をしてください。QUIZLET の読み練習をしてください。
※教科書とプリントは，毎回必ず持ってきてください。

■成績評価の方法

課題（クイズや「書き練習」を含む）　30 %、定期試験　40 %、平常点　30 %

■教科書・参考書

『ことばでおぼえる　やさしい漢字ワーク①』スリーエーネットワーク
K-code のプリント

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年秋学期講義要項

■選択必修科目	日本語演習Ⅰ（漢字語彙力養成②）	木　曜日	3　限	履修可能クラス	2・3・4組
■授業の目的及び到達目標				担当：関口律子	

ごく日常的な場面で使用される基本的な漢字語彙を習得することを目的とします。
具体的には、初中級テキストで学ぶ日本語能力試験N4・N3レベルの漢字の意味と読み書きを修得し、さらにN3レベルの漢字語彙の漢字の意味がわかるようにすることを到達目標とします。

■授業計画

1	オリエンテーション　②レベルチェック　③日本語能力試験Ｎ４レベルの語彙Ⅰ：生活・学校
2	Ｎ４レベルの語彙：社会・仕事
3	Ｎ４レベルの語彙：　仕事・自然・環境問題
4	Ｎ４レベルの語彙：経済
5	Ｎ３レベルの語彙：生活・社会・人間関係
6	Ｎ３レベルの語彙Ⅱ：学校生活・教育
7	Ｎ３レベルの語彙Ⅲ：仕事・社会
8	Ｎ３レベルの語彙Ⅳ：健康・体・病気・健康管理
9	Ｎ３レベルの語彙Ⅴ：情報・コンピュータ関係・電気関係
10	Ｎ３レベルの語彙Ⅵ：環境・環境問題
11	実践問題：過去の問題：N4・N3
12	実践問題：過去の問題：N3
13	期末試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

授業は、全体での学習および、グループワークで行います。また、学生のレベルやニーズ、出身（漢字圏・非漢字圏か）などに合う方法を選択します。
※学習進度は、学生の理解度やレベルによって、変わることがあります。

■予習・復習

予習：授業で配布するプリント　復習：授業で配布するプリント
学生のレベル・ニーズに合わせた教材を配布、授業中に指示します

■成績評価の方法

課題（授業中のクイズ・発表を含む）　10　%、定期試験　40　%、平常点　50　%

■教科書・参考書

学生のレベル・ニーズに合わせた教材を配布また、必要に応じて紹介します

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度秋学期講義要項

■選択必修科目	日本語演習Ⅱ①	木　曜日	3　限	履修可能クラス	1-3組
■授業の目的及び到達目標				担当：岡田　幸彦	

日常的な話題について書かれた具体的な内容を表す文章を読んで理解するのに必要な文字・語彙・文法といった日本語能力試験N3 レベルの言語知識を身につけることを目的とします。
上記の内容を扱うために必要な文法形式や統語形式についての知識、常用漢字、語彙を習得することを到達目標にしています。

■授業計画

1	一日の生活について話したり書いたりするのに必要な語彙・文字を練習します。
2	掃除・洗濯・料理について話したり書いたりするのに必要な語彙・文字を練習します。
3	文化・自然・健康について話したり書いたりするのに必要な語彙・文字を練習します。
4	ほかの人と知り合うために話したり書いたりするのに必要な語彙・文字を練習します。
5	いろいろな気持ちや感情を話したり書いたりするのに必要な語彙・文字を練習します。
6	学校のことを話したり書いたりするのに必要な語彙・文字を練習します。
7	旅行・交通について話したり書いたりするのに必要な語彙・文字を練習します。
8	仕事について話したり書いたりするのに必要な語彙・文字を練習します。
9	場所・時間について話したり書いたりするのに必要な語彙・文字を練習します。
10	N3 に必要な動詞を練習します。
11	N3 に必要な形容詞・副詞を練習します。
12	N3 に必要なカタカナの言葉を練習します。
13	授業中試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

毎回問題練習と答え合わせ、説明をします。
時々小テストもする予定です。

■予習・復習

予習は、配られた問題に答えておいてください。
復習は、その日の大切なこと、ポイントを整理しておいてください。

■成績評価の方法

課題（授業中のクイズ・発表を含む）30%、定期試験50%、平常点20%

■教科書・参考書

必要な内容をプリントにして配ります。
参考書として、『JLPT文字・語彙N3 ポイント&プラクティス』（スリーエーネットワーク）他を使います。

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度秋学期講義要項

■選択必修科目	日本語演習Ⅱ （文字語彙力養成②）	木　曜日	3　限	履修可能 クラス	3－5組
■授業の目的及び到達目標				担当：森井あずさ	

日常的な場面に加え、新聞・解説・平易な評論を読んだり、ニュースや議論を聞いたりするために必要な文字・語彙・文法といった日本語能力試験 N2 レベルの言語知識を身につける準備をすることを目的とします。
上記の内容を扱うために必要な文法形式や統語形式についての知識、常用漢字、語彙を習得することを到達目標にしています。

■授業計画

1	オリエンテーション、
2	N3語彙①
3	N3 語彙②
4	N3 語彙③
5	N3 語彙④
6	N3語彙⑤
7	N3語彙⑥
8	N3語彙⑦
9	N3語彙⑧
10	N3語彙⑨
11	N2語彙①
12	N2語彙②
13	授業中試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

教科書（＋プリント）を中心として、N2～N3 をターゲットにした文字と語彙を勉強していきます。
授業では、語彙の意味と例文を確認し、練習問題を解きます。
★学習進度は、学生の理解度やレベルによって、変わることがあります。

■予習・復習

予習：授業の前に教科書を見ておく
復習：クラスの後に習ったことを復習するなどが、言葉を身につけるためのコツです。なるべく予習・復習をするようにしましょう。

■成績評価の方法

課題（授業中のクイズ・発表を含む）　30%、定期試験　60%、平常点　10%

■教科書・参考書

教科書：『日本語総まとめ N3語彙 増補改訂版』（アスク出版）
教科書：『日本語総まとめ N2語彙』（アスク出版）など

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度秋学期講義要項

■選択必修科目	日本語演習Ⅱ （文字語彙力養成③）	木　曜日	3　限	履修可能 クラス	5～7組
■授業の目的及び到達目標				担当：吉田敬	

この授業では、中級レベルの漢字や語彙を適切に使えるようになることを目的とします。具体的には、テーマごとにまとめられた、日本語能力試験（JLPT）N2相当の漢字や語彙を学習することを通して、このレベルで求められる文字語彙力を身につけることを目指します。

■授業計画

1	ガイダンス（授業の進め方・評価等）　／　漢字の復習①（N2 で新しく加わる音読みと訓読み）
2	漢字の復習②（漢字の読み方と意味の推測）
3	漢字：漢字のコア・ミーニング、UNIT1衣食住（季節・衣類・住居・お菓子・栄養・まとめ）
4	語彙：第1週　楽しく暮らしていますか？（暮らしのことば）
5	漢字：UNIT2　趣味・活動（市民芸術祭・展示会・旅行・試合・スポーツジム・まとめ）
6	語彙：第2週　仕事は順調ですか？（仕事のことば）
7	漢字：UNIT3　人・心・体（家族・ペット・悩み・宗教・敬語・体・まとめ）
8	語彙：第3週　いろいろ表現しましょう（様子や状態を表すことば）
9	漢字：UNIT4　仕事・組織（雇用・転職・論文・寄付・依頼・まとめ）
10	語彙：第4週　副詞をたっぷり覚えましょう（さまざまな副詞）
11	基本的な日本語コーパスを活用した語彙学習（「少納言」と「なつめ」の使い方、結果の見方、実践練習）
12	コースの振り返り（秋学期の復習と定期試験対策）
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

- 教科書の各課の漢字や語彙について簡潔な説明をしたあと、練習問題を解いてもらいます。
- 各課（各UNIT）の復習として宿題を出す予定です。
- 受講終了も、自律的な学習によって語彙力や表現力を伸ばしていけるよう、コロケーションへの理解を深めるとともに、実際にパソコンを操作しながら、日本語コーパス（テキストのデータベース）の基本的な使い方を学習します。

※授業計画、方法、教科書等は状況によって変更することがあります。

■予習・復習

日ごろから、初めて知った漢字や語彙について関心を持つこと（意味や使い方を調べてみるなど）を予習とします。
また、復習として宿題を出すことがあります。宿題は、次回の授業のときに提出してください。

■成績評価の方法

課題（宿題）20%、定期試験40%、平常点40%を目安とし、実際の定期試験の難易度や学習への取り組みなどを加味したうえで最終的な評価をつけます。

■教科書・参考書

教科書：『日本語総まとめ N2語彙（増補改訂版）』（アスク）、『日本語能力試験問題集 N2漢字スピードマスター』（Jリサーチ出版）　／　参考書：『にほんご漢字トレーニング』（アスク）

※このほか、必要に応じてプリントを配布します。

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度秋学期講義要項

■選択必修科目	日本語演習Ⅱ（文字語彙力養成④）	木　曜日	3　限	履修可能クラス	5－7組
■授業の目的及び到達目標				担当：関根稚恵	

この授業は、幅広い内容の新聞・評論・論説文を読んだり、ニュースや講義を聞いたりするために必要な文字・語彙の言語知識を身につけることを目的とします。
上記の内容を扱うために必要な言語知識や統語形式についての知識、約2,000の常用漢字、約10,000の語彙を習得することを到達目標にしています。

■授業計画

1	ガイダンス（授業の進め方、予習・復習、成績評価の方法について）、自己紹介、 チャレンジ問題「読解」
2	訓読みの漢字①　動詞A レベル（4）～（7）
3	訓読みの漢字②　動詞Bレベル（4）～（6）
4	訓読みの漢字③　動詞Cレベル（4）～（6）
5	訓読みの漢字④　名詞（1）～（3）
6	訓読みの漢字⑤　名詞（4）～（6）／訓読みの漢字の振り返り
7	話題別の語彙①　メディア
8	話題別の語彙②　社会1
9	話題別の語彙③　社会2
10	話題別の語彙④　科学
11	話題別の語彙⑤　抽象概念／話題別の語彙の振り返り
12	日本語能力試験N1文字・語彙の模擬試験／定期試験の対策
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

日本語能力試験（JLPT）N1レベルの漢字と語彙について、クラス内で話し合い考えながら学んでいきます。事前に配布したプリントで漢字の読み方や語彙の使い方などを予習してください。授業では、重要な漢字や語彙の用法を確認し、練習問題を解き、解説をしていきます。
※学習進度は、学生の理解度やレベルによって、変わることがあります。

■予習・復習

予習：授業進度に合わせ、次回の語彙の下調べをしておく。
復習：授業内容や配布プリントを整理しまとめておく。

■成績評価の方法

課題（授業中のクイズ・発表を含む）：30%、定期試験：50%、平常点：20%

■教科書・参考書

教科書：プリントを配布。
参考書：『新完全マスター日本語能力試験N1』漢字／語彙（スリーエーネットワーク）
『上級・超級日本語学習者のための考える漢字・語彙』上級編／超級編（ココ出版）
『日本語パワードリルN1文字語彙』（アスク出版）

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年秋学期講義要項

■選択必修科目	日本語演習Ⅲ 口頭表現力養成①	金　曜日	3　限	履修可能 クラス	1-3組
■授業の目的及び到達目標				担当：中野二郎	

日本語らしい発音、特に韻律の習得に基づいた日常会話力の獲得を目的とします。具体的には、日常的な場面の会話、短いスピーチが自然な速度、イントネーションでできるように練習します。
教室外であっても日常生活のありふれた場面なら、日本語らしい発音でやりとりができることを到達目標とします。

■授業計画

1	わらべうた1　音の聞き分け（長音）　自己紹介　L1　はじめての日本語　おはようございます
2	わらべうた2　音の聞き分け（促音）　L2　はじめての日本語　すみません、よくわかりません
3	わらべうた3　音の聞き分け（撥音）　L3　私のこと　よろしくお願いします
4	わらべうた4　L4　私のこと　東京に住んでいます
5	わらべうた5　L5　好きな食べ物　うどんが好きです
6	音読1　L6　好きな食べ物　チーズバーガーください　スピーチ準備①
7	音読2　L11　私の好きなこと　どんなマンガがすきですか　スピーチ準備②
8	音読3　L12　私の好きなこと　いっしょに飲みにいきませんか　スピーチ準備③
9	音読4　L17　休みの日に　映画を見に行きました　スピーチ準備④
10	音読5　L18　休みの日に　温泉に入りたいです　スピーチ準備⑤
11	発表（スピーチ）10名程度
12	発表（スピーチ）10名程度　フィードバック
13	授業内試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

毎回「わらべうた」や「音読」のウォーミングアップから始めます。日本語らしい発音ができるように何度も練習します。その後、毎回自分について話す練習をします。授業の最後には、文字を見ないで話すことを課題とします。練習した会話をまとめて、最後の2週は全体の前で発表をします。
※進度や方法は状況によって変わることがあります。

■予習・復習

予習：次の週でやる課をサイトで確認して、新しい言葉を見ましょう。
復習：学んだ表現を生活の中で使いましょう。

■成績評価の方法

課題（授業中のクイズ・発表を含む）30%、定期試験40%、平常点30%

■教科書・参考書

参考書『にほんご音読トレーニング』（アスク出版）』『まるごと初級1』
『いろどり』（国際交流基金）TOP｜ いろどり　生活の日本語（jpf.go.jp）
『わらべうた』谷川俊太郎（集英社）他

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度秋学期講義要項

■選択必修科目	日本語演習Ⅲ 口頭表現力養成②	金曜日	3限	履修可能 クラス	3-5組
■授業の目的及び到達目標				担当：関口律子	

自分の興味・関心のある分野に関連する幅広い話題について明瞭で詳細な説明ができ、また、時事問題についても、長所、短所を示して自身の考えを説明できることを目的とします。
具体的には、授業中に発表の練習を繰り返して口頭表現力を高め、大学等進学後に、ディスカッションやプレゼンテーションができるようになることを到達目標とします。

■授業計画

1	オリエンテーション　②テーマ探し・アイディア（構想）・アウトライン作成（１）
2	テーマ探し・アイディア（構想）・アウトライン作成（２）
3	テーマ探し・アイディア（構想）・アウトライン作成（３）②インタビュー準備（１）
4	テーマ探し・アイディア（構想）・アウトライン作成（４）②インタビュー準備（２）
5	テーマ探し・アイディア（構想）・アウトライン作成（５）②インタビュー準備（３）
6	①インタビュー実施・まとめ（１）PPT　2PPT ファイル作成のしかた
7	PPT ファイル作成（１）
8	PPT ファイル作成（２）
9	PPT ファイル作成（３）②プレゼンテーションの日本語
10	プレゼンテーション（１）
11	プレゼンテーション（２）
12	プレゼンテーション（３）
13	期末試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

授業は、全体での学習および、グループワークで行います。
プレゼンテーションは、一人ずつ行います
※学習進度は、学生の理解度やレベルによって、変わることがあります。

■予習・復習

予習：授業で配布するプリント　復習　授業で配布するプリント

■成績評価の方法

課題（授業中のクイズ・発表を含む）　30%、定期試験　20 %、平常点　50 %

■教科書・参考書

学生のレベル・ニーズに合わせた教材を配布また、必要に応じて紹介します

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度秋学期講義要項

■選択必修科目	日本語演習Ⅲ（口頭表現力育成③）	金　曜日	3　限	履修可能クラス	５組～７組
■授業の目的及び到達目標				担当：浅井　尚子	

複雑な話題であっても、派生的な話題にも立ち入って詳しく論じることができ、適切な結論でまとめることができることを目的とします。具体的には、授業中に発表の練習を繰り返して口頭表現力を高め、大学、大学院進学後に、社会問題や自身の専門分野について、ディスカッションやプレゼンテーションができるようになることを到達目標とします。

■授業計画

1	ガイダンス（授業の進め方、予習・復習、成績評価の方法について）、自己紹介、プレゼンテーションとは何か
2	プレゼンテーションの基礎①　プレゼンテーションの流れと関連表現、良い発表者と良い聞き手について
3	プレゼンテーションの基礎②　プレゼンテーションにおける話し方・態度について
4	プレゼンテーションの基礎③　グラフ・図表の説明の仕方、スライドの作り方①
5	プレゼンテーションの基礎④　接続の表現と指示の表現、質疑応答・コメントの仕方、スライドの作り方②
6	発表のための準備①　テーマ決定、アウトライン作成　・ディスカッションの仕方①
7	発表のための準備②　構成、スライド作成　・ディスカッションの仕方②
8	発表のための準備③　スライド完成、発表原稿作成　・ディスカッションの仕方③
9	発表のための準備④　発表原稿完成、ナレーションの練習　・ディスカッションの仕方④
10	発表のための準備⑤　リハーサル1　発表のチェックシート記入方法、友だちからのコメントをもらう
11	発表のための準備⑥　リハーサル 2　最終チェック、仕上げ
12	最終発表①
13	最終発表②と学期の学習のまとめ

■授業の方法

この授業では、発表（プレゼンテーション）に必要なテクニックを身につけるため、課題を出します。その課題をグループで話し合い、効果的なプレゼンテーションの仕方を身につけていきます。最終発表に向けての準備を進め、最終発表をします。他の学生は、発表を能動的に聞き、質疑応答をし、発表に対するコメントを書きます。最後に自分の発表について振り返り、レポートを作成します。※授業進度や方法は、変わることがあります。

■予習・復習

予習：課題や発表の準備を期日までにすること。
復習：毎回の授業で学んだことをまとめ、自分の発表について、振り返りをすること。

■成績評価の方法

課題（授業中の発表を含む）　30%、　最終発表　50%、　平常点　20%

■教科書・参考書

『留学生のための考えを伝えあうプレゼンテーション』（くろしお出版）・『アカデミックプレゼンテーション入門』（ひつじ書房）・『自己表現からアカデミックプレンゼンテーションへ』（実教出版）・『留学生のためのディスカッショントレーニング』（凡人社）・『学生のためのプレゼンテーショントレーニング』（実教出版）等　・その他プリントを配付します。

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度秋学期講義要項

■選択必修科目	日本語演習Ⅳ 日本語スキルアップ①	金　曜日	3　限	履修可能 クラス	1～3組
■授業の目的及び到達目標				担当：田中　優季	

この授業は、日本語の IT の基本的な知識と使い方を学ぶことを目的とします。具体的には、PC のキーボードを使って日本語の入力方法を習得すること、Microsoft Teams や Word、PowerPoint などの基本的な操作ができるようになること、プレゼンテーションスライドを作成し、発表ができるようになることを到達目標とします。

■授業計画

1	ガイダンス（授業の進め方、成績評価の方法について）、PC の使い方、日本語入力①（文字の入力方法）
2	日本語入力②（タイピング練習）
3	日本語入力③（漢字の入力、IMEパッドの使い方）
4	日本語検索①（ウェブサイト検索など）
5	Microsoft Word の使い方①（基本的な使い方）
6	日本語検索②（日本で行きたい場所について調べる）、Microsoft Word の使い方②（資料作成の練習）
7	Microsoft Word の使い方3（資料作成の練習、調べた内容の発表）
8	Microsoft Teams の使い方（チャットを送る、課題を提出する）
9	Microsoft PowerPoint の使い方（基本的な使い方）
10	調べ学習①テーマ決め、情報収集、プレゼンテーション資料作成（スライド、発表スクリプト）
11	調べ学習②プレゼンテーション資料作成（スライド、発表スクリプト）
12	調べ学習③発表（資料の提出）、学期末の試験について説明
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

この授業ではPCを使います。基本的な操作方法を確認した後で、実際に練習します。毎回、授業中に課題を出すので、時間内に提出しましょう。10回目の授業から「調べ学習」をします。PowerPoint スライド、発表のスクリプトを作って、クラスで発表します。

■予習・復習

予習：授業計画を見て、授業に備えてください。
復習：授業で学習したことを復習し、日常生活でも積極的に使いましょう。

■成績評価の方法

課題（調べ学習を含む）　40%、定期試験　40%、平常点　20%

■教科書・参考書

授業でプリントを配布します。
参考書：『日本語でできる！外国人のためのパソコンのきほん』スリーエーネットワーク、『学生のためのかんたん Word, Excel, PowerPoint入門』技術評論社、『留学生のための日本語で学ぶパソコンリテラシー』共立出版

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度秋学期講義要項

■選択必修科目	日本語演習Ⅳ 日本語スキルアップ②	金　曜日	3　限	履修可能クラス	4～7組
■授業の目的及び到達目標				担当：福島 佐知	

拓殖大学や拓殖大学以外の大学の学部に進学し、自律的に学習するために必要な日本語力を身につけることを目的とします。主に日本留学試験（EJU）の記述問題、読解問題で高得点が取れるよう、対策を行います。

■授業計画

1	日本留学試験（記述） 概要の説明、基礎練習（書き言葉、意見を述べる言い方、構成①）
2	日本留学試験（記述） 練習問題（構成①）
3	日本留学試験（読解） 概要の説明、練習問題
4	日本留学試験（読解） 練習問題
5	日本留学試験（記述） 練習問題（構成①）
6	日本留学試験（読解） 練習問題
7	日本留学試験（記述） 練習問題（構成②）
8	日本留学試験（読解） 練習問題
9	日本留学試験（記述） 練習問題（構成③）
10	日本留学試験（読解） 練習問題
11	日本留学試験（読解） 練習問題
12	日本留学試験（読解） 練習問題
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

配布する資料に沿って、留学試験の問題の効率のよい解き方を解説します。
読解：練習問題を解いて、注目すべきポイントについて話し合います。
記述：練習問題を解いて、より良い文章にするにはどうすればいいか考えます。Word ファイルに入力して完成させます。
※学習進度は変わることがあります。

■予習・復習

予習：指定された部分の解説を読んでおきます。
復習：読解…授業で読んだ文章を読み直して、ポイントを確認します。新しい言葉があれば、覚えます。
　　記述…重要な表現や構成を覚えます。返却された文章を読み直して、修正された部分を確認し、書き直します。

■成績評価の方法

課題（作文、入力）50%、定期試験　30%、平常点　20%

■教科書・参考書

『改訂版　読むトレーニング　基礎編／応用編　日本語留学試験対応』（スリーエーネットワーク）
『日本留学試験対策　記述問題テーマ 100　基礎編／完成編』（凡人社）
『日本留学試験　試験問題』（日本学生支援機構）　等　からコピー配布

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度秋学期講義要項

■日本語演習科目	日本語演習Ⅳ （日本語スキルアップ③）	金　曜日	3　限	履修可能 クラス	4・5・6・7組
■授業の目的及び到達目標				担当：開　めぐみ	

日本での就職活動をする際に求められる知識や実践的な日本語コミュニケーション能力を身につけることを目的とします。具体的には、基本的なビジネスマナーを学び、就職面接や代表的な仕事の場面で敬語を含んだ対話ができ、履歴書・メールのやりとりなど定形書式や適切な表現が使えるようになることを到達目標とします。

■授業計画

1	ガイダンス　紹介する①　敬語①
2	紹介する②　ロールプレイ　あいさつする①
3	あいさつする　②　ロールプレイ
4	電話をかける・受ける　①　敬語②
5	電話をかける・受ける　②　ロールプレイ
6	注意をする・注意を受ける　①　敬語③
7	注意をする・注意を受ける　②　ロールプレイ
8	頼む・断る①　メール①
9	頼む・断る②　ロールプレイ　メール②
10	許可をもらう①　メール③
11	許可をもらう②　ロールプレイ　メール④
12	アポイントを取る①　ロールプレイ　メール⑤
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

授業前半では、ビジネス場面で使われる語彙・文章表現を学び、後半は実践力をつけるための運用練習をします。また、日本語の知識だけでなく、日本語ビジネス習慣や文化について短い文章を読み、ディスカッションを通じて理解を深め、異文化適応の方法について考察します。敬語の運用練習もします。グループ活動を多くするため、学生には協力的な態度と積極的な参加が求められます。　※授業内容および進度は変更することがあります。

■予習・復習

予習：授業計画を確認して、その日の授業で扱うプリントの語彙・表現の意味を確認しておいてください。
復習：授業で学習し新しい言葉や言い回しを使って課題に取り組むこと。また適切な場面で実際に使ってみましょう。

■成績評価の方法

授業への参加度30%　提出物・授業内課題（クイズ・ロールプレイ発表を含む）40%　定期試験30%

■教科書・参考書

指定しません。必要なものは毎回プリントを配布します。
参考書：『にほんで働く！ビジネス日本語30時間』（スリーエーネットワーク）
『実践日本語シリーズ　敬語』（専門教育出版）

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度秋学期講義要項

■選択必修科目	日本語演習Ⅴ （文型運用力養成①）	火　曜日	3　限	履修可能 クラス	1-3組
■授業の目的及び到達目標				担当：岡田　幸彦	

初級レベルの日本語の文法知識を確実に身につけ、使えるようになることを目的とします。具体的には、日本語能力試験N4に合格するための文法知識を習得し、学習した文型や表現を使って、日常生活で必要な簡単な会話をしたり、簡単な情報を聞き取ったり、短い文を作って書いたりできるようになることを到達目標とします。

■授業計画

1	「～と」「～ば」「～たら」「～なら」を使う文型を練習します。
2	「～ように」「～かどうか」を使う文型を練習します。
3	「～ことにする」「～ことになる」「～てみる」を使う文型を練習します。
4	「～ていただく」「～てくださる」を使う文型を練習します。
5	「～のは…だ」「～ために…」を使う文型を練習します。
6	「～だろう」「～そうだ」「～らしい」を使う文型を練習します。
7	「～ていく」「～てくる」「～つづける」「～おわる」「～だす」を使う文型を練習します。
8	「～すぎる」「～にくい」「～やすい」「なかなか～ない」を使う文型を練習します。
9	「～のに」「～たばかりだ」「～ところだ」を使う文型を練習します。
10	「～はずだ」「～そうだ」「～ようだ」「～みたいだ」を使う文型を練習します。
11	「～（さ）せる」「～（さ）せられる」を使う文型を練習します。
12	N4 に必要な文型の復習をします。
13	授業中試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

毎回問題練習と答え合わせ、説明をします。
時々小テストもする予定です。

■予習・復習

予習は、配られた問題に答えておいてください。
復習は、その日の大切なこと、ポイントを整理しておいてください。

■成績評価の方法

課題（授業中のクイズ・発表を含む）30%、定期試験50%、平常点20%

■教科書・参考書

必要な内容をプリントにして配ります。
参考書として、『JLPT文法N4 ポイント&プラクティス』（スリーエーネットワーク）後半などを使います。

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度秋学期講義要項

■選択必修科目	日本語演習Ⅴ 文型運用力養成②	火　曜日	3　限	履修可能 クラス	3～5組
■授業の目的及び到達目標				担当：田中　優季	

この授業は、中級レベルの日本語文法の習得を目的とします。具体的には、日本語能力試験（JLPT）の N3に合格するために必要な文法知識を学習すること、日本語で日本語文法の意味や使い方が説明できるようになること、実際の様々な生活場面において、学習した文型・表現を運用できるようになることを到達目標とします。

■授業計画

1	ガイダンス（授業の進め方、予習・復習、成績評価の方法について）、実力テスト、 N3　テキスト　第1課　文型確認、練習問題と解説、まとめの練習
2	N3　テキスト　第2課　文型確認、練習問題と解説、まとめの練習
3	N3　テキスト　第3課　文型確認、練習問題と解説、まとめの練習
4	N3　テキスト　第4課　文型確認、練習問題と解説、まとめの練習
5	N3　テキスト　第5課　文型確認、練習問題と解説、まとめの練習
6	N3　テキスト　第6課　文型確認、練習問題と解説、まとめの練習
7	N3　テキスト　第7課　文型確認、練習問題と解説、まとめの練習
8	N3　テキスト　第8課　文型確認、練習問題と解説、まとめの練習
9	N3　テキスト　第9課　文型確認、練習問題と解説、まとめの練習
10	N2　テキスト　ドリル＆模擬試験
11	N2　テキスト　ドリル＆模擬試験
12	N2　テキスト　ドリル＆模擬試験
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

授業の前半は、宿題の答え合わせと解説をします。後半は、まとめの練習をします。
※授業計画、方法は状況によって変わることがあります。

■予習・復習

予習：宿題（例文、使い方、確認しよう、書いてみよう）を予習してきてください。授業の時に答え合わせをします。
復習：JLPT や学期末の試験に向けて、授業で学習した文型を復習してください。
　　また、学習した文型を日常生活で積極的に使いましょう。

■成績評価の方法

課題（授業中のクイズ・発表を含む）　20%、定期試験　60%、平常点　20%

■教科書・参考書

授業ではプリントを配布します。
参考書：『文法からひろげる日本語トレーニング文法Buddy』（ジャパンタイムズ）、『JLPT文法N3 ポイント＆プラクティス』（スリーエーネットワーク）、『日本語能力試験N2直前対策ドリル&模試　文字・語彙・文法』J リサーチ出版など

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度秋学期講義要項

■日本語演習科目	日本語演習V （文法運用力養成③）	火　曜日	3　限	履修可能 クラス	5・6・7組
■授業の目的及び到達目標				担当：開　めぐみ	

上級レベルの日本語の文法知識を確実に身につけ、使いこなすことができるようになることを目的とします。具体的には、日本語能力試験N2・N1に合格するための文法知識を習得し、学習した文型や表現を会話や作文、発表などのアウトプット活動においても使えるようにし、高度に運用できるようになることを到達目標とします。

■授業計画

1	Unit 1 実力診断模擬試験
2	Unit 2
3	Unit 3
4	Unit 4
5	実践練習①
6	Unit 5
7	Unit 6
8	Unit 7
9	Unit 8
10	Unit 9
11	実践練習②
12	第1回模擬試験　第2回模擬試験
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

授業の流れは次の通りです。1）過去問を解き、学習する文法項目についての自らの理解度を確かめる。2）解説、練習問題を通して、基本的な意味の違いや用法上の注意点を確認する。3）練習問題に取り組みその文法の使い方に慣れ運用練習をする。4）N2対策本から抜粋した練習問題に再度取り組み理解を深め正答率を高める。

※学習内容と進度は変わることがあります。

■予習・復習

予習：授業計画を確認して、その日の授業で扱う語彙・表現の意味を確認しておく。

復習：授業で学習した文法項目の理解を確認し自分なりにまとめてみる。新しい言葉・表現を語彙リストに追加する。

■成績評価の方法

授業への参加度30%　　提出物・授業内課題40%　　定期試験30%

■教科書・参考書

指定しません。必要なものは毎回プリントを配布します。

参考書：『日本語能力試験問題集N2文法スピードマスター』（Jリサーチ出版）他　N2/N1受験対策本

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度秋学期講義要項

■選択必修科目	日本語演習ＶＩ	火　曜日	3　限	履修可能クラス	1, 2, 3組
■授業の目的及び到達目標				担当：李　維涛	

生活の中で必要となる「書く活動」を通じ、基礎的なコンピューターのライティングリテラシーを身につけ、アウトプット力を高めることを目的とします。具体的には、生活の中で必要な書類や手紙の書き方、履歴書、SNS の書き方などを学び、PPT を作って発表するなどの活動を行います。生活の中で必要な書類への記入が楽にでき、コンピューターなどを使用し、身近な話題や興味・関心があることについて書けるようになることを到達目標とします。

■授業計画

1	オリエンテーション(授業内容・授業の進め方・評価の仕方など) ウォームアップ(「私の履歴書」_プロフィール篇を作成)
2	書類の記入(1):学校で（入学願書・奨学金の応募書類・証明書の発行申請など）
3	書類の記入(2):入国管理局や大使館で（ビザの申請・資格外活動許可申請・在留期間更新申請など）
4	書類の記入(3):毎日の生活で（紛失届・再配達申請・転出/転入届・病院の問診票など）
5	SNS投稿(Instagram, Facebook など)
6	履歴書(1) プロフィール、趣味・特技、長所・短所など
7	履歴書(2) 志望動機、自己PR　+ 活動
8	メール:先生・保証人・クラメートへ:学校を休む・遅刻の連絡、受験・昇級・進路などの相談
9	日本語の入力方法の解説とトレーニング
10	PPT でポスターを作成(PPT の使い方など)・期末発表のテーマ決め
11	期末プレゼンテーション[前半]・講評&フィードバック
12	期末プレゼンテーション[後半]・講評&フィードバック
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

前半は留学生の日常生活に必要な、様々な場面での書類を、教員が用意して配布する。それらを実際に記入する形で、分野別・場面別に必要なことばや表現を学習し、身につけていく。後半はパソコンを使い、日本語の入力の仕方、PPT の使い方などを学習し、期末はこれらを活かして、発表活動を行う。

「書く」だけではなく、口頭表現も重要視し、発音練習もたくさん取り入れる。

■予習・復習

予習:授業で配布した単語リストを使って、次の週の授業日までに、単語を学習して覚えて来る。

復習:授業で学習した言葉や構文パターンを整理・確認し、身につけてみる。

■成績評価の方法

課題(授業中のクイズ・発表を含む)　85%、平常点　15%

＊定期試験はありません。代わりに、期末にプレゼンテーションを行う。

■教科書・参考書

授業時に配布する。

実生活での様々な書類・『留学生のための日本語で学ぶパソコンリテラシー』(共立出版)など。

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度秋学期講義要項

■選択必修科目	日本語演習Ⅵ（文章表現力養成②）	火　曜日	3　限	履修可能クラス	４組～７組
■授業の目的及び到達目標				担当：浅井　尚子	

大学進学を希望する学生を対象に、大学に合格できる日本語力を身につけ、大学進学後に必要な情報検索の力・論理的な文章を書く力を身につけることを目的とします。具体的には、受験スケジュールを立て、志望理由書や入学願書を準備し、面接練習を行います。また、進学後、毎日の授業についていけるように、総合的な日本語力を身につけることを到達目標とします。

■授業計画

1	ガイダンス（授業の進め方、成績評価の方法について）・自己紹介　・受験スケジュール作成
2	日本で勉強したいことを考え、学部・学科について知る①　・大学の選び方と入試方式の違いについて
3	日本で勉強したいことを考え、志望校・学部・学科について知る②　・ポリシーについて
4	志望理由を考える①　・フォーマルな書き方を学ぶ①
5	志望理由を考える②　・フォーマルな書き方を学ぶ②　・受験スケジュールチェック①
6	学習計画・卒業後の進路について考える①　・専門に関することば①
7	学習計画・卒業後の進路について考える②　・専門に関することば②
8	学費等経済的な費用や奨学金について調べる　・専門に関することば③　・受験スケジュールチェック②
9	出願準備①　・試験の種類、日程、試験科目、必要な資格について調べる
10	出願準備②　・面接の受け方について、出願書類をそろえる
11	面接練習①　面接のマナー　・受験スケジュールチェック③
12	面接練習②　面接での質問と受け答え
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

自分の課題を作り、課題が達成できたか、１週間ごとに確認します。志望大学を検索し、決定したら、自分の志望理由を具体的考え、文章にします。その他、受験に必要な資格などの情報について調べ、同時に大学の勉強についていけるようにアウトプット活動に重点を置いて練習します。※学習進度は、変わることがあります。

■予習・復習

予習：毎回、自分の課題を考え、文章にしてきてください。自分の将来のプランを考え、受験スケジュールを考えてください。

復習：自分の課題を振り返り、確認してください。改善点を考えてください。

■成績評価の方法

課題（授業中のクイズ・発表を含む）30%、定期試験60%、平常点10%

■教科書・参考書

『進学する留学生のための面接』（JASSO 日本語教育センター）『サーチ出版）

『社会を生き抜く伝える力AtoZ』（実教出版）『総合型選抜対策ガイド』（留学情報館）

『留学生と大学生のためのエピソードとタスクから描く私のキャリアプラン』（凡人社）

※その他、プリントを配付します。

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度秋学期講義要項

■選択必修科目	日本語演習Ⅵ文章表現力養成③ 口頭・文章表現３ （大学院進学希望者向け）	火　曜日	3　限	履修可能 クラス	4-7組

■授業の目的及び到達目標	担当：藤田守

本科目の目的は、大学院の進学に必要とされる論理的な日本語力や大学院生活におけるコミュニケーション能力を身につけることです。具体的な到達目標は、大学院で使用する高度な日本語を理解すること、自分の研究や専門について自分で情報収集すること、しっかりとした構成で研究計画書や志望理由書にまとめながら、自分の考えを口頭で説明するアウトプット力を身につけることです。

■授業計画

1	オリエンテーション（授業進め方・評価）進学希望調査
2	大学院教育の理解・研究計画書について・図書館ツアー
3	個別指導1：先行研究の選定
4	個別指導2：先行研究の選定
5	個別指導3：研究対象の選定
6	個別指導4：研究対象の選定
7	個別指導5：大学院の選定
8	個別指導6：大学院の選定
9	個別指導7：研究計画書の枠組の作成
10	個別指導8：研究計画書の記述
11	個別指導9：研究計画書の書き直し
12	個別指導10：研究計画書の完成
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

第1．2週は講義形式で、大学院の大学との違いや大学院で何を学ぶかを理解します。第3週以降は、自分の研究計画書を完成させるため、個別に先行研究を調査して、研究対象を定めていきます。また、授業外活動として、図書館での情報収集活動について学びます。定期試験では、研究計画書の内容について、口頭でプレゼンテーションできるか確認します。

■予習・復習

予習は特に必要ありませんが、復習として毎回課題が出ます。その課題を通して、研究計画書の項目を一つ一つ書き進めていきます。大学院で何をするのか、何を準備するのかはっきり分からない場合でも、授業に参加することで理解が進みます。

■成績評価の方法

課題（授業中のクイズ・発表を含む） 50%、定期試験　30%、平常点　20%

■教科書・参考書

教科書：必要に応じて参考資料のコピー等を配付します。PPT を使用します。

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度秋学期講義要項

■選択科目	科目名：　化学B	月　曜日	4　限
■授業の目的及び到達目標		担当：　西田生郎	

高等学校の化学の教科書の章立てに沿う授業を通して、化学の基礎的知識を習得する。また、化学の問題や大学入試問題にとりくみ、大学受験に必要な化学の知識を学習し、入試を突破できる実力を養成する。

■授業計画

1	無機物質—非金属元素
2	無機物質—典型金属元素の単体と化合物
3	無機物質—遷移金属元素の単体と化合物
4	無機物質と人間生活
5	無機物質の総括
6	有機化合物—有機化合物の特徴と構造
7	有機化合物—炭化水素
8	有機化合物—アルコールと関連化合物
9	有機化合物—芳香族化合物
10	有機化合物と人間生活、有機化合物の総括
11	高分子化合物—天然高分子化合物
12	高分子化合物—合成高分子化合物、高分子化合物と人間生活
13	授業中試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

授業内容のPDFを配布し、スクリーンに投影しながら授業を進め。必要に応じてホワイトボードを使用する。
学生の授業内容の習熟度に応じて、適宜、EJU や大学入試問題にも取り組む。

■予習・復習

PDF資料を配付するので、予習復習に活用する。特に、復習で問題はかならず解くこと。

■成績評価の方法

学習態度50%、定期試験(授業中試験)の成績50%で評価する。

■教科書・参考書

教科書は特に指定しないが、高等学校の「化学の基礎」および「化学」を参考書とする。

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度秋学期講義要項

■選択科目	科目名：総合科目Ⅰ	月　曜日	4　限
■授業の目的及び到達目標		担当：近藤　泉子	

日本留学生試験の総合科目受験に必要な知識（政治・経済）を身につけることを目標としています。春学期と合わせて受講することで主要範囲を学習できるように授業計画を立てています。日本留学試験受験希望者以外でも、教養として、日本から見る世界や日本社会についての知識を深め、日本語の使用機会を増やしたい人におすすめです。

■授業計画

1	ガイダンス（授業の進め方や評価方法などについて）、日本留学試験（総合科目）について 現代国際経済の動向と課題および経済原理の基礎について
2	国際平和と国際協力
3	金融政策と財政政策
4	景気の循環と経済成長
5	日本国憲法
6	社会福祉
7	南北問題
8	民族問題
9	地球環境問題
10	情報社会
11	少子高齢化社会
12	生命倫理
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

毎回の授業は学習項目の導入を兼ねたスピーチ（話す）、教員による説明（聞く・書く）、問題練習（読む・書く）と進みます。ですから遅刻をしてしまうと、基本の部分が理解出来ないままに問題練習に入り、効果無く授業を終えることとなります。注意してください。講義と問題練習は、過去に出題された内容を中心として実施します。日本語のレベルが下のクラスの学習者のことも考えて、漢字にフリガナのついた教材を使用し、定期試験の大部分は授業中に練習をした問題とします。 ※学習進度は、学生の理解度やレベルによって、変わることがあります。

■予習・復習

日本留学試験では、過去問題に似た問題も毎年出題されていますので、受験希望者は問題練習を繰り返し復習するようにしてください。

■成績評価の方法

課題やレポート作成等（授業中のクイズ・発表を含む）30%、定期試験40%、平常点30%
授業への真面目な取り組み、出席状況（病気や諸事情以外の、遅刻の厳禁）や、定期試験から総合的に判定します。

■教科書・参考書

教科書：教員配布のプリント教材。
参考書：『ハイレベル　総合科目　改訂第二版』（ask）ほか　適宜指示します。

拓殖大学別科日本語教育課程 2025度秋学期講義要項

■選択科目	科目名：初級英語	月 曜日	4 限
■授業の目的及び到達目標		担当：豊田 香	

この授業は、英語初心者が基礎的な英語文法を習得することが目的です。大学で、単位取得ができるための基礎を学びます。英語を基礎から学びたい人が履修できます。また、別科拓大推薦希望者のうち、英語クラス分け試験の結果で指名された学生は、この科目を履修することが強く勧められます。TOEIC300点を目指します。

■授業計画

1	Unit 59: I-my [my family]
2	Unit 60: my/his/ theirs [Sunday-Saturday]
3	Unit 61: whose? Mine [January-December]
4	Unit 62: I-my-me-mine [1-31]
5	Unit 63: myself [first, thirty-first]
6	Unit 64: Kate's camera [today-tomorrow]
7	Unit 65: a/an, Unit 66: trains (singular/plural)
8	Unit 67: countable/uncountable
9	Unit 68: a cake / some cakes / some cake
10	Unit 69-70: a/an, the
11	Unit 71: go to work / go home / go to the cinema
12	Review
13	授業中試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

授業の前半に文法問題を解説し問題を解きます。後半は、簡単な英語を書いて、英語に慣れてもらいます。

＊授業方法や授業計画は、人数や英語レベル等で調整します。

■予習・復習

予習として毎回出課題を完成させます。その課題を授業内で確認しフィードバックを受けます。
復習として、類似課題が出されます。

■成績評価の方法

課題等（授業中のクイズ・発表を含む）50%、定期試験 20%、平常点 30%

■教科書・参考書

・Essential Grammar in USE (by Cambridge) [ISBN 978-1-107-48053-7]

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度秋学期講義要項

■選択科目	科目名：総合科目Ⅱ	火　曜日	4　限
■授業の目的及び到達目標		担当：近藤　泉子	

日本留学生試験の総合科目受験に必要な知識（地理・歴史）を身につけることを目標としています。春学期と合わせて受講することで主要範囲を学習できるように授業計画を立てています。日本留学試験受験希望者以外でも、教養として、日本から見る世界や日本社会についての知識を深め、日本語の使用機会を増やしたい人におすすめです。

■授業計画

1	ガイダンス（授業の進め方や評価方法などについて）、日本留学試験（総合科目）について 帝国主義の世界
2	冷戦（1）
3	冷戦（2）
4	冷戦後の世界
5	日本の産業と地理情報
6	世界の産業と地理情報
7	資源と産業
8	地図の見方と距離、方位　空中写真・衛星画像および植生
9	現代の国際社会と歴史的背景
10	国土と環境
11	交通と通信
12	地理的技能と地理的環境のまとめ
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

毎回の授業は学習項目の導入を兼ねたスピーチ（話す）、教員による説明（聞く・書く）、問題練習（読む・書く）と進みます。ですから遅刻をしてしまうと、基本の部分が理解出来ないままに問題練習に入り、効果無く授業を終えることとなります。注意してください。講義と問題練習は、過去に出題された内容を中心として実施します。日本語のレベルが下のクラスの学習者のことも考えて、漢字にフリガナのついた教材を使用し、定期試験の大部分は授業中に練習をした問題とします。 ※学習進度は、学生の理解度やレベルによって、変わることがあります。

■予習・復習

日本留学試験では、過去問題に似た問題も毎年出題されていますので、受験希望者は問題練習を繰り返し復習するようにしてください。

■成績評価の方法

課題やレポート作成等（授業中のクイズ・発表を含む）30%、定期試験40%、平常点30%
授業への真面目な取り組み、出席状況（病気や諸事情以外の、遅刻の厳禁）や、定期試験から総合的に判定します。

■教科書・参考書

教科書：教員配布のプリント教材。
参考書：『ハイレベル　総合科目　改訂第二版』（ask）ほか　適宜指示します。

拓殖大学別科日本語教育課程 2025年度秋学期講義要項

■選択科目	科目名：英語演習Ⅰ（1組）	火 曜日	4 限
■授業の目的及び到達目標		担当： 豊田 香	

この授業は、英語初級者向けの基礎文法を中心に学びます。大学での単位取得で必要なレベル（TOEIC 300-450）を目指します。【初級英語】とこの科目【英語演習Ⅰ（1組）】で、1冊の文法テキストを全部学びます。基礎から学びたい学生は、両方を履修することをお勧めします。また TOEIC受験で 300-450点取得を目指す学生は、金曜日 【英語演習Ⅱ（1組）】と合わせて履修することをお勧めします。

■授業計画

1	Unit 1/2/3/4/5/6/7/8/9/10/11/12/13/14 [V0 V1 V2 V3 V4]
2	Unit 15/16/17/18/19 (present perfect)
3	Unit 20 (simple past or present perfect)
4	Unit 21/22 i(passive) s done / was done / is being done / has been done
5	Unit 25/26 (future) be + V4, be going to V0
6	Unit 27/28/29/30 will / shall / might/can
7	Unit 31/32/33 have to / must / should
8	Unit 34/35/36 Would you like? / Do this! / I used to -
9	Unit 87/88 older than
10	Unit 89/90 not as - as / the oldest
11	Unit 91/92 enough / too
12	Review
13	授業中試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

最初に教科書を解説をして、次に問題を解きます。間違えた問題の説明を聞いて、次回の確認テストの準備をします。4種類の不規則動詞を全部理解します。 ＊授業方法は、人数や英語レベル等で調整します。

■予習・復習

予習として毎回出される課題を完成させます。その課題を授業内で確認しフィードバックを受けます。
復習として、類似課題が出されます。

■成績評価の方法

課題等（授業中のクイズ・発表を含む）50%、定期試験 20%、平常点 30%

■教科書・参考書

・Essential Grammar in Use Fourth Edition (by CAMBRIDGE) [ISBN 978-1-107-48053-7]

・追加教材は教室内で配布します。

拓殖大学別科日本語教育課程 2025年度秋学期講義要項

■選択科目	科目名：英語演習Ⅰ（2組）	火曜日	4限
■授業の目的及び到達目標		担当：Biola （ビオラ）	

この授業は、英語中上級者が大学(院)入試で必須な TOEIC で、中級の得点(TOEIC450～550点)を目指すことが目的です。英語で必要な 4 技能のうち、主に文法・読解とリスニングを中心に学びます。大学(院)に入学後に無理なく英語科目が履修でき、アルバイトでも評価される語彙力を身につけ、発音ができるようになることを目指します。＊授業方法は、人数や英語レベル等で調整します。

■授業計画

1	Unit 1 (Part 1-4/5-7)
2	Unit 2 (Part 1-4/5-7)
3	Unit 3 (Part 1-4/5-7)
4	Unit 4 (Part 1-4/5-7)
5	Unit 5 (Part 1-4/5-7)
6	Unit 6 (Part 1-4/5-7)
7	Unit 7 (Part 1-4/5-7)
8	Unit 8 (Part 1-4/5-7)
9	Unit 9 (Part 1-4/5-7)
10	Unit 10 (Part 1-4/5-7)
11	Unit 11 (Part 1-4/5-7)
12	Unit 12 (Part 1-4/5-7)
13	Unit 13 &14 (Part 1-4/5-7) + 授業中試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

最初に教科書の問題を解きます。を解説をして、次に問題を解きます。間違えた問題の説明を聞いて、次回の確認テストの準備をします。＊授業方法は、人数や英語レベル等で調整します。

■予習・復習

予習として毎回出される課題を完成させます。その課題を授業内で確認しフィードバックを受けます。
復習として、類似課題が出されます。

■成績評価の方法

課題等（授業中のクイズ・発表を含む）50%、定期試験 20%、平常点 30%

■教科書・参考書

・BEST PRACTICE FOR THE TOEIC L&R TEST (Intermediate) by SEBIDO [ISBN 978-4-7919-7253-1]

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度秋学期講義要項

■選択科目	科目名：生物	水　曜日	3　限
■授業の目的及び到達目標		担当：　中名生　幾子	

・大学入学前に必要な生物の基礎知識を学び、日本留学生試験に必要な知識を身につける。また、生物領域で日本の大学院進学希望者は、基本的な生物に関する日本語表現をみにつけることができ、一般教養として生物領域に興味がある学生は、幅広い日本語の知識を得ることができる。日本語で科目内容を学ぶので、中級レベルの日本語能力が必要となる。

■授業計画

1	遺伝
2	動物の発生
3	植物の発生と形態形成
4	植物のホルモンと環境応答
5	神経
6	知覚器と効果器　動物の行動
7	自律神経とホルモン
8	血液と循環器
9	免疫
10	生物の進化　系統　分類
11	生態系
12	全体の復習
13	授業中試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

テキストの学習範囲を読み合わせながら、講義を交えワークブックを使って学習内容の定着を図る。授業中は自由に質問や発言ができる。

■予習・復習

予習：テキストの指定した学習範囲の言葉をチェックしておく
復習：ワークブックの前回の学習範囲に書き込みを行う。

■成績評価の方法

課題等（授業中のクイズ・発表を含む）　10%、定期試験　60%、平常点　30%

■教科書・参考書

書き込みサブノート　生物　（旺文社）

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度秋学期講義要項

■選択科目	科目名：英語演習II	金　曜日	4　限
■授業の目的及び到達目標		担当：　三ツ石 直人	

この授業は、英語初級者が大学必修英語で問題なく単位取得できるレベル（TOEIC400点）の英語能力を修得することが到達目標です。主に、大学初級レベルのテキストを使って、英文読解と音読ができるようになることを目指します。英語の基礎となる語句や文法を身につけることが目的となります。

■授業計画

1	授業ガイダンス・Unit 5 Hello Cutie　（本文の読解と音読・語彙学習）
2	Unit 6 Thank You John and Christopher　（Short Reading と音読・英作文）
3	Unit 6 Thank You John and Christopher　（本文の読解と音読・語彙学習）
4	Unit 7 Street Fashion & Fast Fashion　（Short Reading と音読・英作文）
5	Unit 7 Street Fashion & Fast Fashion　（本文の読解と音読・語彙学習）
6	Unit 8 It’s in the Ben　（Short Reading と音読・英作文）
7	Unit 8 It’s in the Ben　（本文の読解と音読・語彙学習）
8	Unit 9 Cars of the future　（Short Reading と音読・英作文）
9	Unit 9 Cars of the future　（本文の読解と音読・語彙学習）
10	Unit 10 The Tsukiji Fish Market　（Short Reading と音読・英作文）
11	Unit 10 The Tsukiji Fish Market　（本文の読解と音読・語彙学習）
12	Unit 6 から Unit 10 までの語彙と文法の総復習
13	授業中試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

・英語の語句の修得（主に本文中に出てくる英単語を、日本語やより平易な英語に置き換える練習をします）
・英語の語句の発音練習（語句の意味を覚えるのと同時に、正しい発音・強勢位置を身に着けられるように、CD の音声の後に続いて繰り返し発音練習します）
・教科書の本文を読みながらの読解・音読練習（語句の意味はもちろん、基礎的な英文法の使い方を解説します）

■予習・復習

予習：事前に教科書内に出てくる、わからない語句の意味や発音を調べておく。
復習：各回に扱った単元の語句や本文の音読練習。特に意味のわからなかった文は、暗唱できるくらいまで、繰り返し読む。

■成績評価の方法

課題等（授業中のクイズ・発表を含む）50%、定期試験　30%、平常点　20%

■教科書・参考書

『Reading Sense—大学英文法と読解の基本演習』（出版社：金星堂, ISBN: 978-4-7647-3911-6）
その他、授業中に使用する資料を、教員が作成して配布することがあります。

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度秋学期講義要項

■選択科目	科目名：英語演習Ⅱ・2組	金　曜日	4　限
■授業の目的及び到達目標		担当：　豊田　香	

この授業は、英語中上級者が、大学(院)、English-Track入試などで必須な TOEIC/TOEFL の高得点取得(TOEIC L&R 600-800 点/TOEFL S&W iBT80 以上)を目指すことが目的です。更に、大学(院)やアルバイトなどで使う英日通訳・翻訳スキルの基礎を身につけ、英語と日本語の文化的な言語使用の違いなどを学びます。

■授業計画

1	Unit 1　(Part 1-4/5-7)
2	Unit 2　(Part 1-4/5-7)
3	Unit 3　(Part 1-4/5-7)
4	Unit 4　(Part 1-4/5-7)
5	Unit 5　(Part 1-4/5-7)
6	Unit 6　(Part 1-4/5-7)
7	Unit 8　(Part 1-4/5-7)
8	Unit 9 & 10　(Part 1-4/5-7)
9	Unit 11 & 12 (Part 1-4/5-7)
10	Unit 13 & 14　(Part 1-4/5-7)
11	TOEIC-like Test (Listening)
12	TOEIC-like Test (Reaiding
13	授業中試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

授業の前半に TOEIC Listening (Part1-4)と Reading (Part5-7)を解きます。後半には TOEFL Speaking と Writing に対応した学習を行い、特に Academic Essay の英文構成について学びます。最後に、クラス内でプレゼンテーションをします。＊授業方法や授業計画は、人数や英語レベル等で調整します。

■予習・復習

予習として各 Unit の Vocabulary Check を提出します。その課題を授業内で確認しフィードバックを受けます。
復習として、類似課題が出されます。

■成績評価の方法

課題等(授業中のクイズ・発表を含む)　60　%、定期試験　10　%、平常点　30　%

■教科書・参考書

ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC® L&R TEST (SEIBIDO) [ISBN 978-4-7819-7213-5]
・追加教材は教室内で配布します。

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度秋学期講義要項

■選択科目	科目名：　理系数学	土　曜日	1　限
■授業の目的及び到達目標		担当：　本田　龍央	

目的:日本の高校で履修する数学(数学Ⅰ、数学A、数学Ⅱ、数学B)の内容を学習する。
目標:教科書にある演習問題、または日本留学試験(コース2)の基本的な問題が解けるようになる事。

■授業計画

1	三角関数(1) 三角関数とその性質　および演習
2	三角関数(2) 加法定理　および演習
3	数列とその極限(1) 数列・等差数列・等比数列　および演習
4	数列とその極限(2) 数列の和・極限・級数　および演習
5	ベクトル(1) ベクトルと内積　および演習
6	ベクトル(2) ベクトルと図形　および演習
7	複素数と複素平面　および演習
8	微分法(1) 定義と計算　および演習
9	微分法(2) 極値問題の解法　および演習
10	積分法 (1) 定義と計算　および演習
11	積分法 (2) 面積への応用　および演習
12	復習
13	授業中試験

■授業の方法

最初の 10～20分で解説をし、そのあとで演習する。
授業内で終わらなかった演習問題を宿題とし、翌週の授業前に Teams を使って提出してもらう。

■予習・復習

予習:教科書の説明を事前に読んでおく事
復習:授業時間に行った演習をもう 1回やる事。

■成績評価の方法

課題等(授業中のクイズ・発表を含む)　60%、定期試験　30%、平常点　10%

■教科書・参考書

日本留学試験対策　速攻　数学コースⅡ　(市進ウイングネット編集　凡人社 2013)

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度秋学期講義要項

■選択科目	科目名：　物理	土　曜日	2　限
■授業の目的及び到達目標		担当：　福島　理	

大学で学ぶ物理学への準備と、日本留学試験（物理）の受験対策の授業です。日本留学試験（物理）の問題が解けるレベルに到達することを目標とします。

■授業計画

1	ガイダンス（授業の進め方や成績評価方法などについて）、日本留学試験（物理）の過去の問題（運動方程式、放物運動、力のつり合い）を解いてみます。
2	日本留学試験（物理）の過去の問題（弾性衝突、ばね振り子、非弾性衝突）を解いてみます。
3	日本留学試験（物理）の過去の問題（鉛直投げ上げ、比熱、気体の質量）を解いてみます。
4	日本留学試験（物理）の過去の問題（斜方投射、等加速度直線運動、運動量保存則）を解いてみます。
5	日本留学試験（物理）の過去の問題（ローレンツ力、運動方程式、等加速度直線運動）を解いてみます。
6	日本留学試験（物理）の過去の問題（光の干渉、電位、コンデンサー）を解いてみます。
7	日本留学試験（物理）の過去の問題（オームの法則、電流計、電流がつくる磁場）を解いてみます。
8	日本留学試験（物理）の過去の問題（振り子の張力、比熱、気体がする仕事）を解いてみます。
9	日本留学試験（物理）の過去の問題（理想気体、正弦波、ドップラー効果）を解いてみます。
10	日本留学試験（物理）の過去の問題（光の屈折、電場、電気力がする仕事）を解いてみます。
11	日本留学試験（物理）の過去の問題（コンデンサー、直流回路、摩擦力）を解いてみます。
12	日本留学試験（物理）の過去の問題（電流間にはたらく力、放射性元素の半減期）を解いてみます。
13	定期試験と学期の学習のまとめ

■授業の方法

教師が日本留学試験（物理）の過去の問題を解くための知識を示します。そして学習者が問題を解いてみます。

※学習進度は、学生の理解度やレベルによって、変わることがあります。

■予習・復習

予習は配布する問題に目を通すこと。

復習は授業で扱った問題をもう一度解いてみること。

■成績評価の方法

課題等（授業中のクイズ・発表を含む）10%、定期試験80%、平常点10%

■教科書・参考書

教科書：プリントを使用します。

参考書：らくらくマスター物理基礎・物理 六訂版 河合塾物理科 ISBN コード：978-4-7772-2597-2 税込定価：990円

拓殖大学別科日本語教育課程　2025年度秋学期講義要項

■選択科目	科目名：　文系数学	土　曜日	2　限
■授業の目的及び到達目標		担当：　本田　龍央	

目的:日本の高校で履修する数学(数学Ⅰ,数学A)を学習する。
目標:教科書にある演習問題、または日本留学試験(コース1)の基本的な問題が解けるようになる事。

■授業計画

1	場合の数と確率(1)　場合の数・順列　および演習
2	場合の数と確率(2)　組み合わせ・確率　および演習
3	場合の数と確率(3)　いろいろな確率　演習
4	整数の性質(1)　倍数・約数　および演習
5	整数の性質(2)　割り算と商・余り　および演習
6	整数の性質(3)　一次不定方程式・n進法　および演習
7	図形と計量(1)　三角比　および演習
8	図形と計量(2)　正弦・余弦定理　および演習
9	図形と計量(3)　立体図形　および演習
10	図形の性質(1)　三角形の性質・チェバ・メネラウスの定理　および演習
11	図形の性質(2)　円と直線・空間図形　および演習
12	復習
13	授業中試験

■授業の方法

最初の 10～20分で解説をし、そのあとで演習する。
授業内で終わらなかった演習問題を宿題とし、翌週の授業前に Teams を使って提出してもらう。

■予習・復習

予習:教科書の説明を事前に読んでおく事
復習:授業時間に行った演習をもう1回やる事。

■成績評価の方法

課題等(授業中のクイズ・発表を含む)　60%、定期試験　30%、平常点　10%

■教科書・参考書

ハイレベル数学・コース1　(田辺律子著　アスク出版　2017)